



文之
明
捷徑

子寶習字章

初篇

全

柳田文庫
文庫11
A1570



文庫 11
A 1570

神名垣魯文著

明文

捷徑

子寶

習字章

美潭先生書



東京名山閣發售

明治六年十二月
初月

序

往時原ノ白隠和尚禪法ノ大意ヲ粉挽

歌ニ翻シテ村叟野媪ニ授菩提心ヲ發

ノ捷徑ト做シハ所謂人ヲ視テ法ヲ説

老納ノ手段稱ス可シ抑大聲ハ俚耳ニ

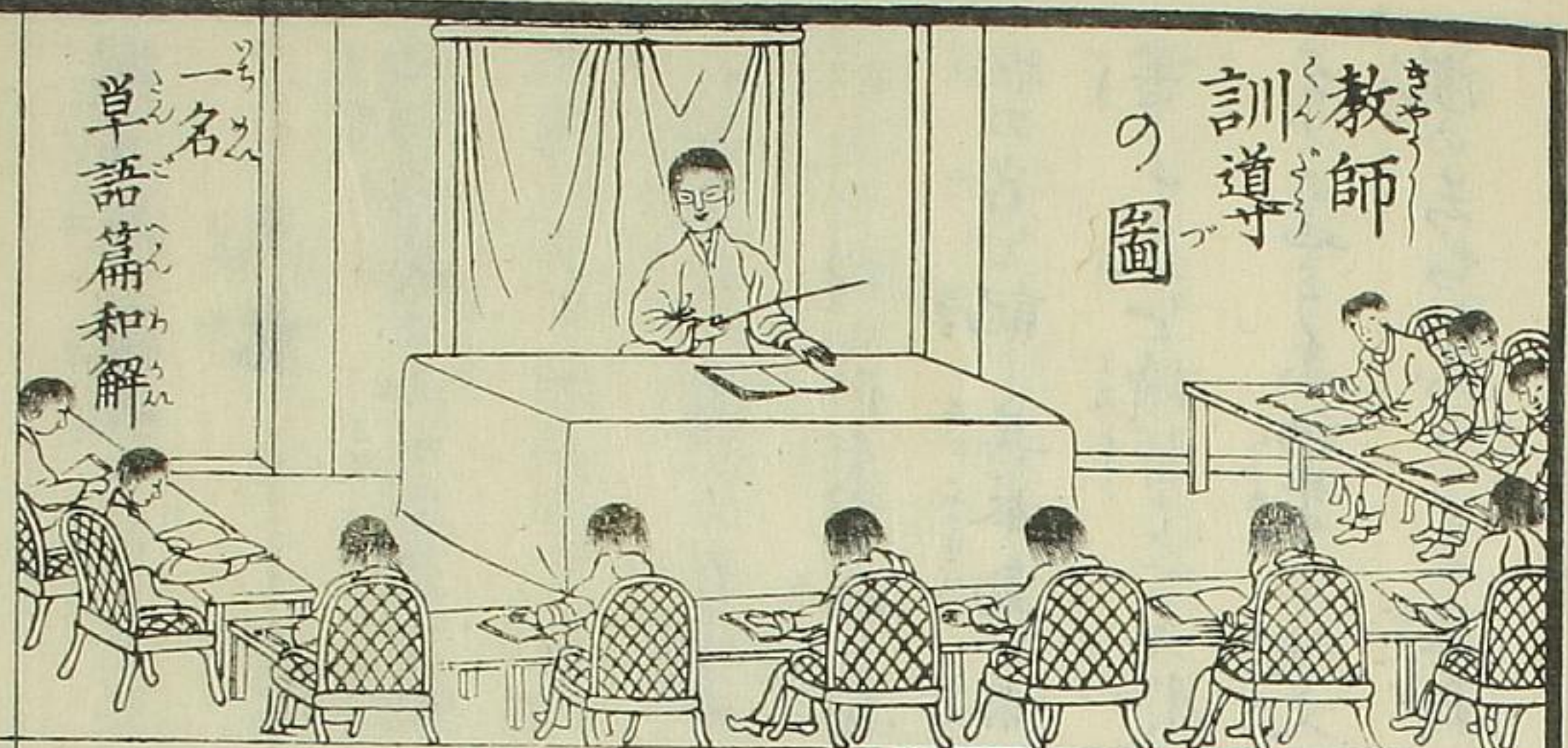
入ラズ折楊皇華ハ嗃然トシテ笑ト釋

蒙ヲ誘ノ方ハ淺ヨリ深ニ入ルニ非レ

バ焉能甘テ其教ニ循ヲ得乎今ヤ開明

駸進ノ 聖代閭巷ニ小學ノ盛舉有テ
 穉蒙ノ訓導自由ヲ得ト雖齡尚入學ノ
 期ニ逮ズ或其父母資料ニ匱ク愛見ヲ
 徒ニ閣ク輩ノ為ニ一種訓蒙ノ徑蹊ヲ
 開シ事是操觚者ノ責ナル可シ余ガ友
 神奈垣君嘗訓蒙ノ術ヲ解セリ嚮ニ世
 界都路ノ著有テ世ノ髻亂ニ與粗海外
 ノ夏情ニ涉シム今又書費ノ需ニ應シ

彼子實往來ノ陳篇ニ擬シ更ニ新意ヲ
 出シテ茲篇ヲ著リ凡天文地理人倫動
 植其他ノ普通ニ臻迄學問ノ閑緒ト做
 ベキ百般ヲ網羅星輯シテ漏スナク將
 其辭藻ヲ淺近ニシ其音節ヲ抑揚シタ
 レハ齒舌未滑ノ幼兒ト雖諷誦ノ便記
 憶ノ易文明捷徑ノ名ニ媿ザル可シ君
 客歲橫港ノ新聞社ニ遊ビ鉛槧ノ劇餘



一名
草語篇和解

教師の訓導の圖

夫人を天地の間
生出了萬乃物也

發端

神奈垣魯文和解

子寶習字章



子寶習字章

業ニ違ズ燈下漸ニシテ先一本ヲ脱藁
シ余ニ眎テ緒言ヲ徵余君ヲ識日淺ト
雖斯擧ノ世ニ益有ヲ善シ漫ニ一言ヲ
贅シテ弁髦ニ付ス

明治六年十二月

苟完舎主人誌



頭書教の捷徑

大意

西洋諸國の小児學問の初
めはハリイドルとて書物
小繡像或ハ土地の景色禽
獸魚虫類の形象を画き其
物の名を記し其挙動を添
書く是を讀習せし支那
本とのやうな繡像ハ陳文
漢のまぢむづりき文義

を教ふるに決ては我國
も古来より支那の獎風を
傳習するより兎角四角
な文字と讀ませる慣
ふれり然れども幸ひ小
名文字の製作あるが故に
支那の通るべきものあり
はるに習初らよりやうに
文章を書かざるまゝ彼の
西洋の「エロニテ」小書
き假

子寶目録

長を有るは行が先人餘
天地人此三才也
石少一負ふ事の
基を知らざれば
を黄金白銀瑠璃

冊玉少も換ぬ
子寶の稱一尊也
甲斐之那一
乃所重宝少せ
初の學子乃道也

字のある故めて支那人の
迂遠手不比まねたの益
務まうと一唯惜む
きい後素初學一定の學
課と語典文典を父師
の教るまふ我國の地理
風土と一足
飛小四書の五經の素讀
ふからせるより其學問の
來統と一のよけれ

近き浅指一と示
志く其色まくむ
果一由あ
ら如大空乃中小

半途とてやめて去る者小
るて貴僧の梵經と讀
昔一口のまをきり
と辭書と讀むのまを何の
るやとつとつと解と論
語との論語知と俗
説ゆりも理りさねとて
御維新の今日外國交際
とねと一廢やのある
御政體と一のある

乃數く列すて彙
子余のそ然らちふ
世界を星けひら
好ま是を地球と

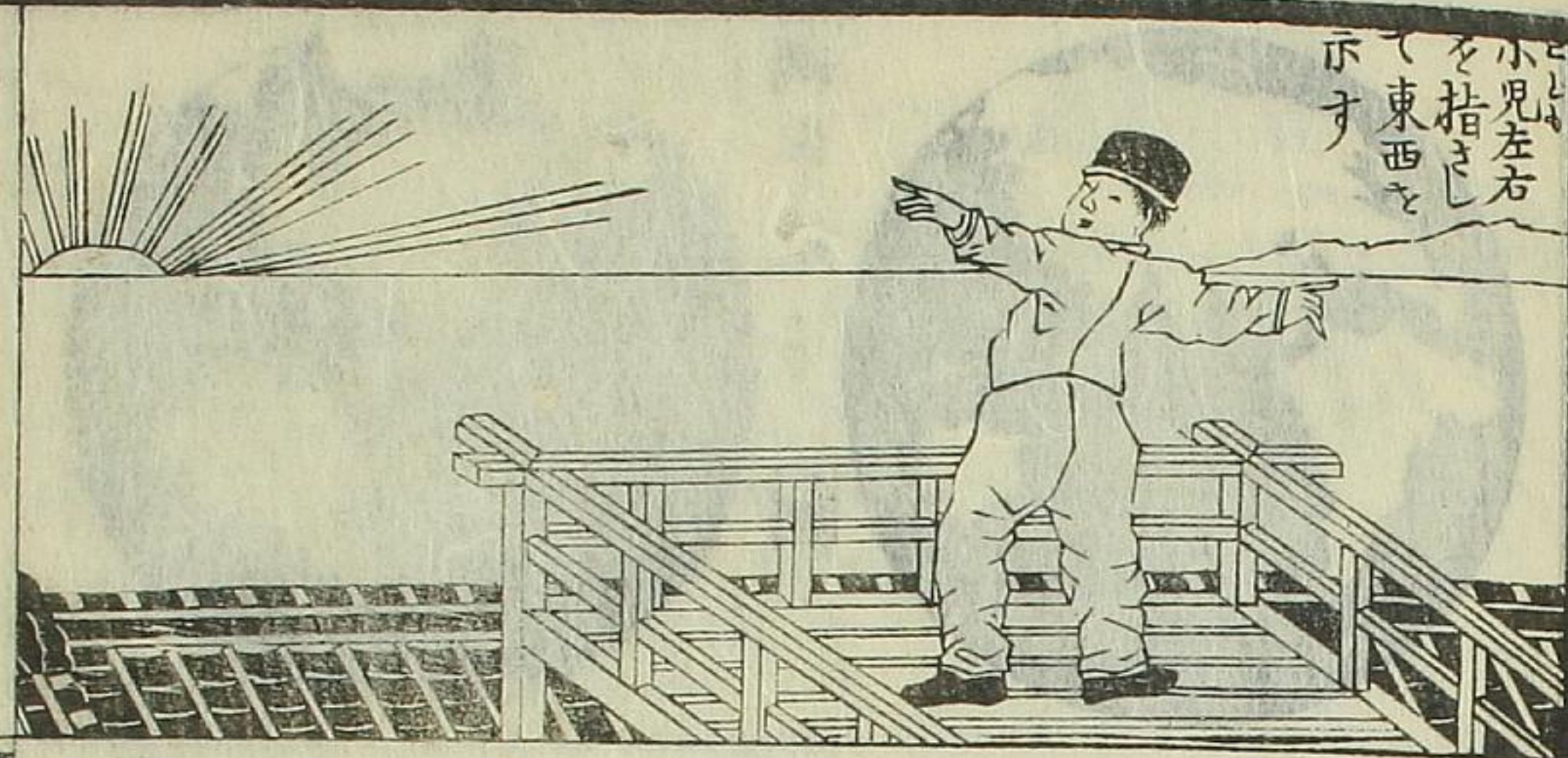
識者も智者も
 るし初學の小兒
 く初めて實學
 むづの—まゝ古事
 暗記の—を學者
 と物—の—
 詩文章の—苦學
 解—
 教の捷徑耳



子寶書字章

乃外をむと廻
 之能處小復
 是一年の數
 了初—ち知
 其能由小或之

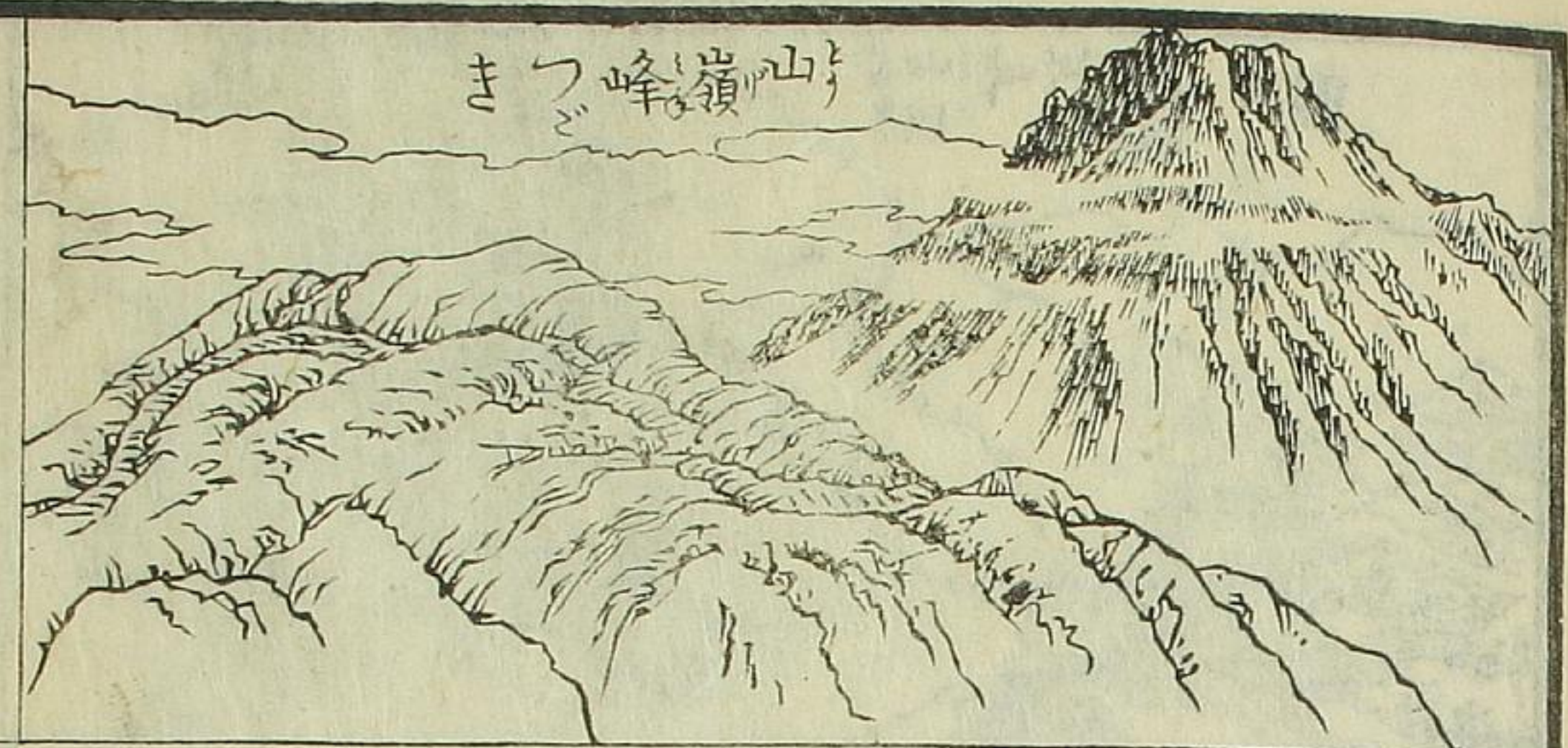
小遠海に受る光
 里に直好もや斜
 有る—に別あり
 暑さ寒さ一
 ありは春も暖



東と唱へひのりよ
 右は南よ左は
 北日能へる方を
 西といひ之を四
 方と稱へり扱也



夏暑く秋も冷く
 冬寒く此季を別
 して三月つゝ合さ
 之を四季といふ
 又日輪の出る方を



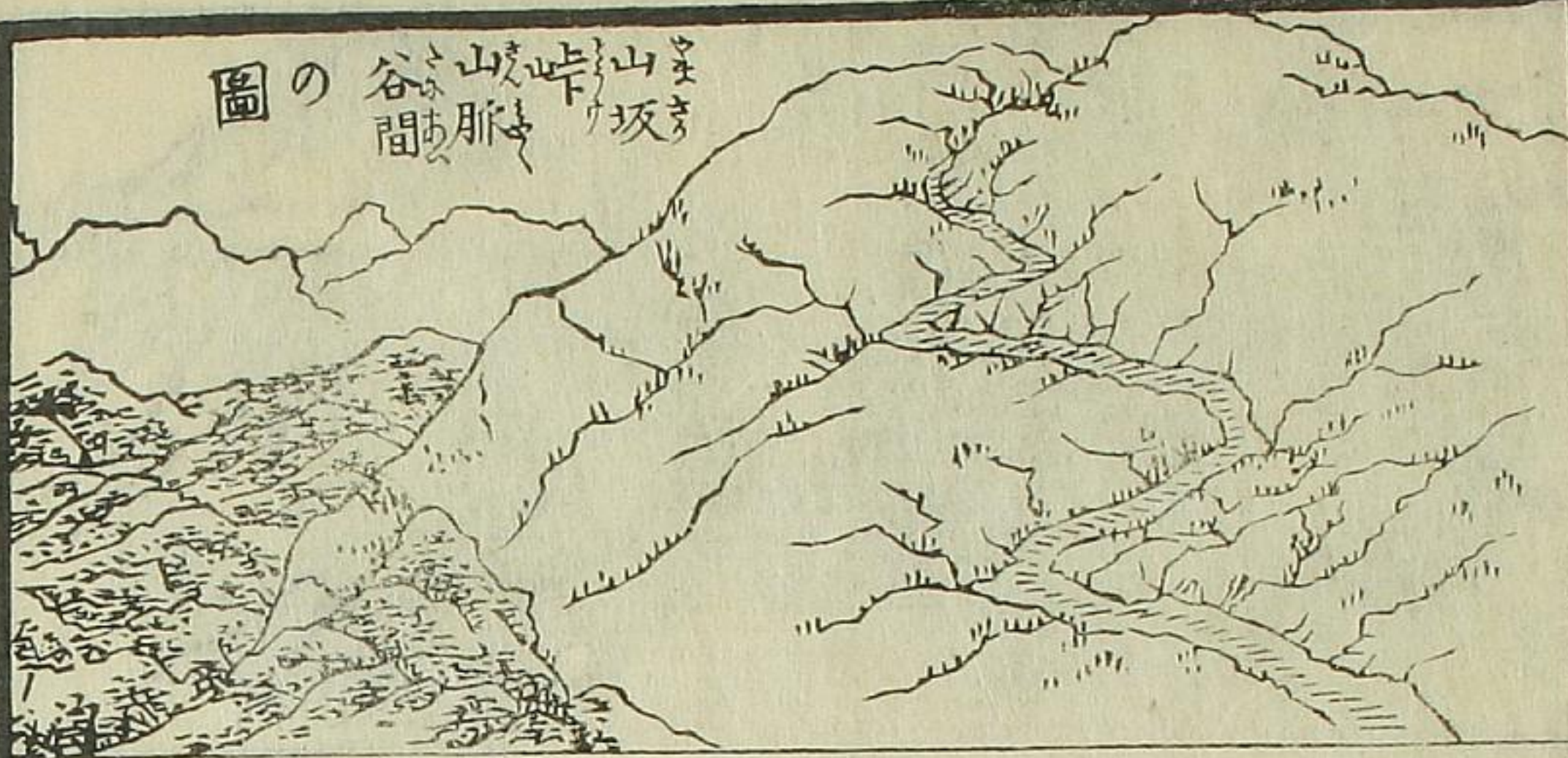
山と呼びびそは頂
 上と峰とつひ山
 山は谷は谷間低
 まる谷は低まよ
 登る道をは板



地球乃方面を三
 分を海も陸一分
 陸も高低あるもの
 海も浅深ある
 如く陸は高き低



噴火山
火を吹き
石を降らす



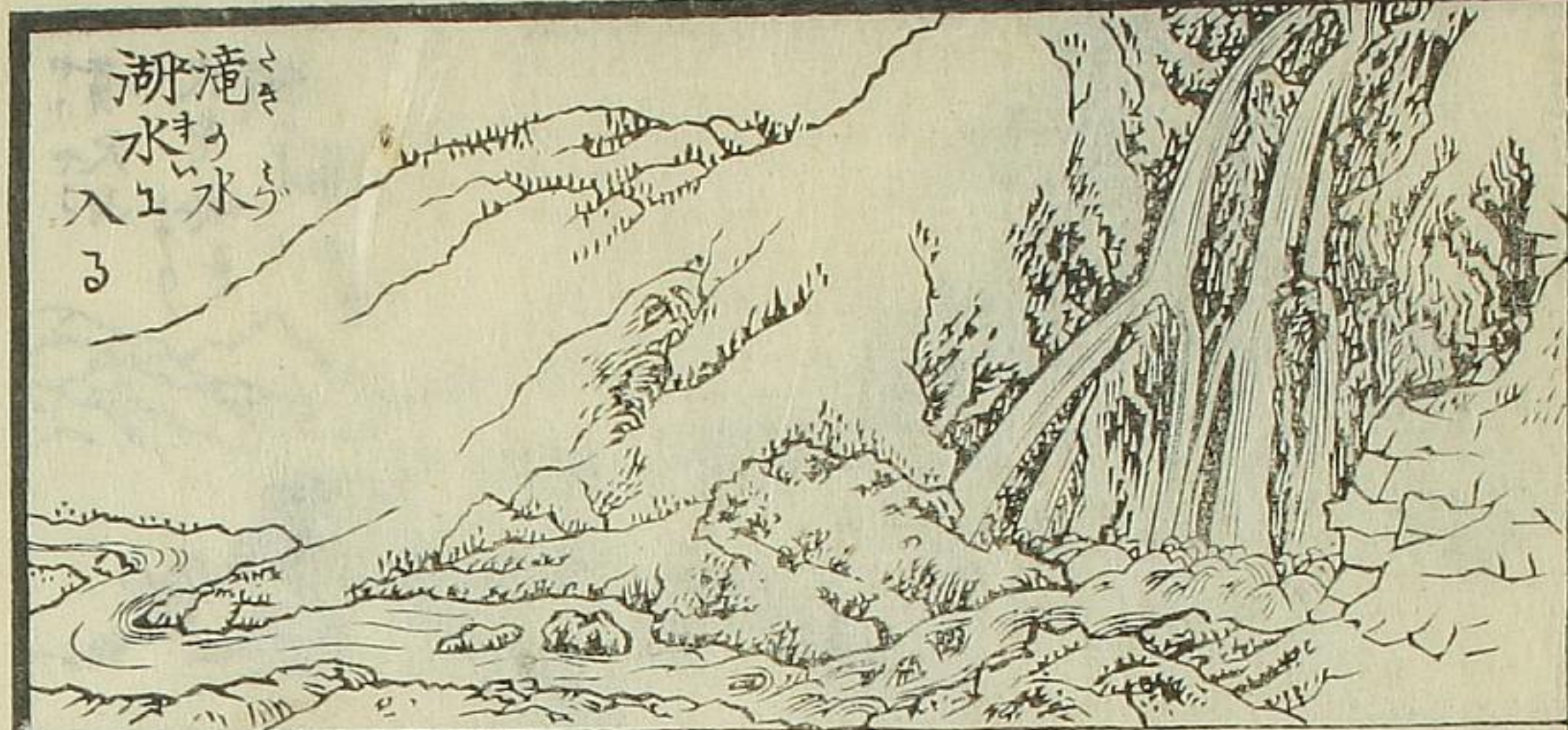
山峯
山脈
谷間の
圖

能脈山やま火を噴ふ
 砂を前まへき煙けむを
 出だす火山くわあり。
 山やまを下くだき林ふを
 下くだり水みづの流ながる

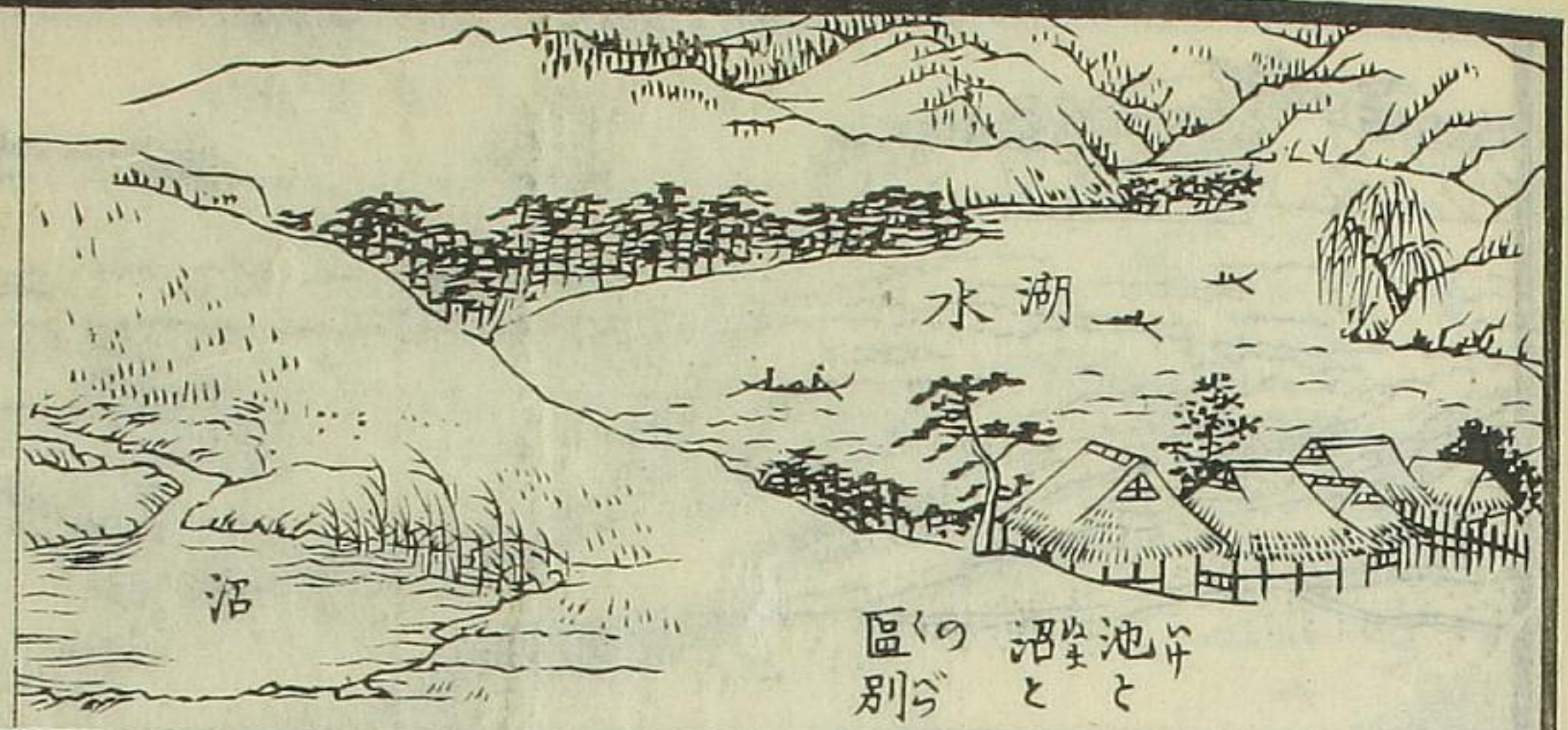
嶺たねの頂たかねを峯たかねと
 呼よぶ。又山やまみれば
 絶たへずつつと山やま
 絶たへずつつと山やま

子寶目録

子寶目録



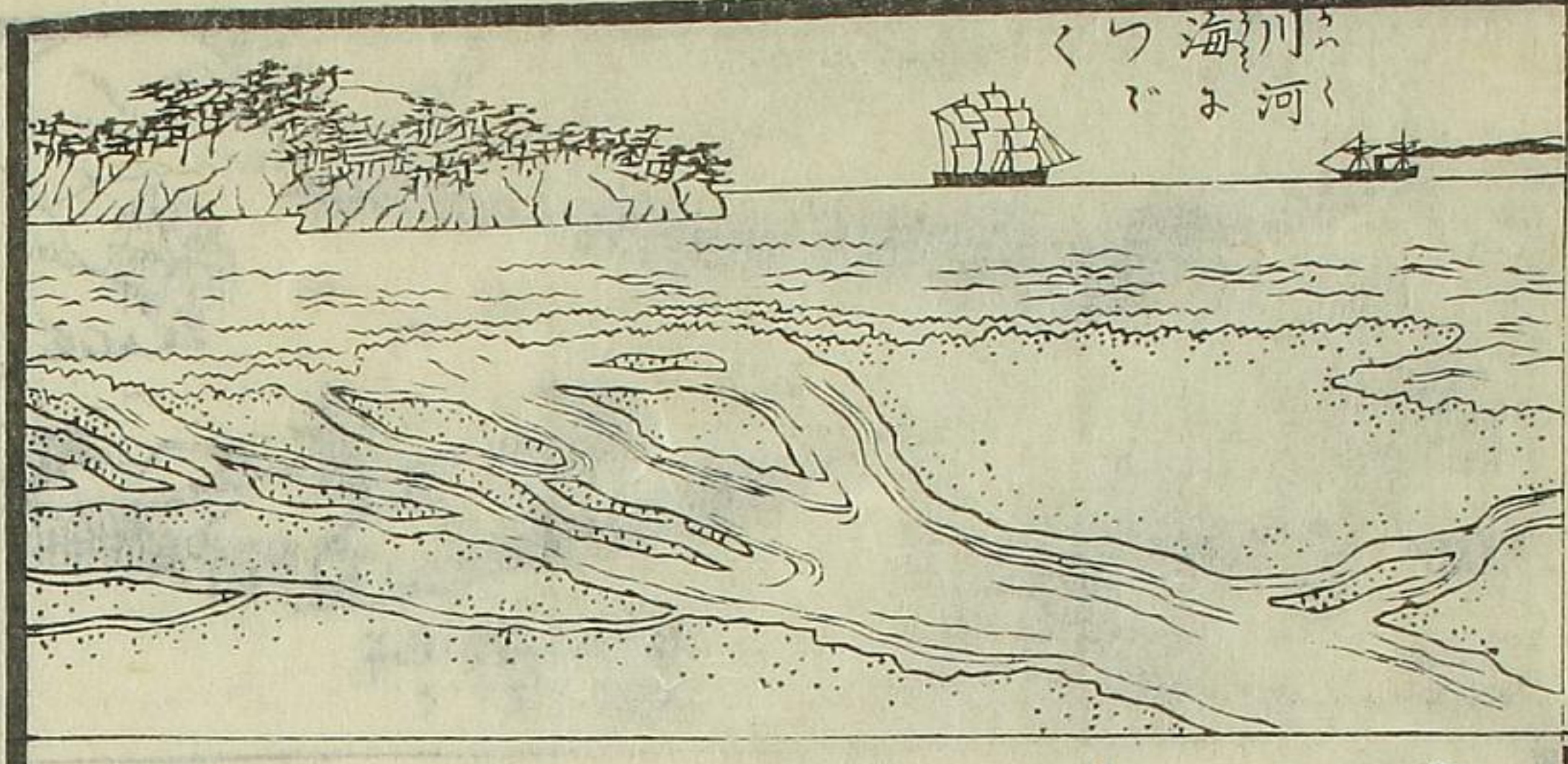
残泉と名づるを
 ましり漲るを
 流す細き流を
 溝と以て淡立
 水能潔く集るた



るぞ湖水ある水
 乃溜るを勃然
 を沼とて又池と
 呼び雨雪水乃山
 中溜る谷小



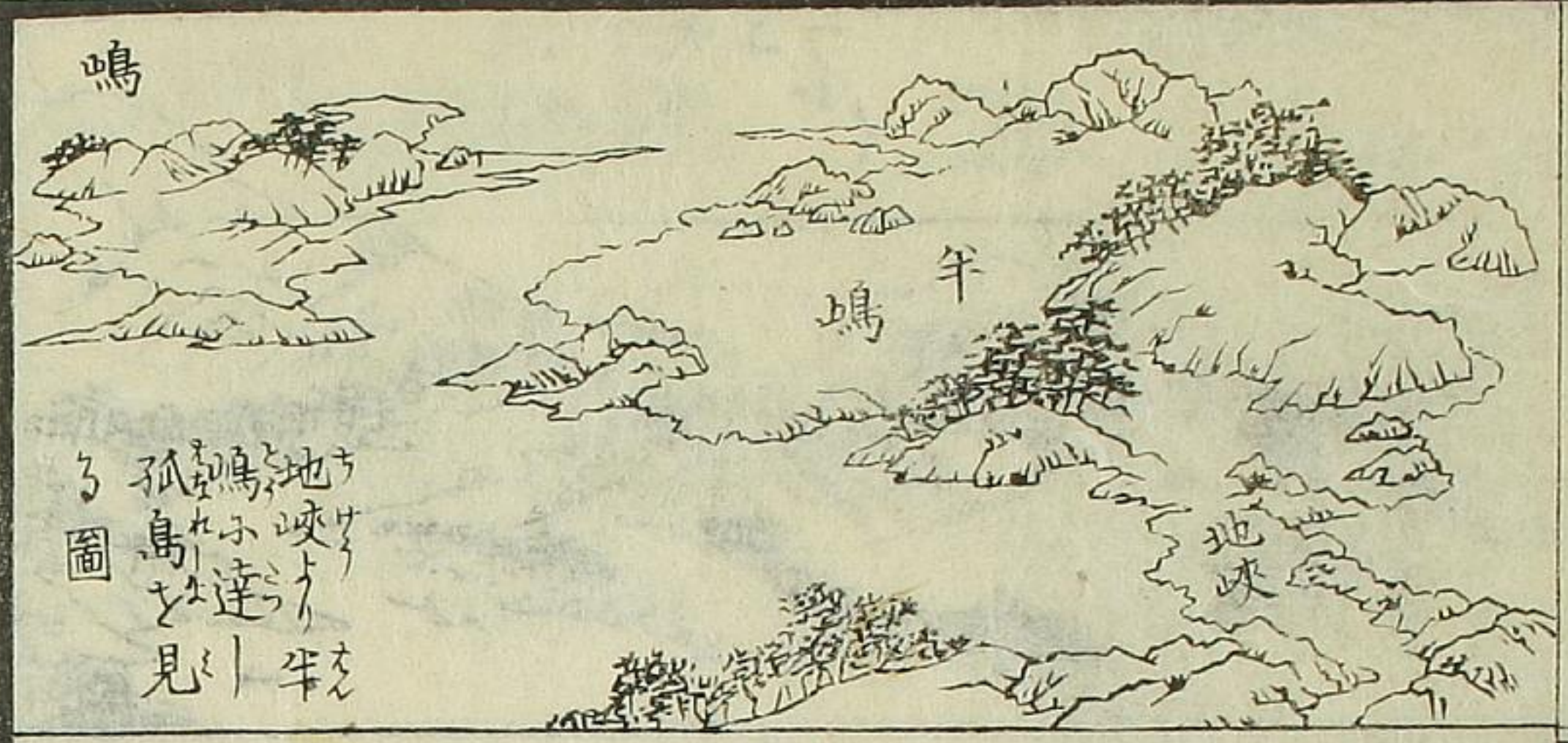
大洋と陸との狭い
 間細き海峡海
 中土地ある者



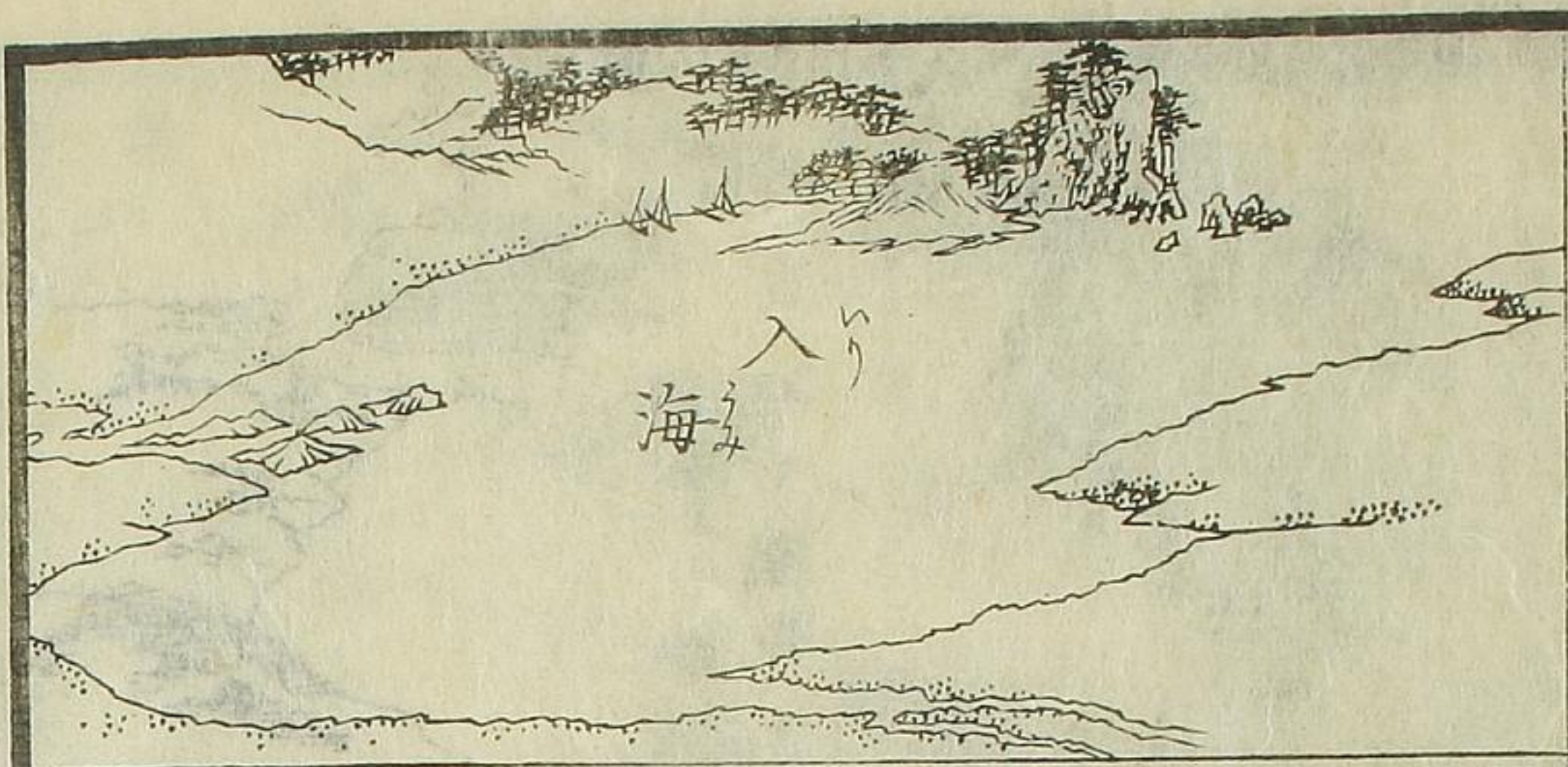
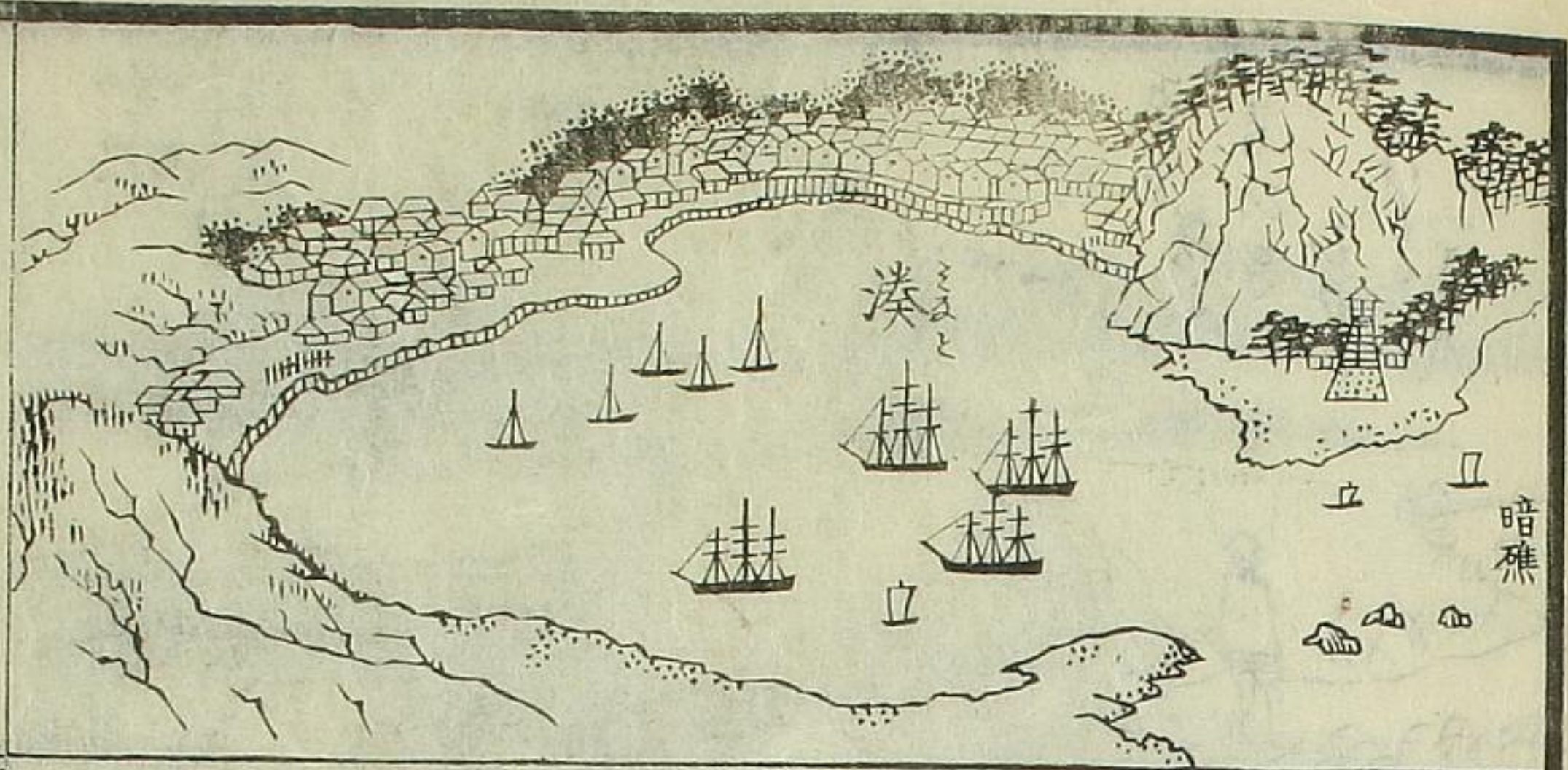
流き出川とあり
 たる楚の果を大
 河とありて海も
 入る海とは陸に
 近き場所海に遠



地を地峽と稱する
海中へ突出たるが
岬も海と海と
能列る狭き変
を瀬戸とふ又



我島といふ且之方
小氷ありて一方
陸よりそら續き
出たるが半嶋
陸乃間能細き

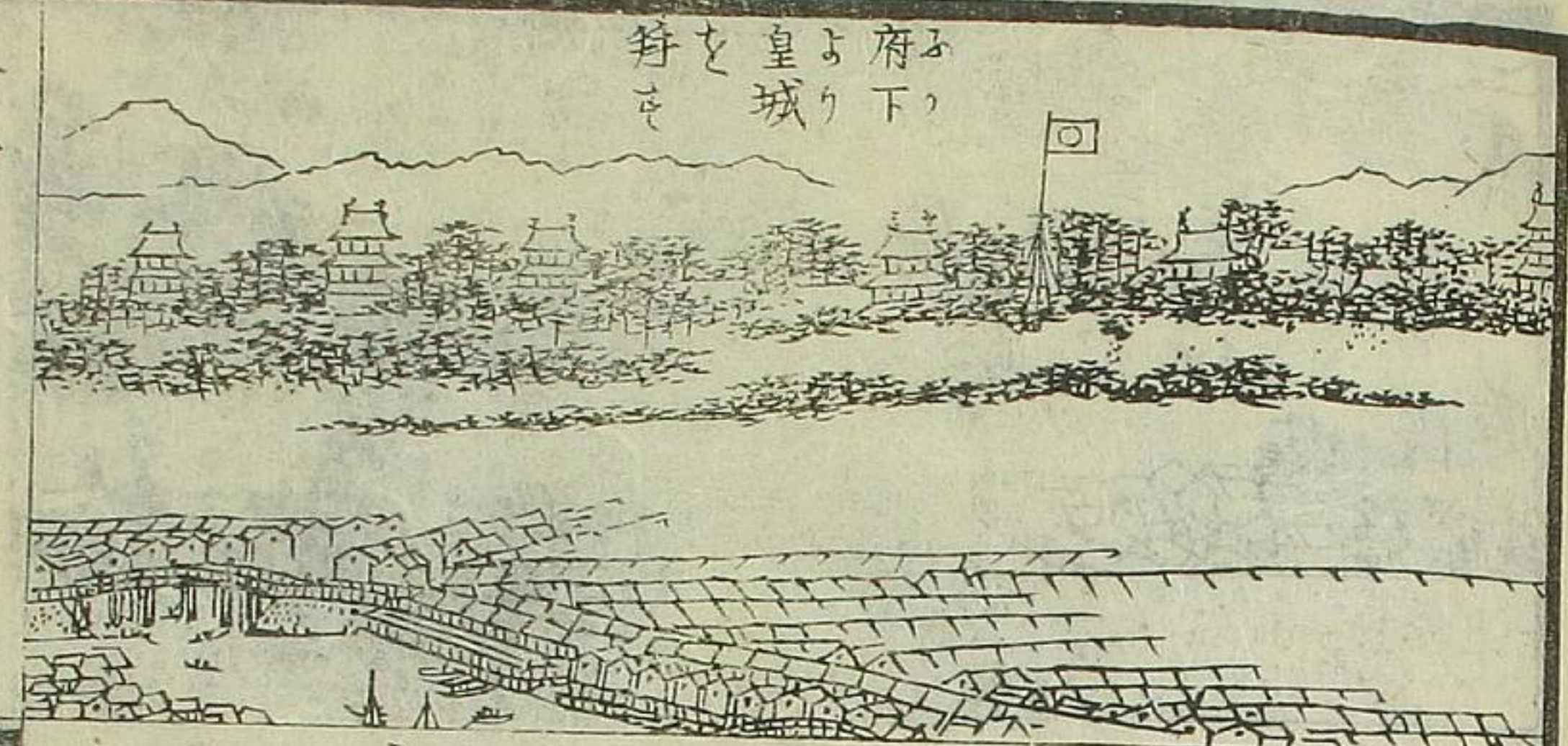


乃沙原乃沙原小雨降乃沙原ら
 草草も木木も
 水際水際小題小題をを海海
 浪裂衣浪裂衣之之岩岩の
 暗礁暗礁を陸陸の濱濱迄迄
 乃沙原乃沙原小雨降乃沙原ら
 草草も木木も

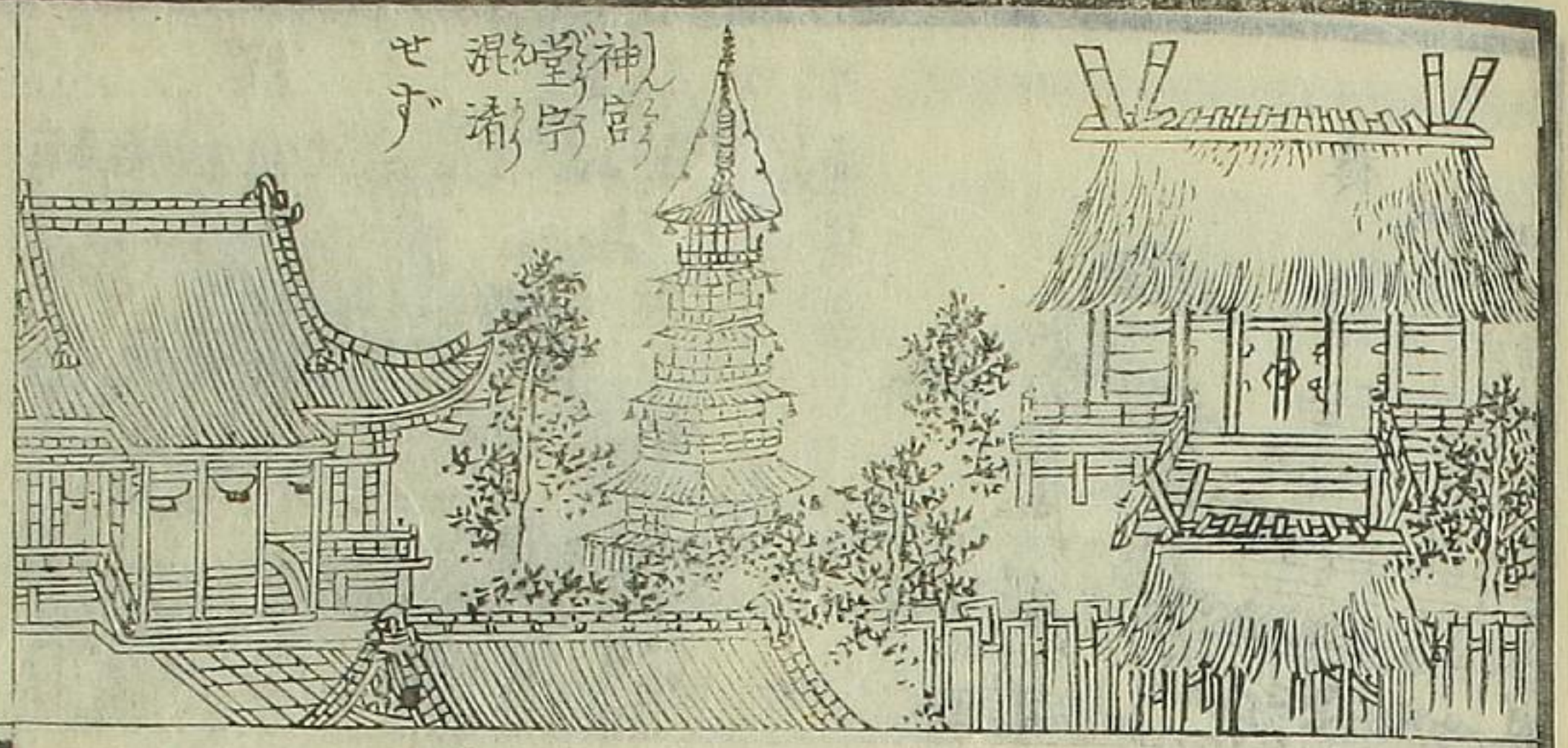
三方三方も陸陸も
 一方一方のの外外海海へ
 潮潮乃八乃八
 海海也也船船石石を釣釣
 下下泊泊多多處處が港港
 三方三方も陸陸も
 一方一方のの外外海海へ
 潮潮乃八乃八
 海海也也船船石石を釣釣
 下下泊泊多多處處が港港



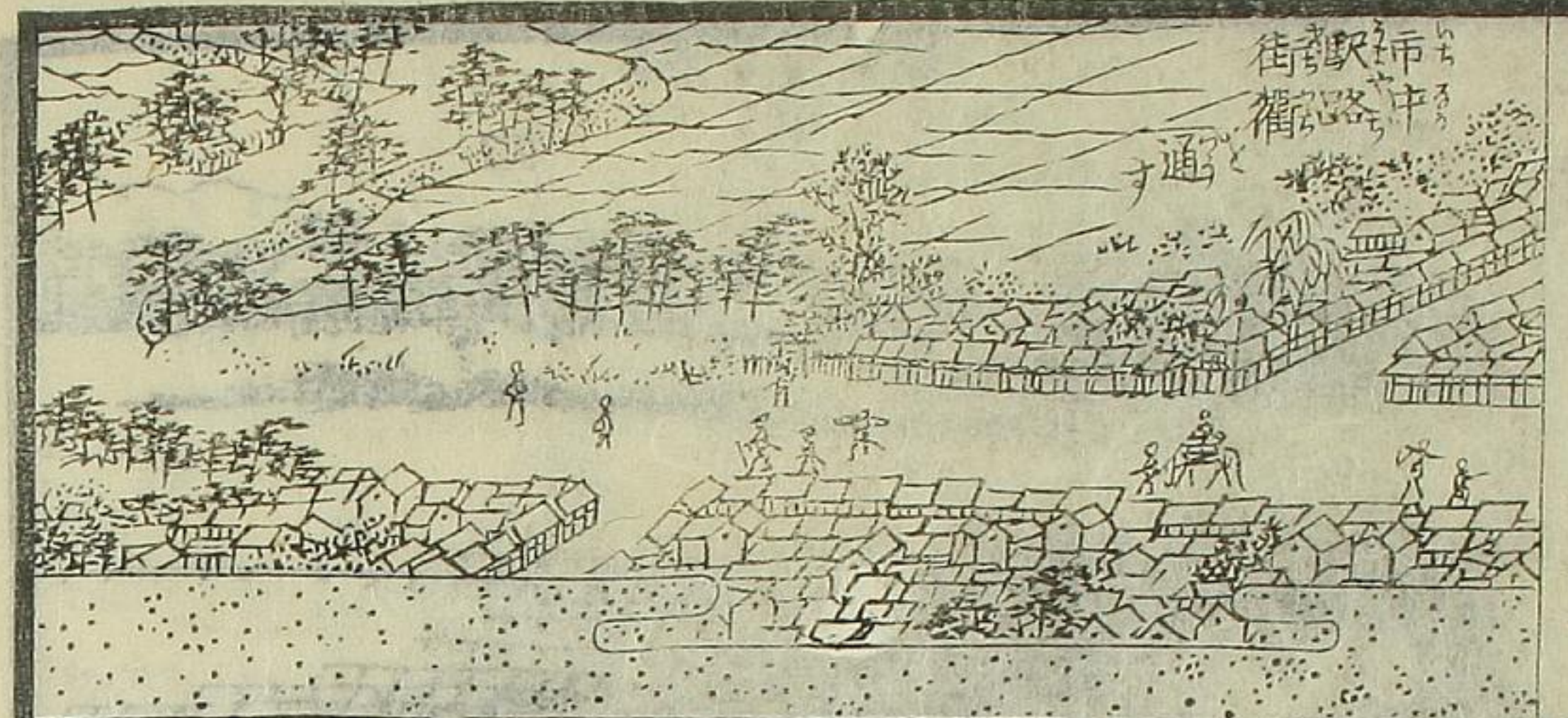
生人ぬら沙漠叢
乃茂る山は田
は畑ん。左まをる
野といふ持
亦一國の其中小



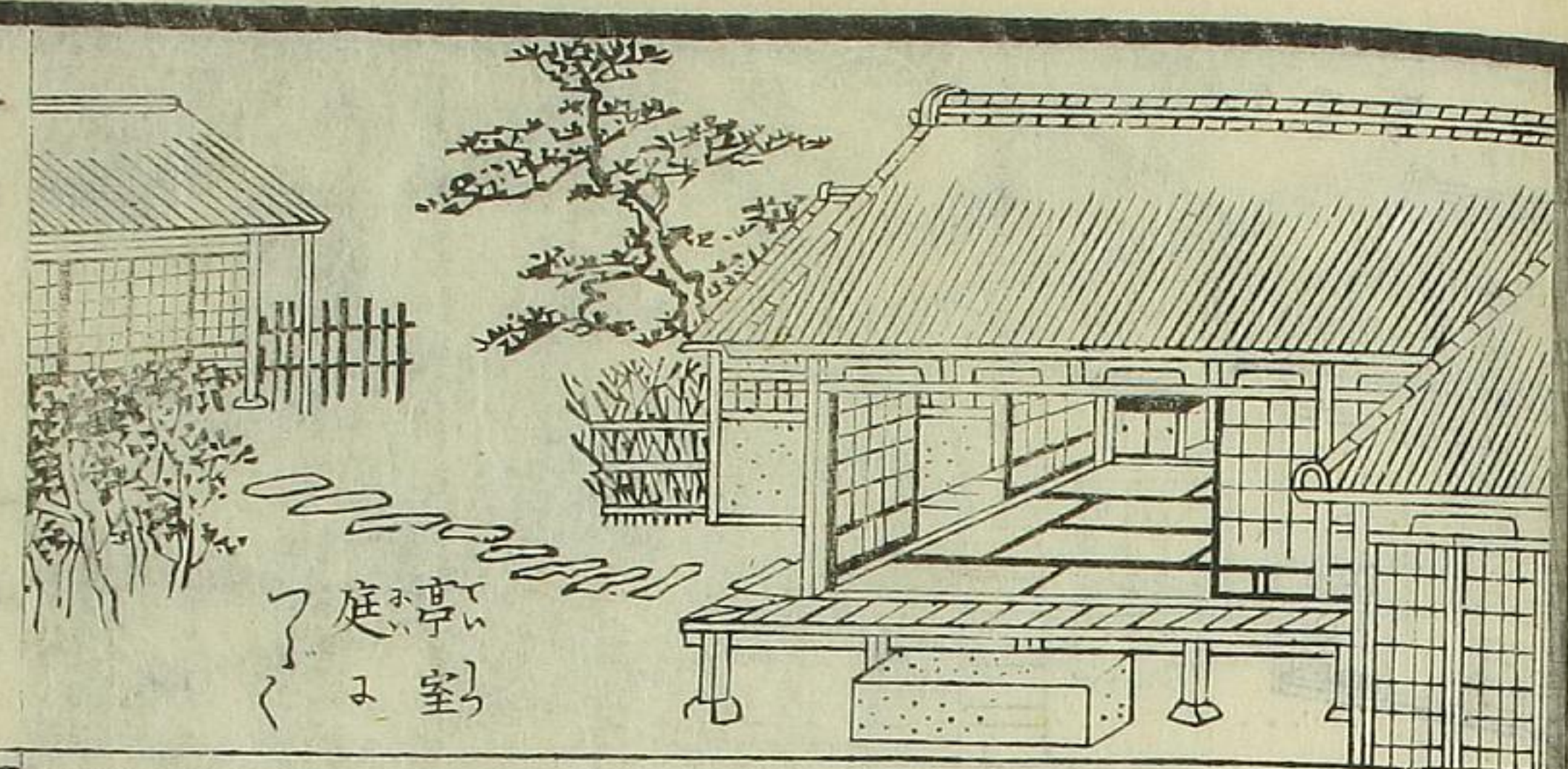
政事に廳ある土
地を都府とも稱
へやこしん和ま
稱事傳るまあ
人乃家並續まし



神の鎮まらぬま
 けを宮ふ社ふ廟
 祠浮座つ家の家を
 寺とつ堂塔伽藍
 さ海ぐ能稱つ身



市町或を驛と
 つ俗り宿とん
 まをまふ孝叔と
 王は治世まふと處
 ち内裏まふ皇居



亭
室
庭

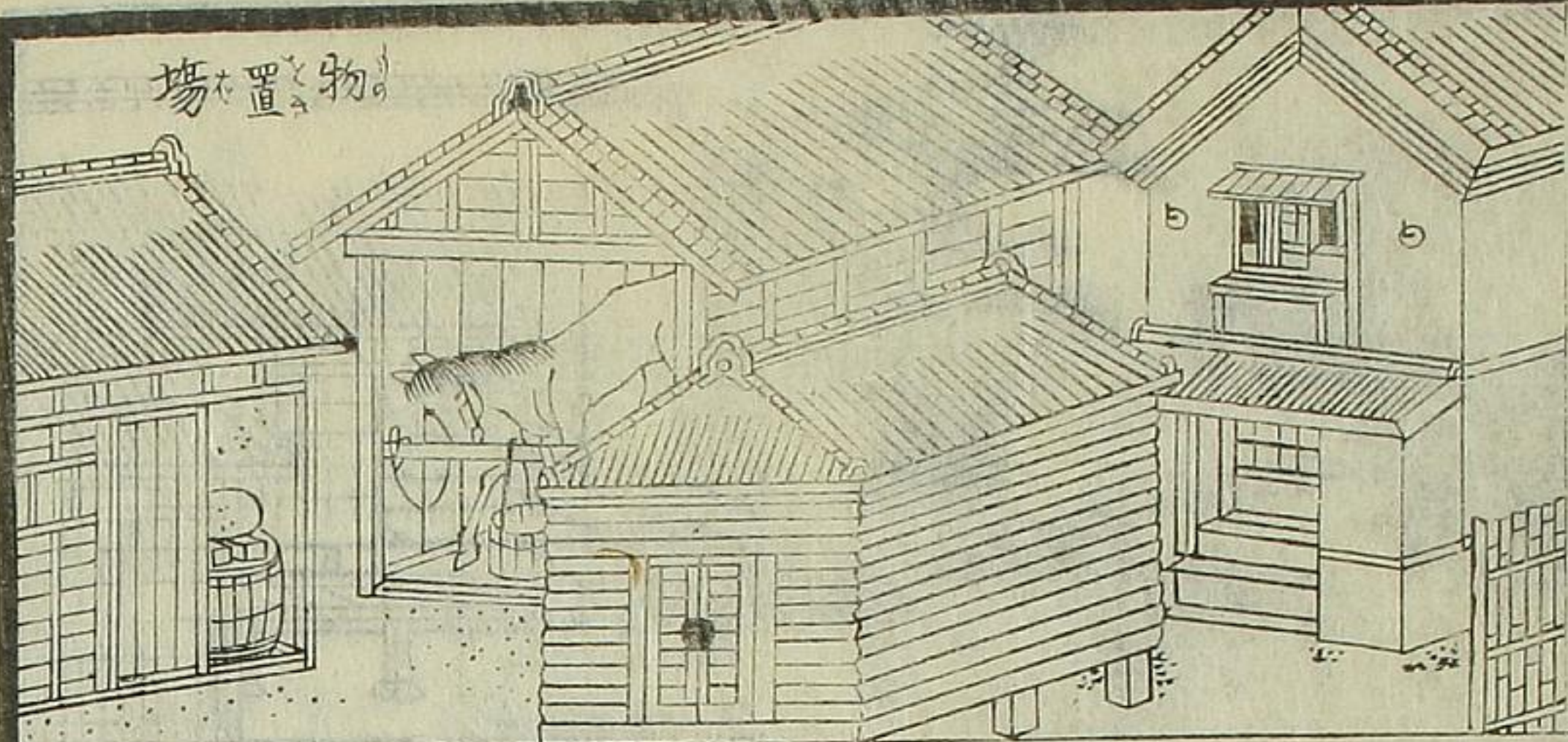
土室亭
あり
各部



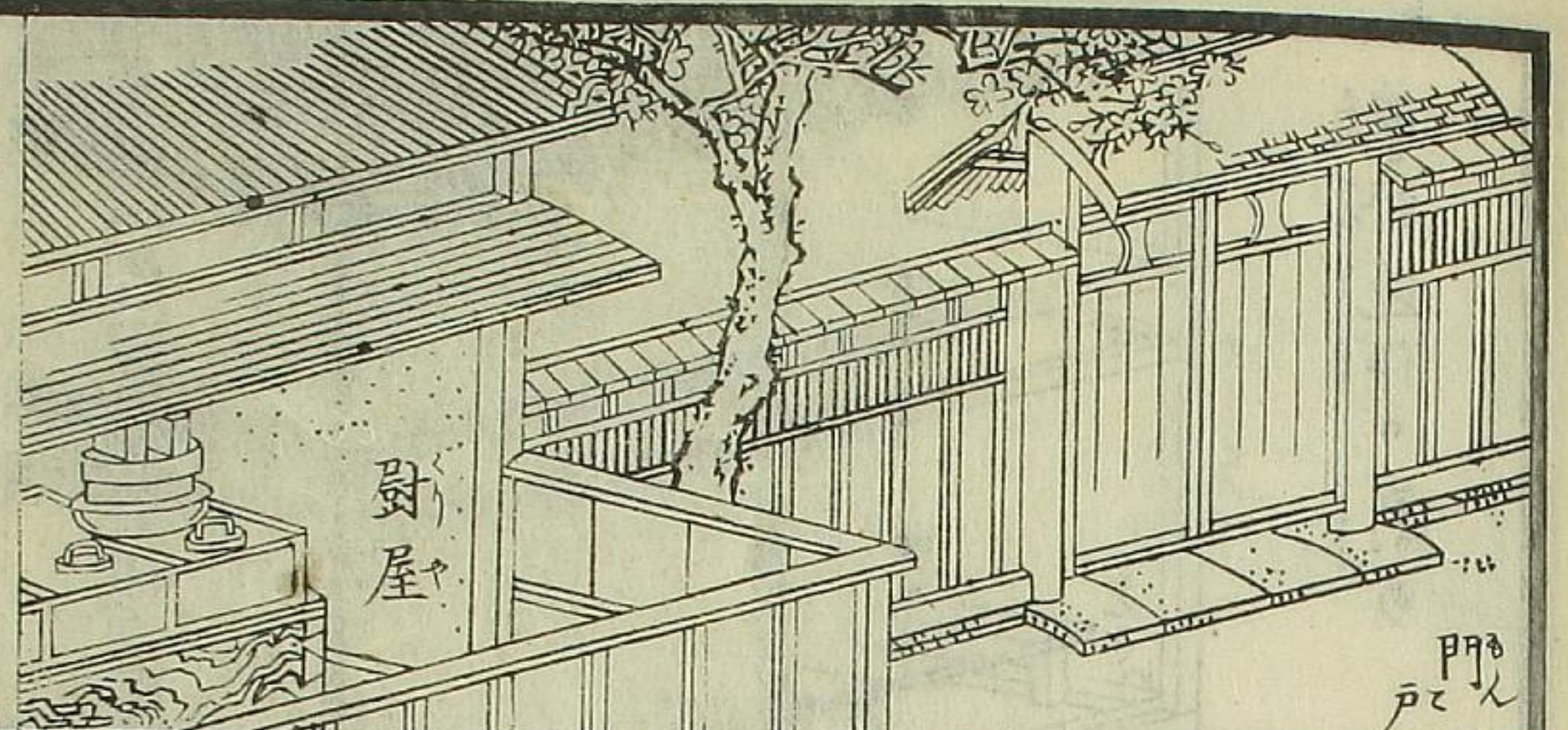
閣
雲
高
間
草
庵
あり

亭
重
乃
あり

亭
室
庭



土蔵と彌も厚板
小園もかたが倉庫
花馬棧置を厩
めく物置と場所
を納屋とつふ外ら



入るの門戸もて竈
のあまの厨あり棟
梁貫木椽柱と井
床もぬす鴨と店廊
下軒庇は雑化の

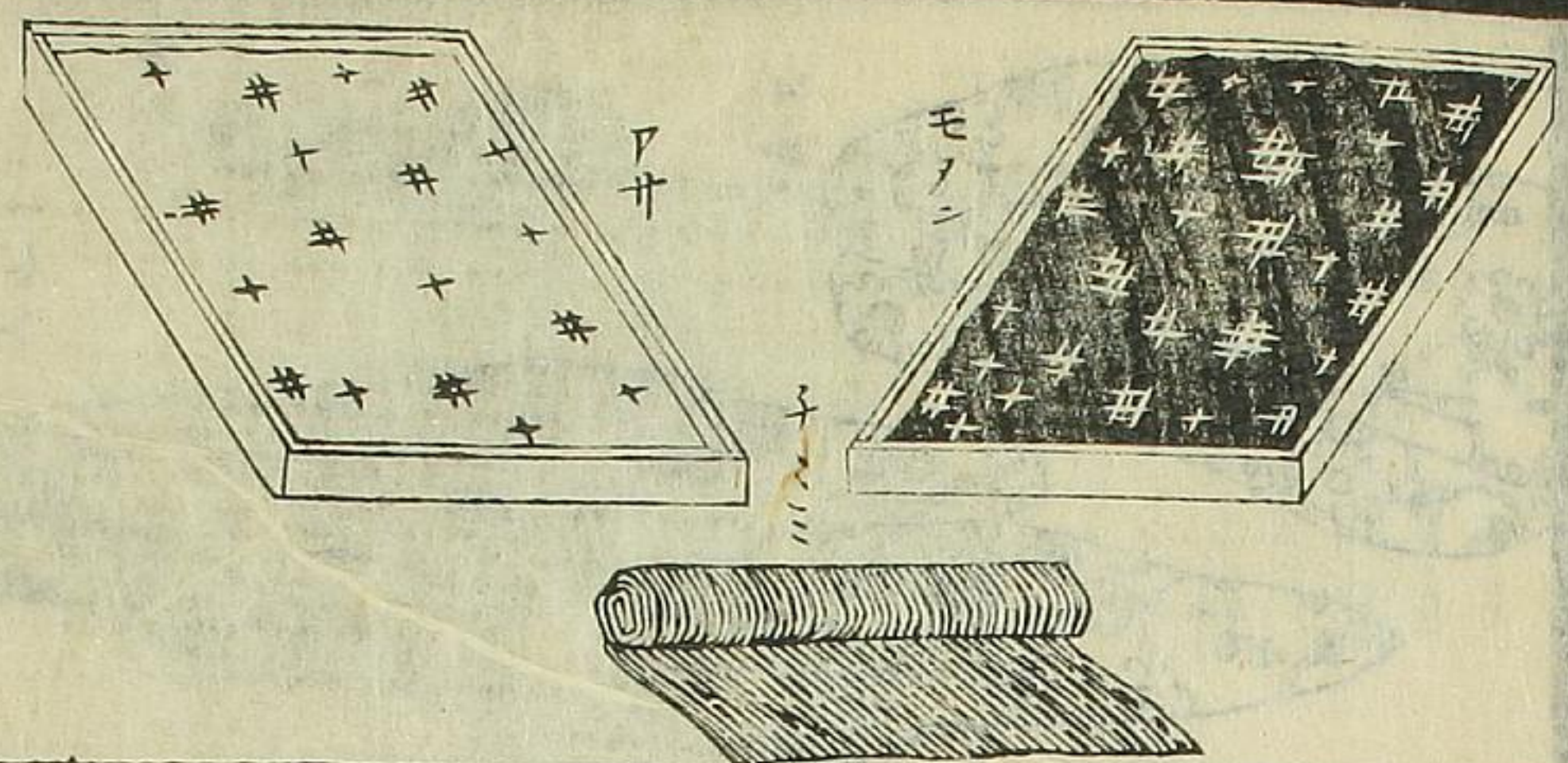


万倍に實のりち民
 乃玉乃子をつまそ
 耕と麦粟也黍稗
 豆と穀といひ八百
 や萬に野菜物世

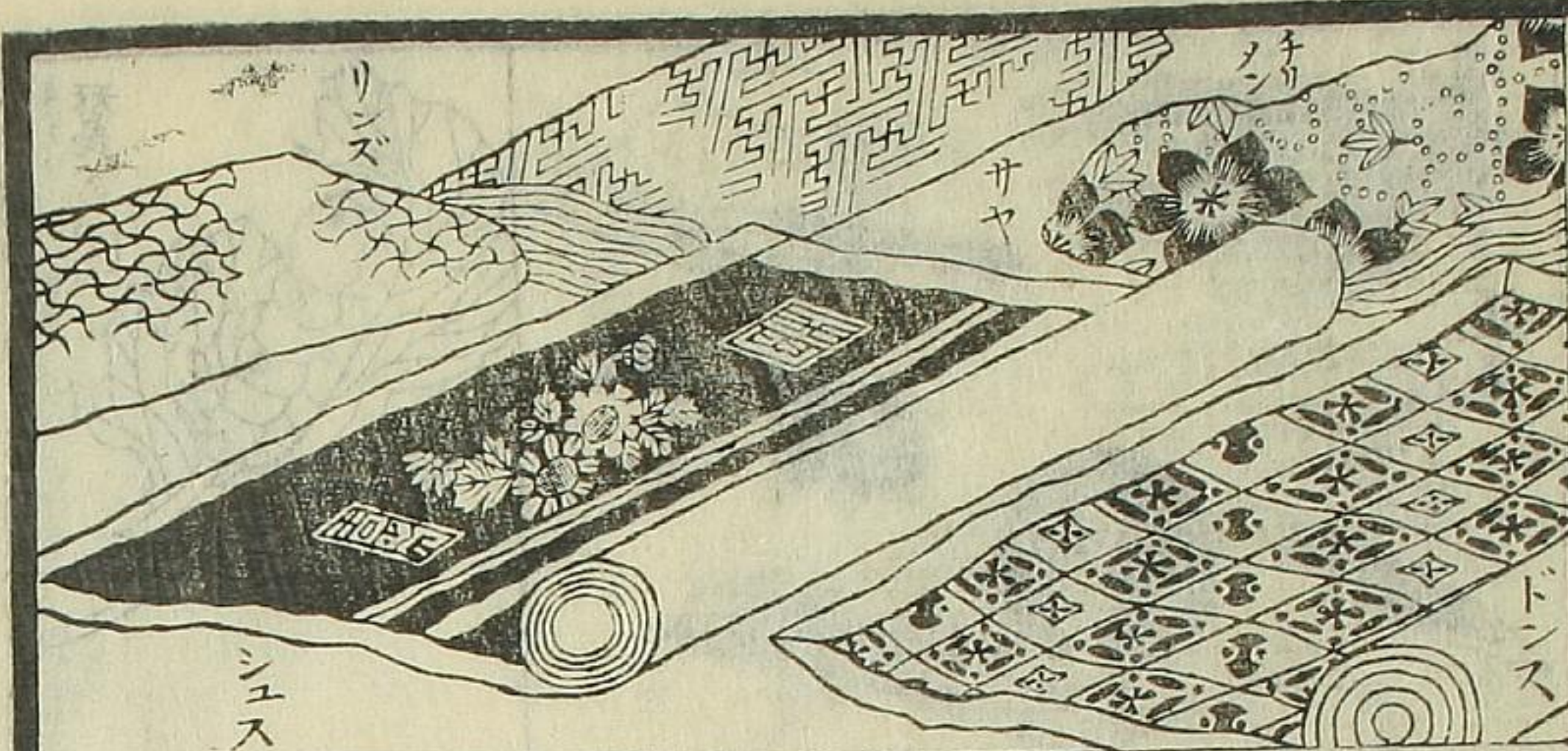
の 蒔 豊
圖 近 秋



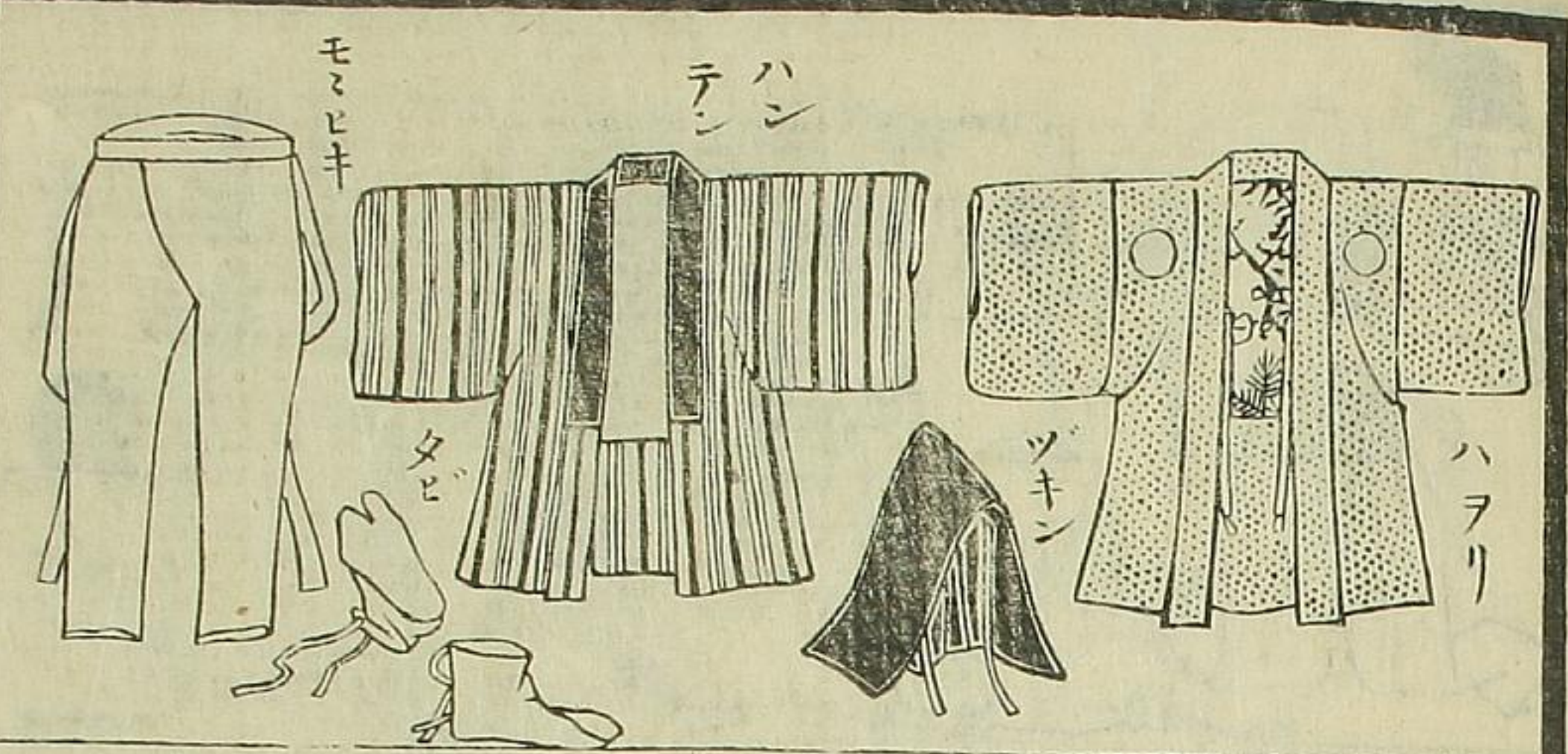
え。な。く。く。適。も。思
 第一味春種蒔て
 夏ふ植秋ふ蒔る
 稲に穂乃粒辛
 苦一粒が積りて



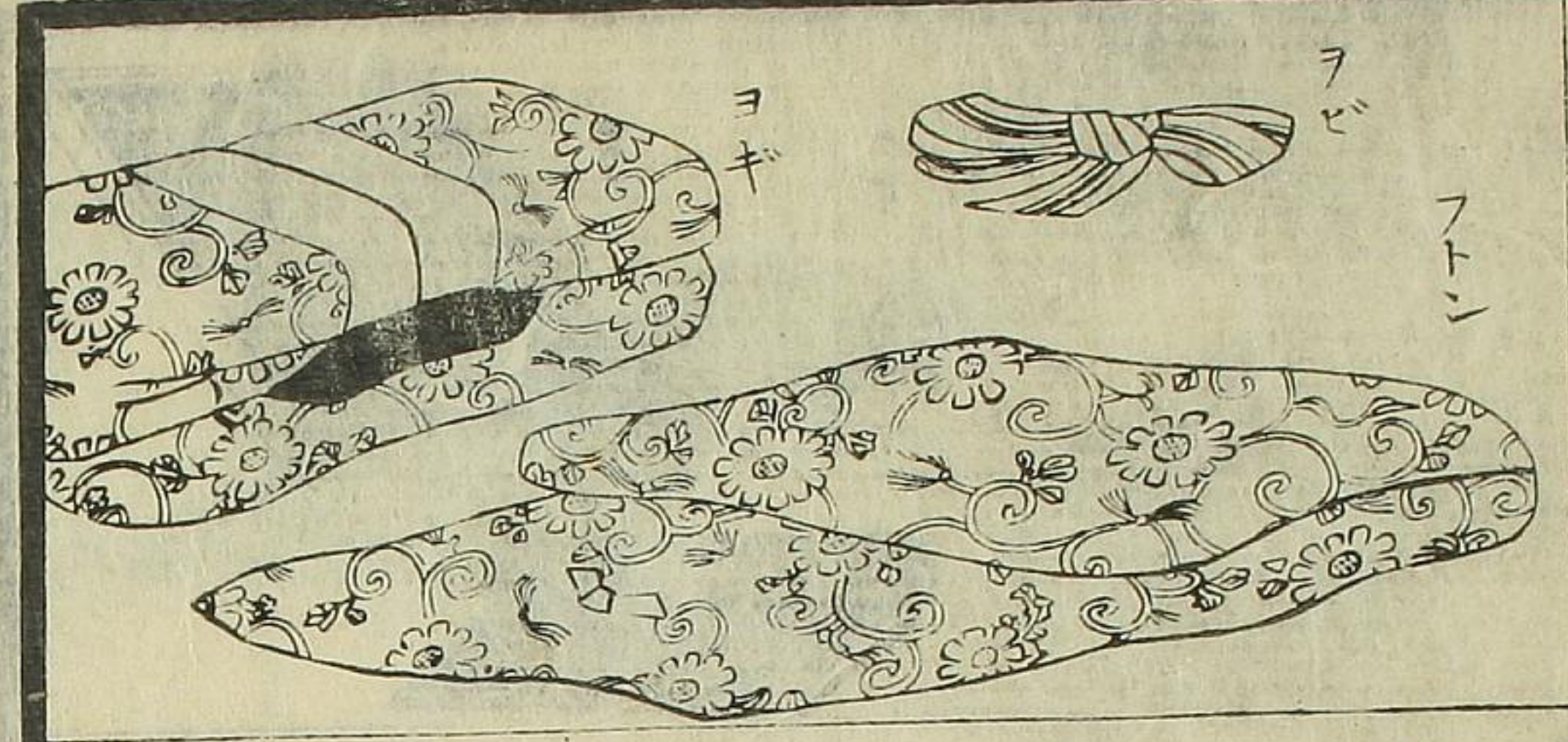
皮水くわいすい小晒せうせう一いち能のう白はく
 縮布しゆくふ妙たえん有あ雪乃ゆきのみ
 中ちゆうをを経へてて夏あつをを越こ
 路乃ぢの國こく産さんとと世より
 高機たかきのの卷まきききあり。



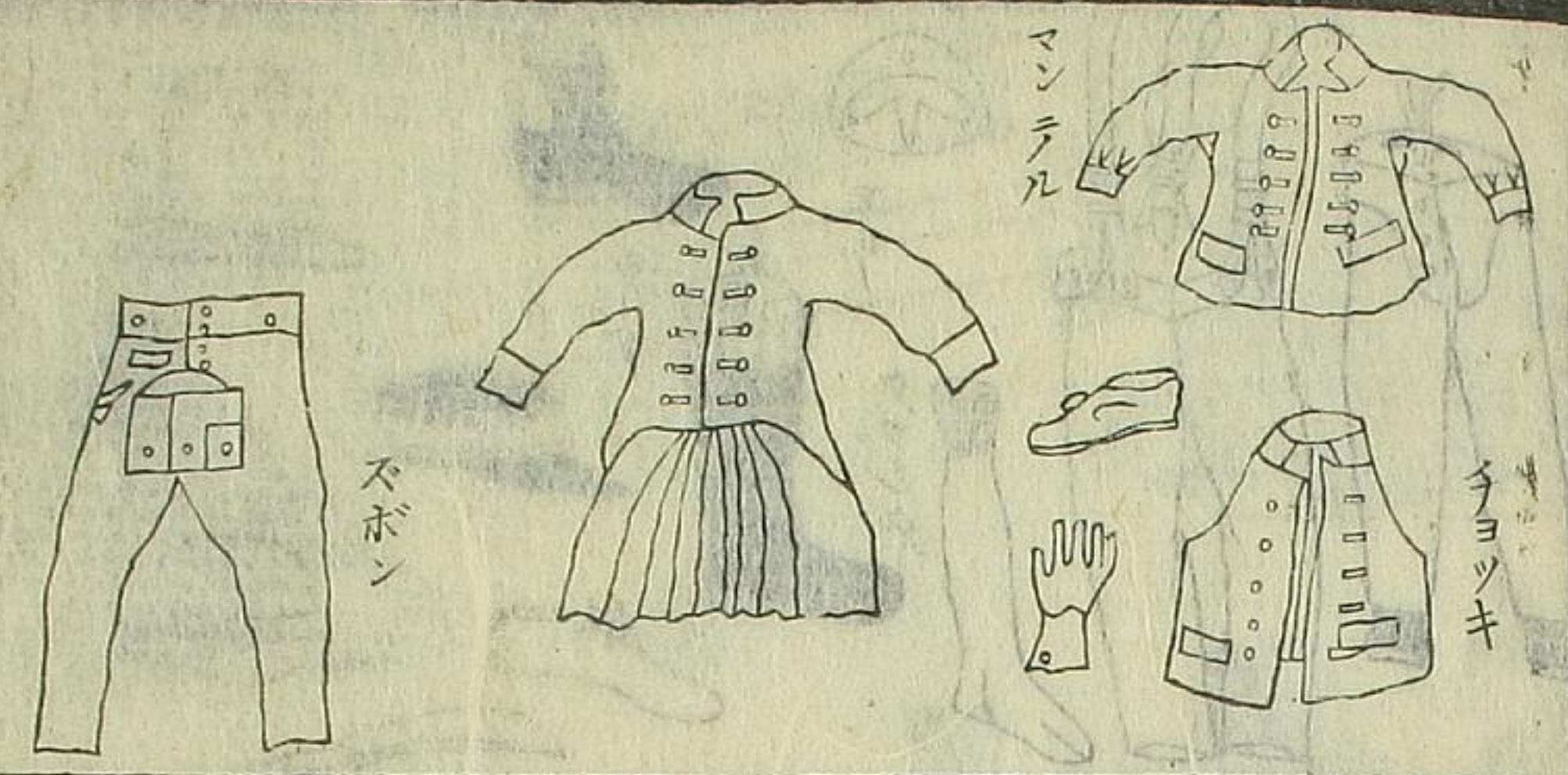
廠どの小せう紗さ綾あや也や縮ちゆく綿めん
 孺子じゆし紙し子こ綸りん子こ羽う
 二重ふたじゆう縮しゆく紬ちゆう本ほん綿めんを
 草くさのの穗ほししららししららしし
 麻あ糸いと製せいししをを草くさの



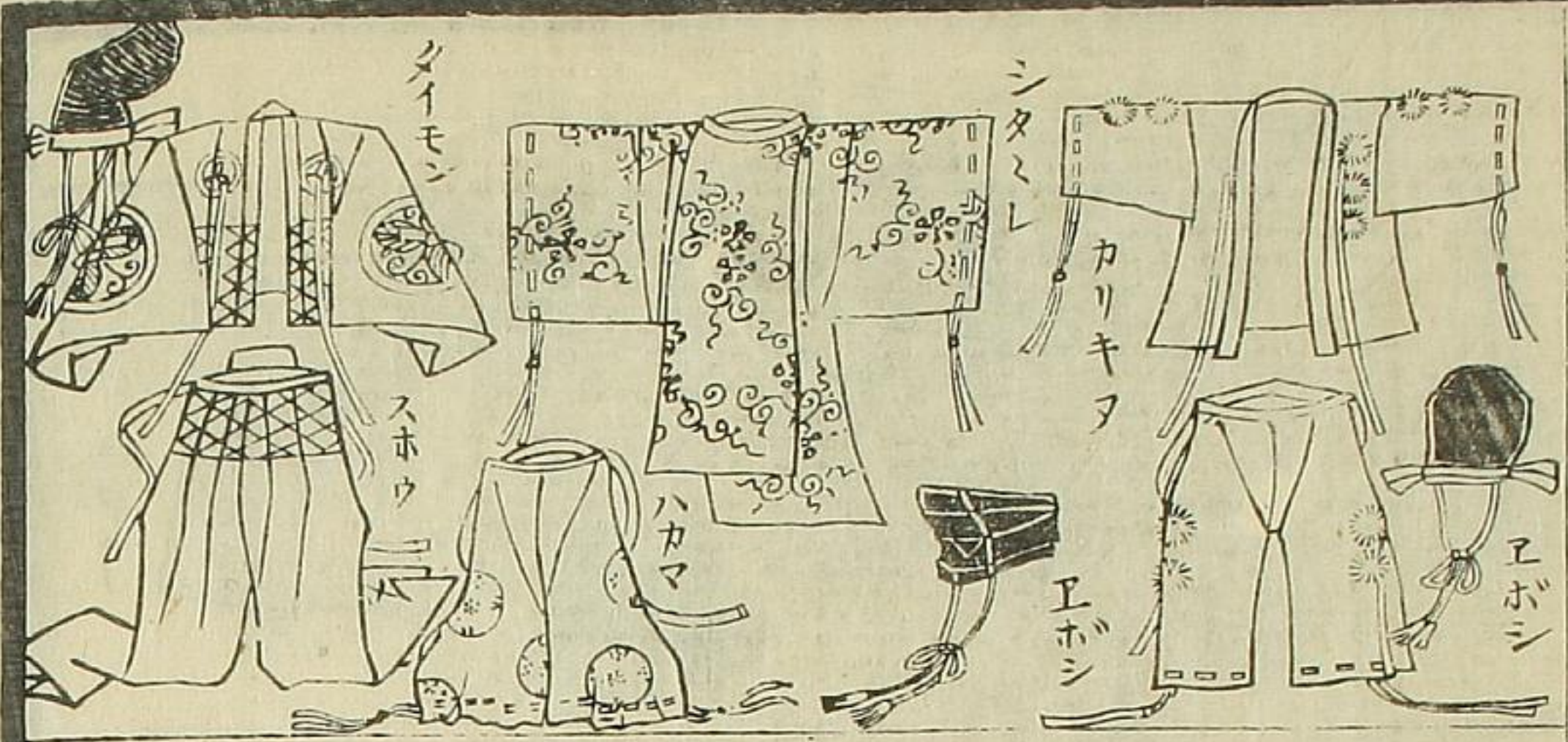
羽織半天股引子。
 足袋や頭巾の身乃
 廻り衣服小房を
 備へあり。是は不
 賤の品ありて位



此は絹布を夏冬
 の差別りより理
 燈針の単ふくえ
 やるえは帯厚さ
 薄さ此夜着布團



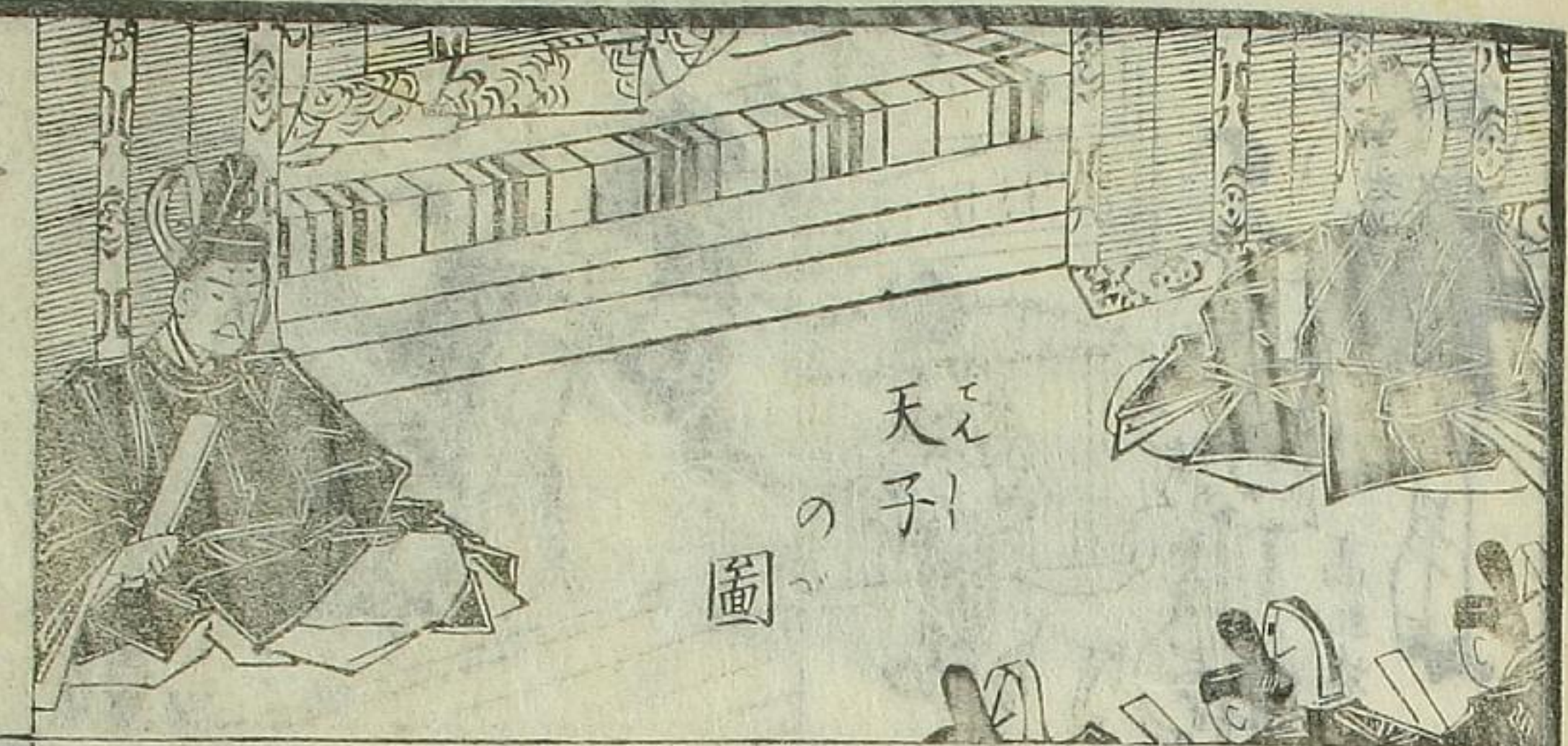
脚衣外套襯衣短
 衣帽子襟卷襟飾
 羅紗也洋麻令中
 乃仕立者人乃好
 持此職分也



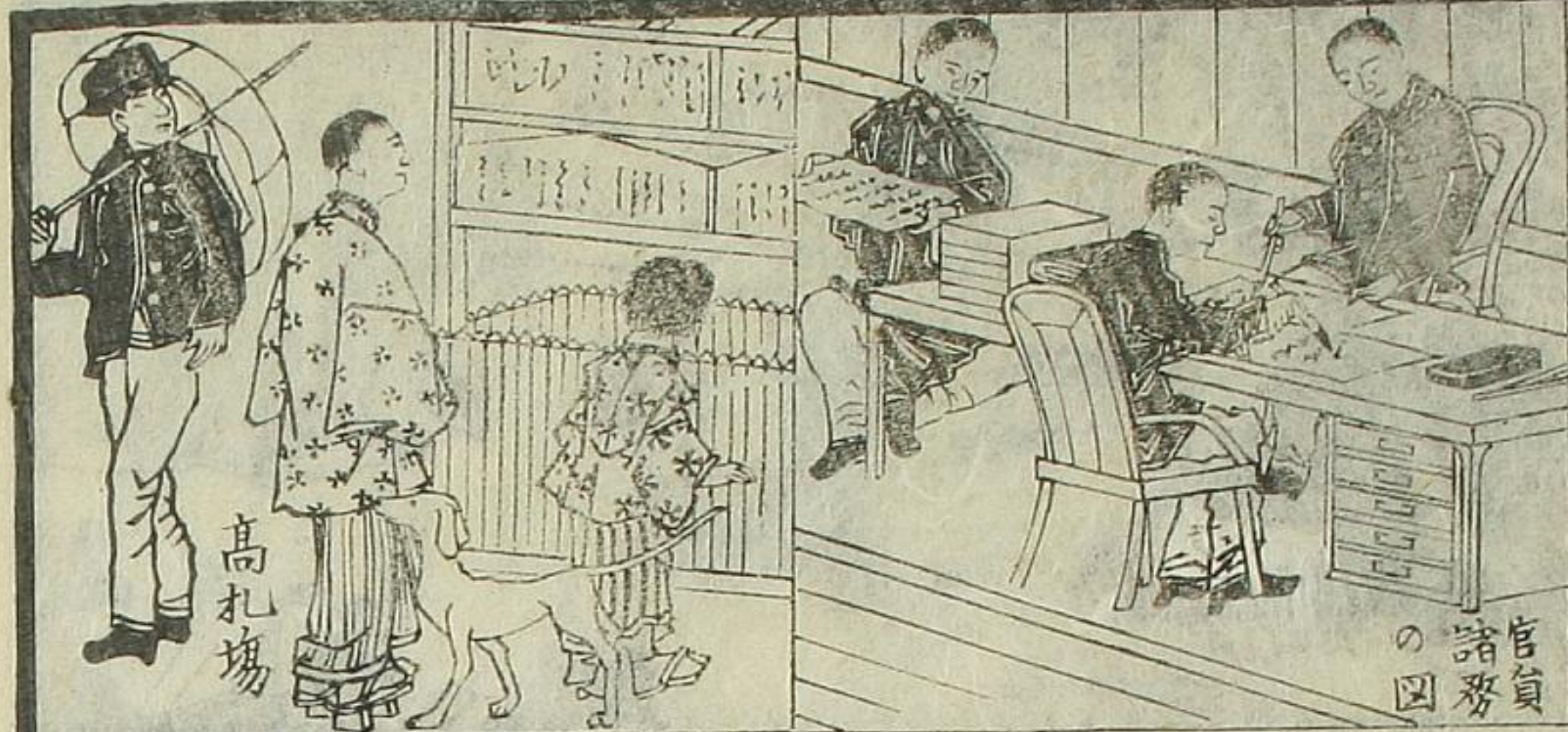
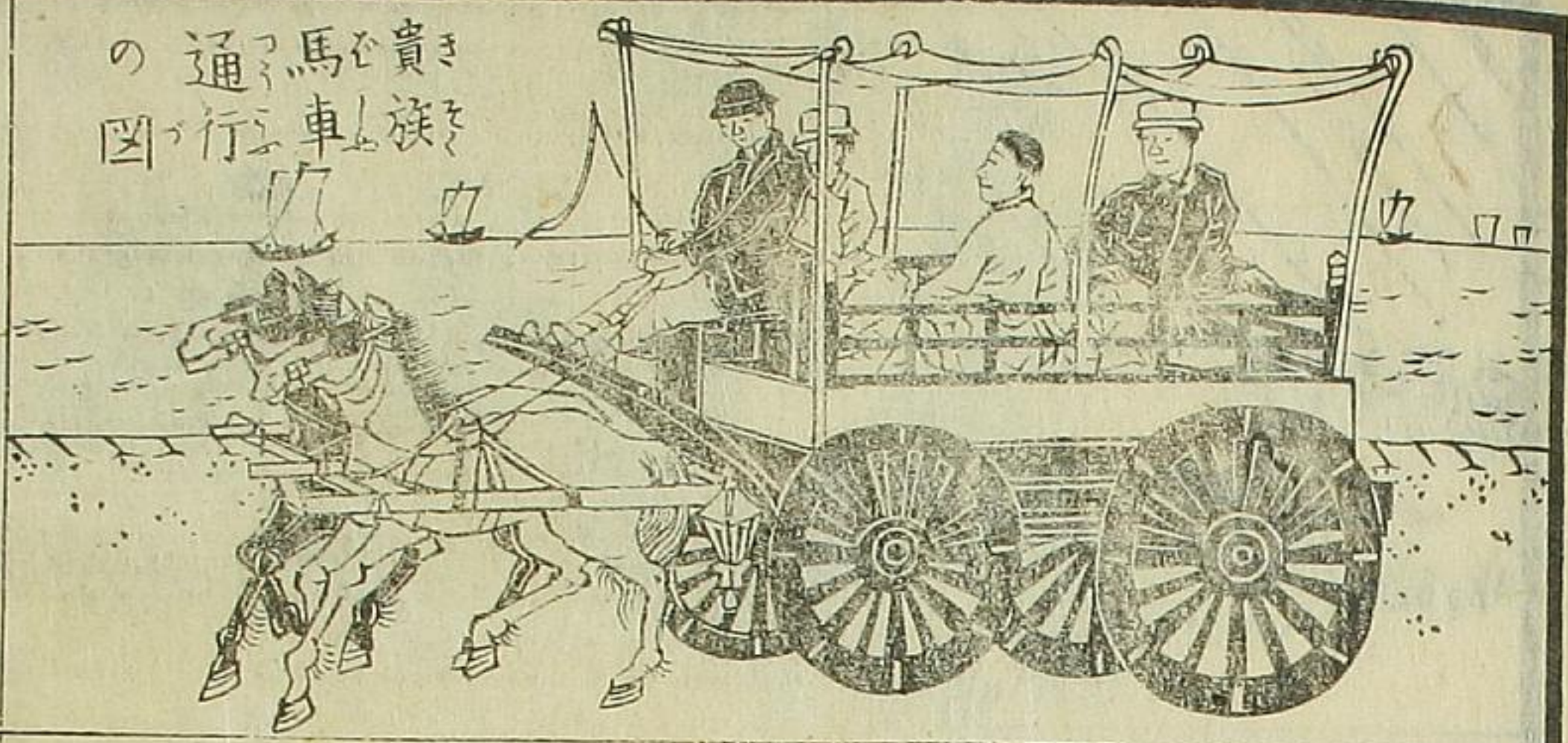
冠官服束帶袴衣
 帽子直衣狩衣也
 大紋素袍袴類今
 文明乃時りある
 西洋袴用品



より我々開化
乃脚步進之行靴
の長短種類あり
美る國を以て志す
は我皇まがれ蒼生

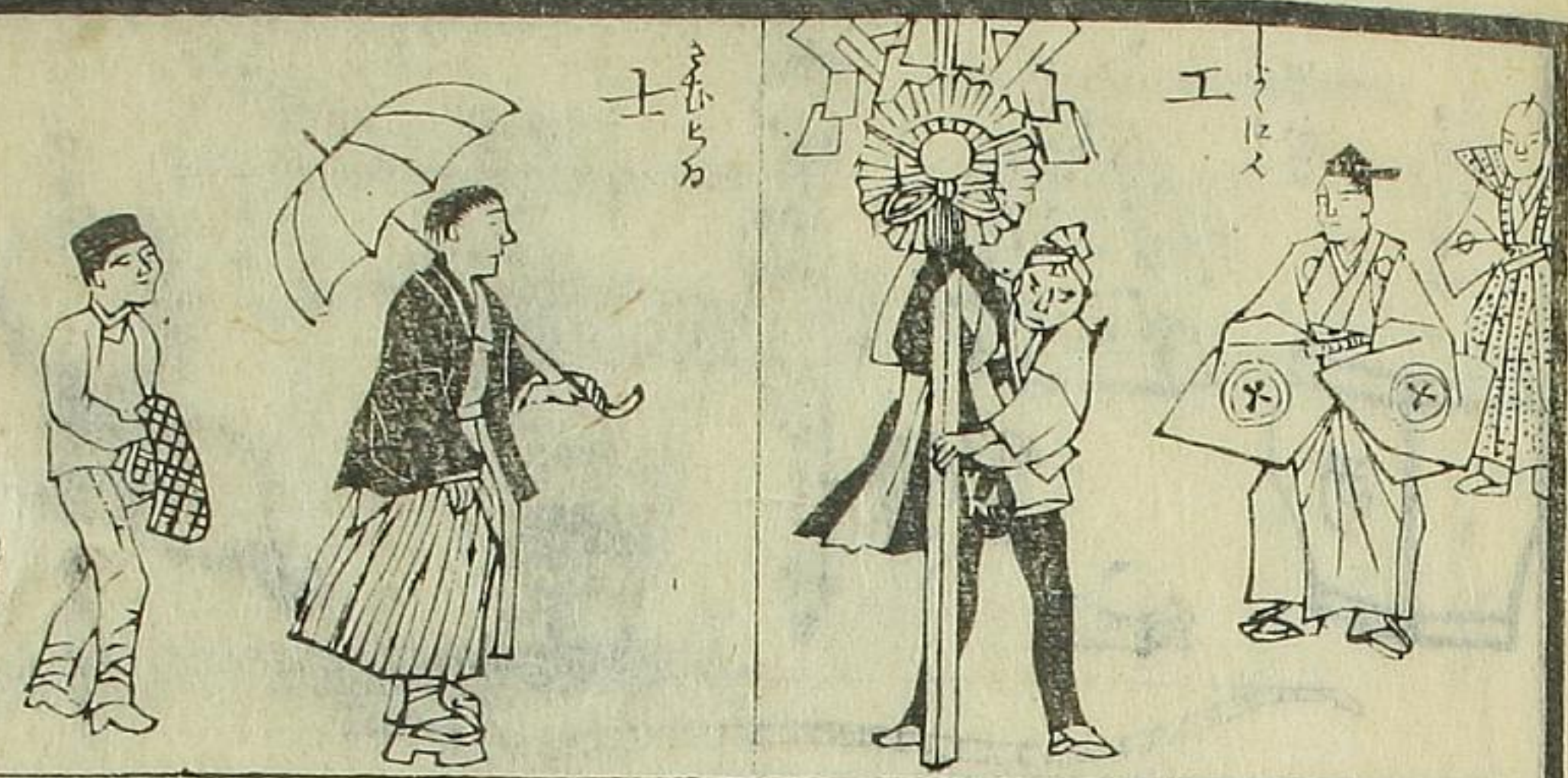


多神乃御血統激
多く絶はる愛らぬ
皇孫を國に帝と
うち仰ぎ主上天
子と号して政府



を置縣り居る令
冬事其他乃出仕
典属史生掌使也
等外の低き人オ
登庸小雲井の庭

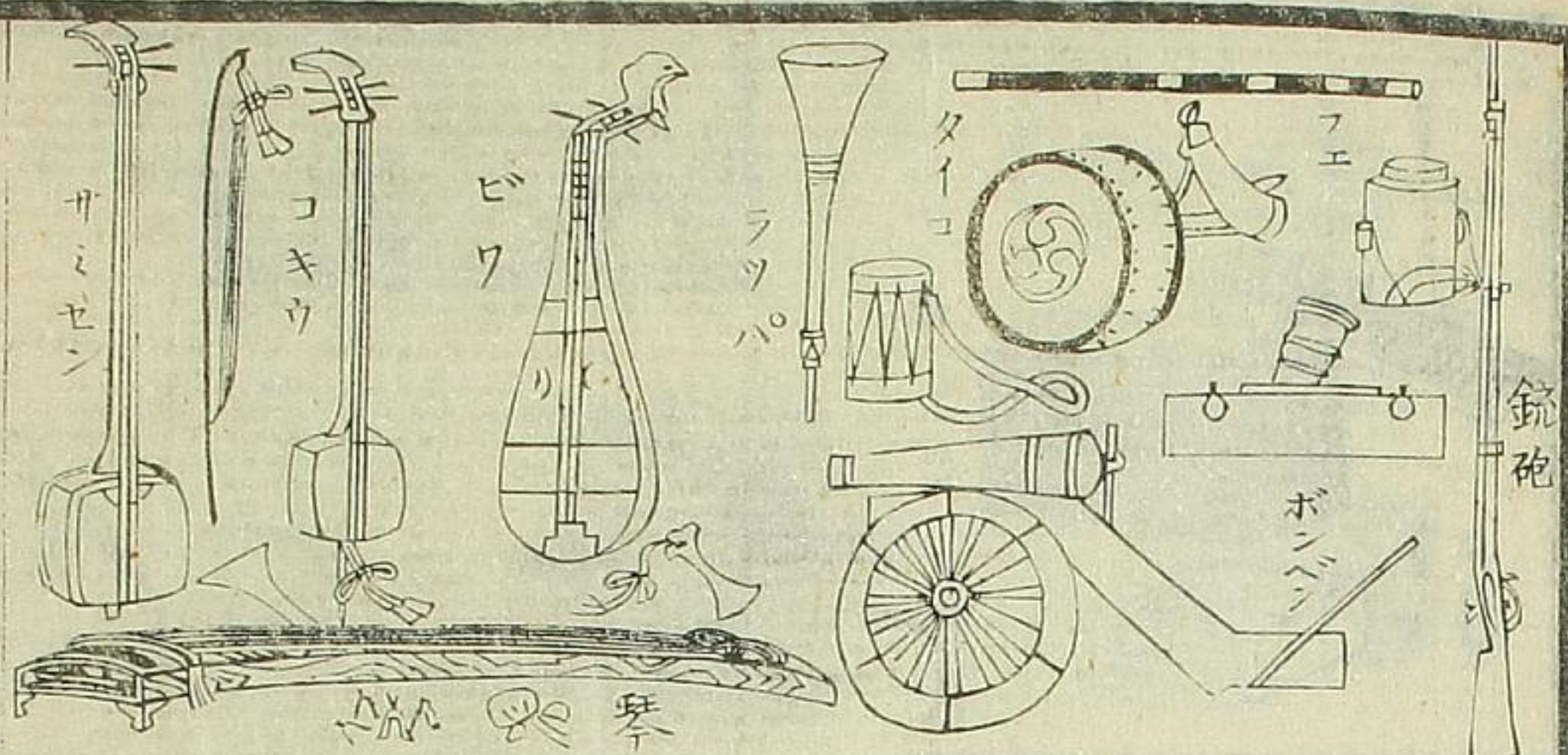
乃長と恭とつ
機割権掌中
補佐まゝ大臣也
儀御輔頭と知事
院省寮府小の能



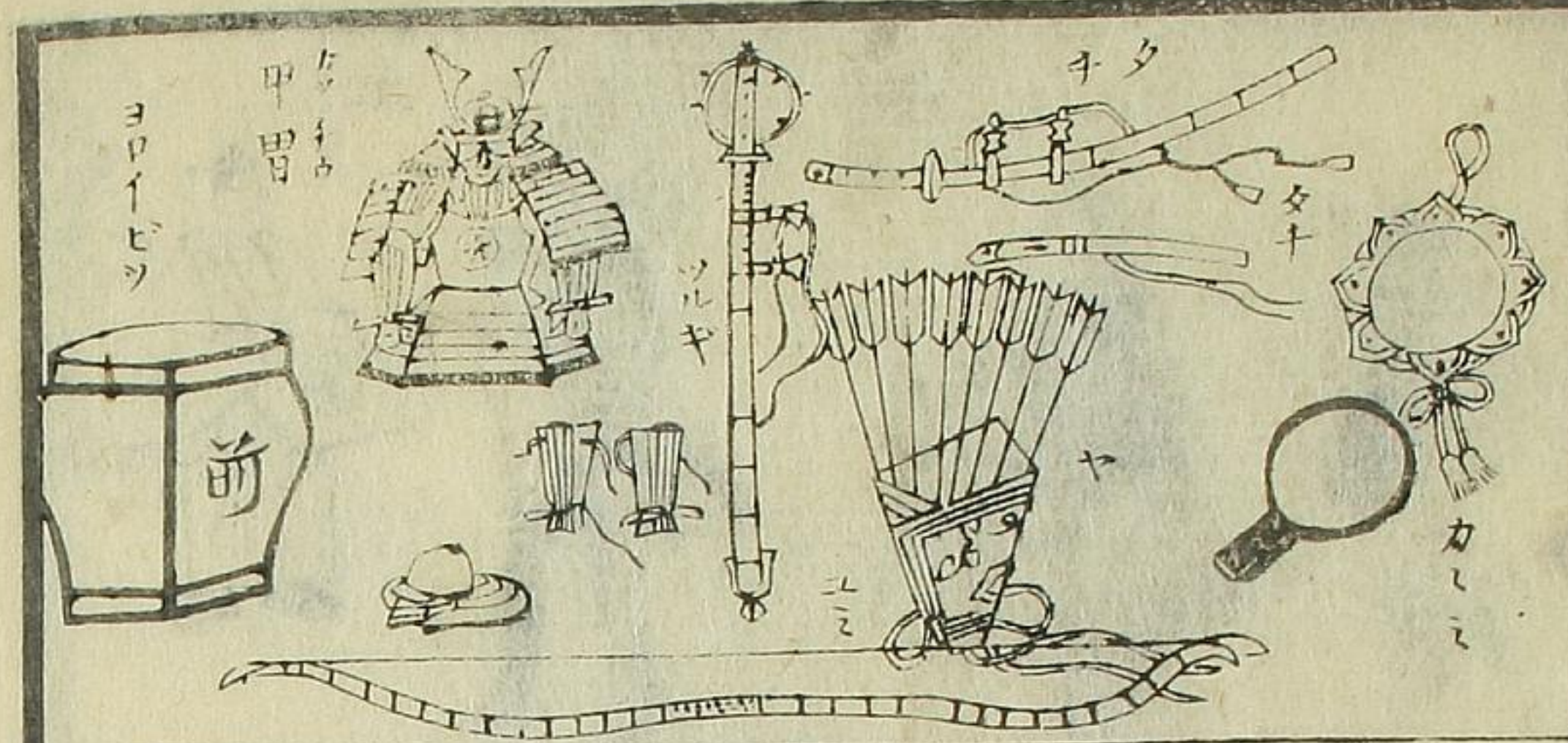
好このく小任おんく自主しゅ
 自由じゆ格物かくぶつ窮理きゆうり新しん
 貴きの諸事しよじの忘わすれ
 西洋せいよう乃なり傳習でんじゆを
 日ひ々々小磨こまく

其その心こころある理り同どうく人ひと
 少すくく品しんある親おん
 王華おうか族しゆ平民へいみんの此この
 三等さんとう乃なりうちりも
 高農かうのう工士こうし者ものくの
 の

士
 工

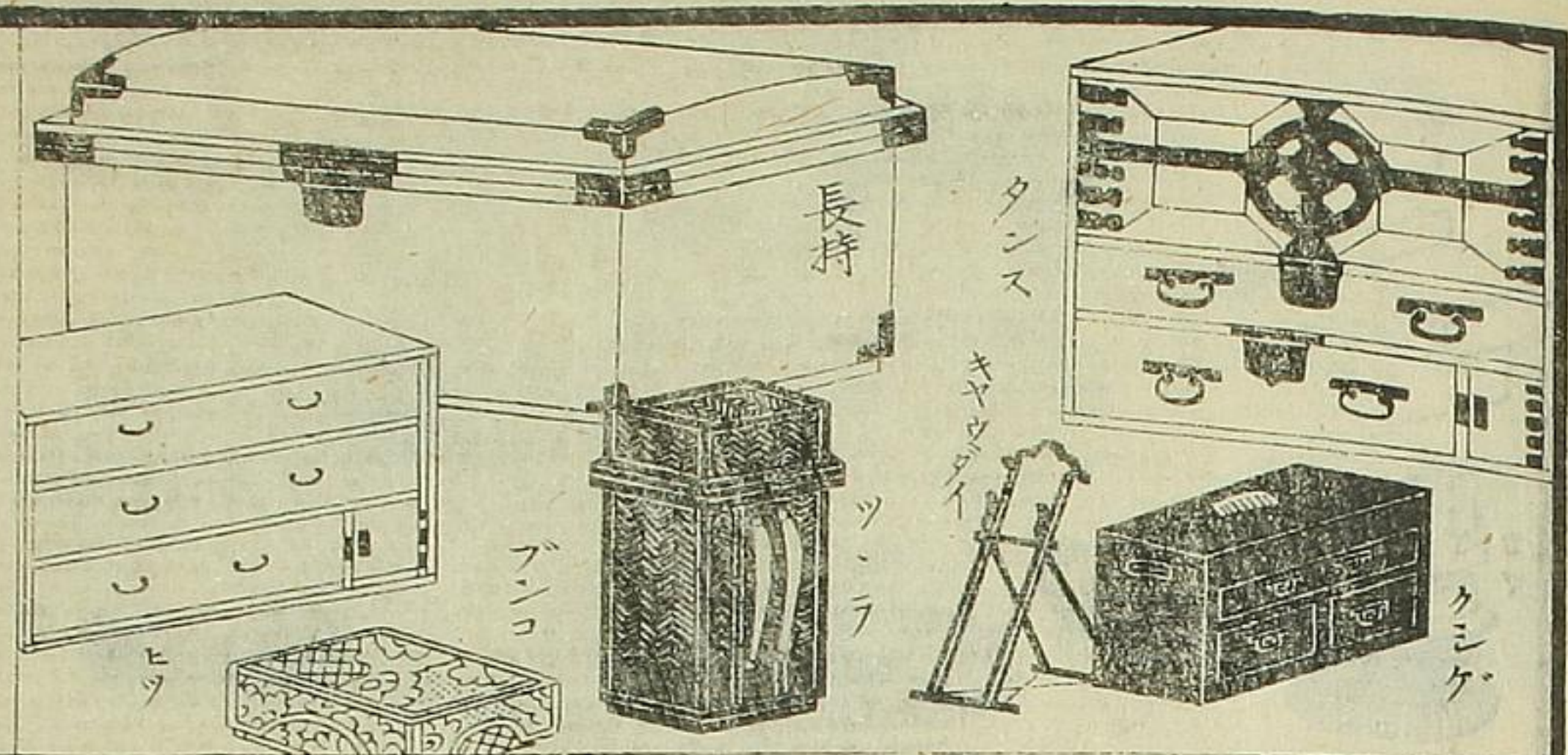


乃。調。べ。乃。糸。の。音。作。
 琴。琵琶。琴。今。胡。弓。三。弦。
 太平。謡。ふ。鳴。物。を。
 弾。丸。爆。團。火。薬。盒。
 調。練。太。鼓。笛。喇。叭。

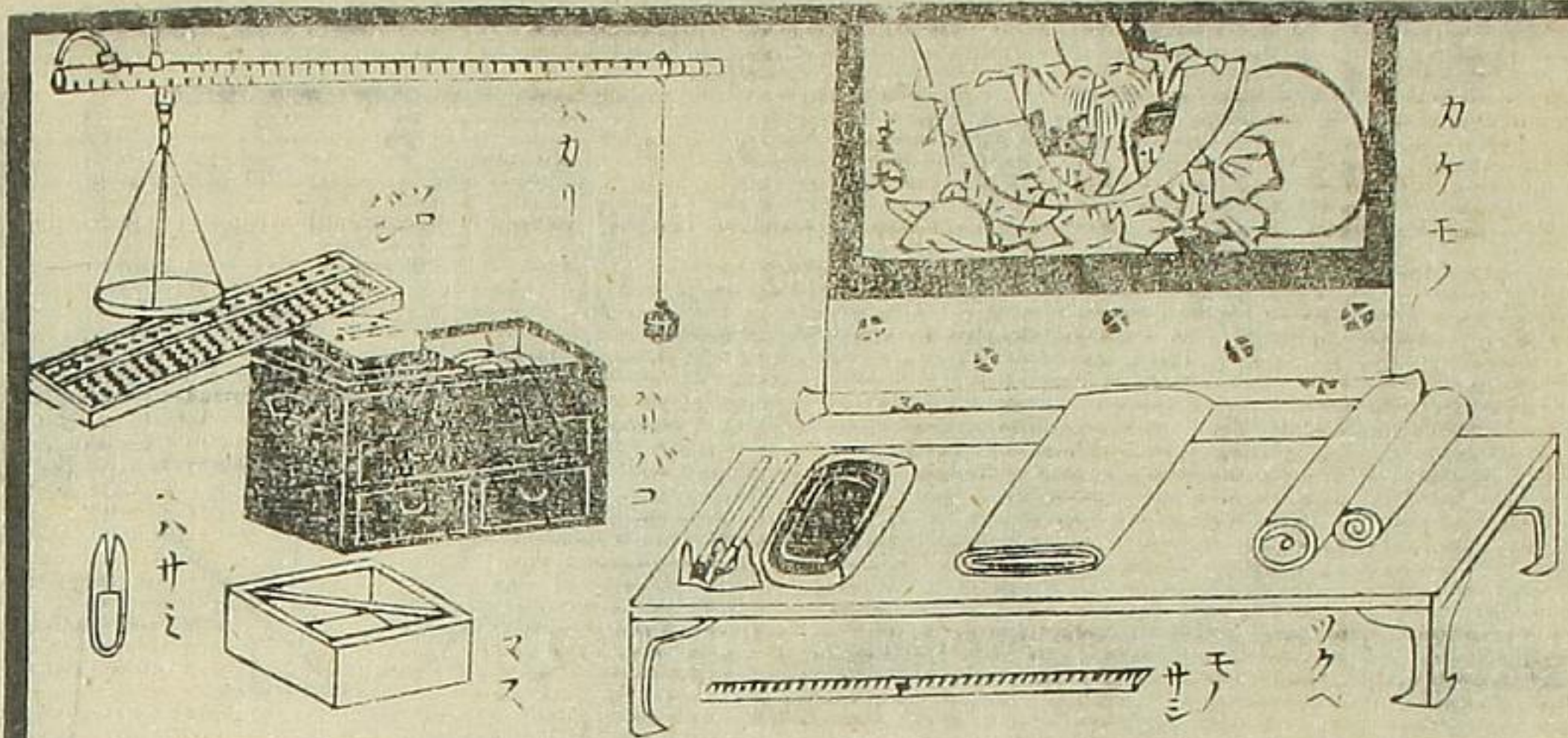


乃。古。製。甲。冑。を。韃。
 や。囊。ふ。鎧。櫃。納。る。
 河。代。え。亂。世。を。目。
 古。き。ぬ。備。へ。銃。砲。の。

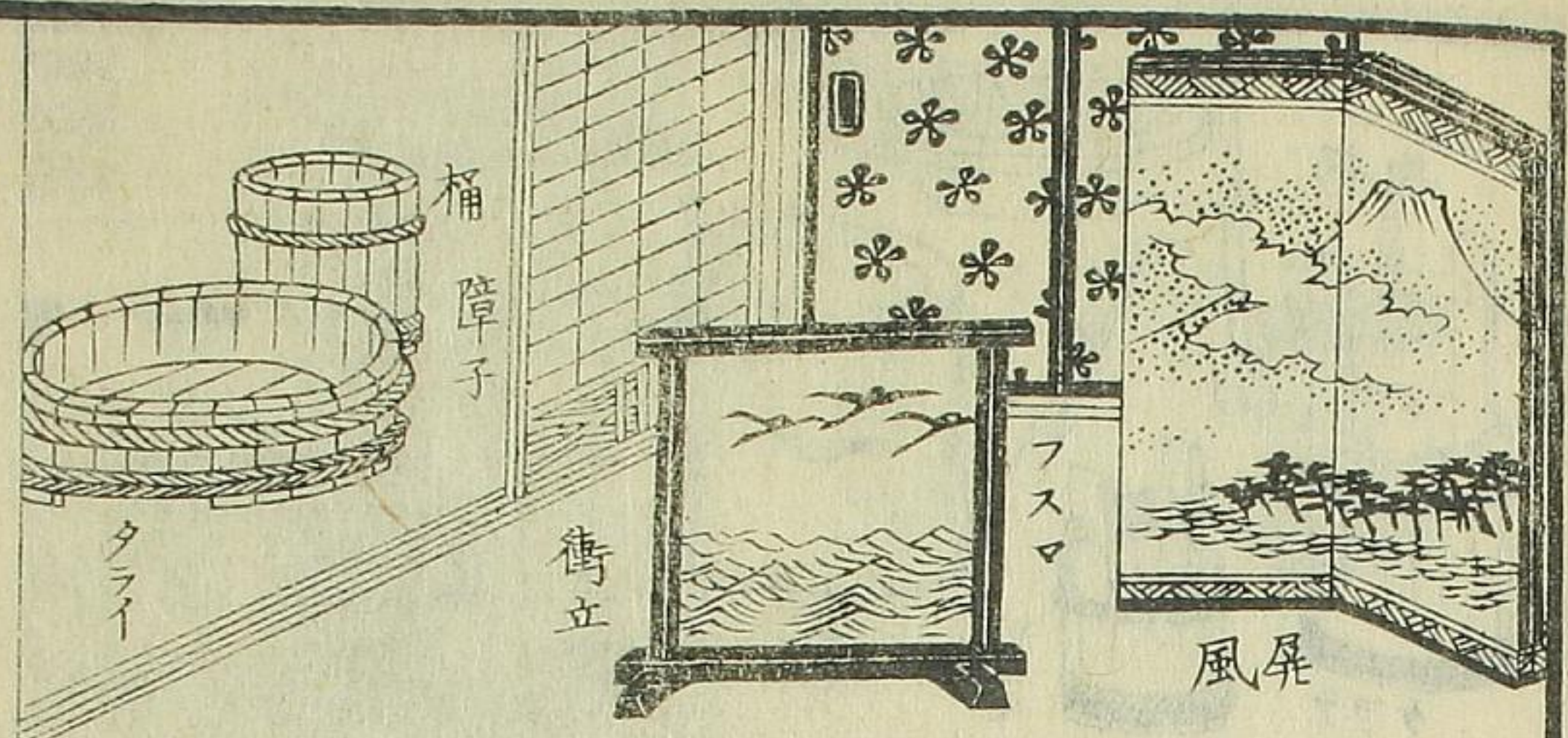
毎
 日
 コ
 ヒ
 二
 七



櫛笥鏡衣櫃簞
 笥葛籠文庫
 長持衣長きと契
 婿姻衣嗜道具
 家の内常小貯子

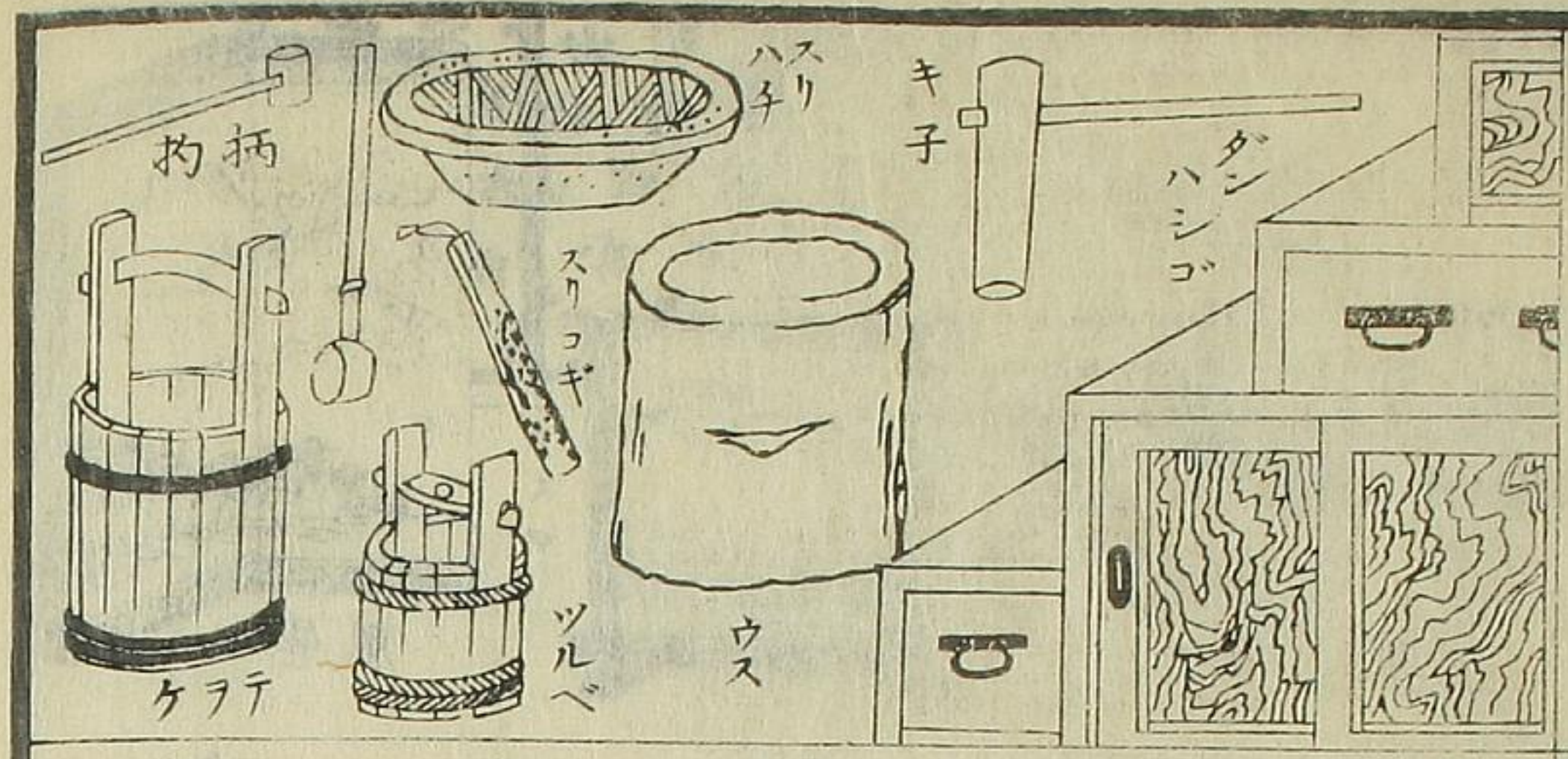
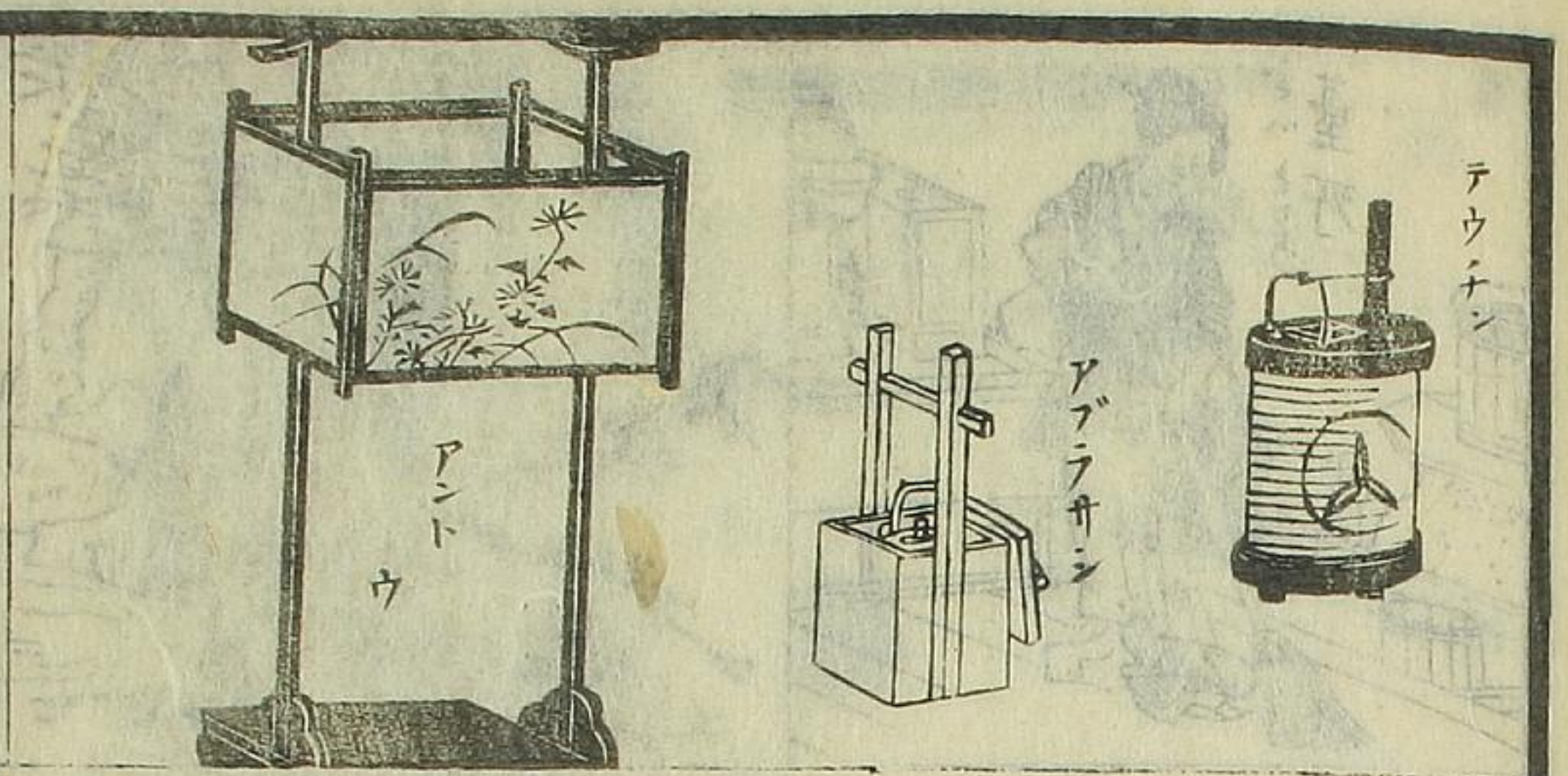


小千里小通小文
 乃章紙墨玉筆也砚
 箱書画乃掛軸案
 机曆筭盤針權
 衡尺木鋏針函也



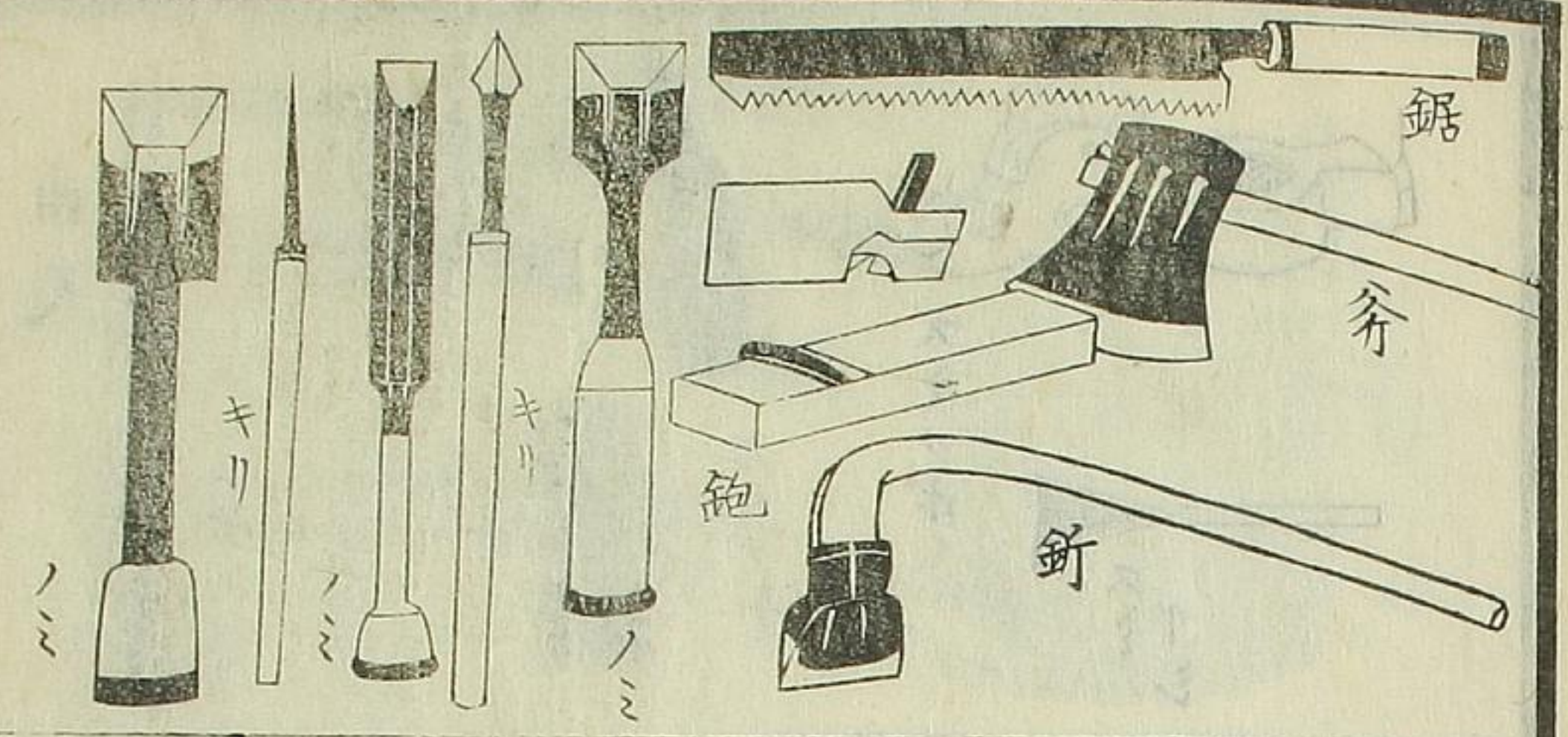
風屏
 フスマ
 桶障子
 タライ
 襖
 衝立
 折
 厨の雜具
 區別
 摺盆
 摺木
 女

煙子
 冬
 火盤
 炭取
 錢箸
 竈
 鍋
 釜
 皿
 砂
 鉢
 丁
 俎
 板
 棧
 炭
 糶
 菜
 籾
 錢
 孰
 粘
 口
 徳
 利
 鉋
 子
 盃
 桶

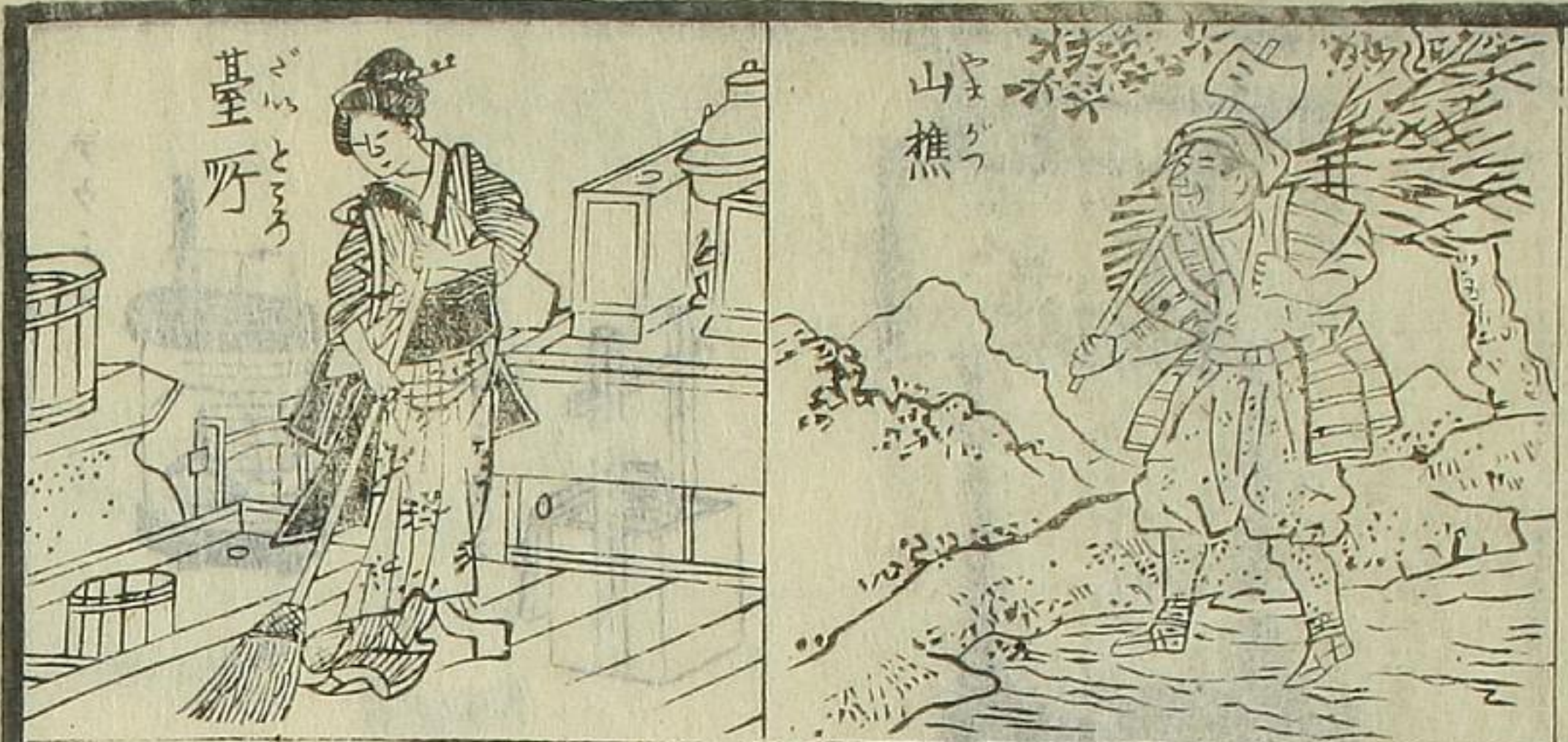


我汲て初る。桶拍の
 長さ短さを。世帯
 の行き。行燈乃光
 を増也。油壺火此
 要心。我提燈。小見

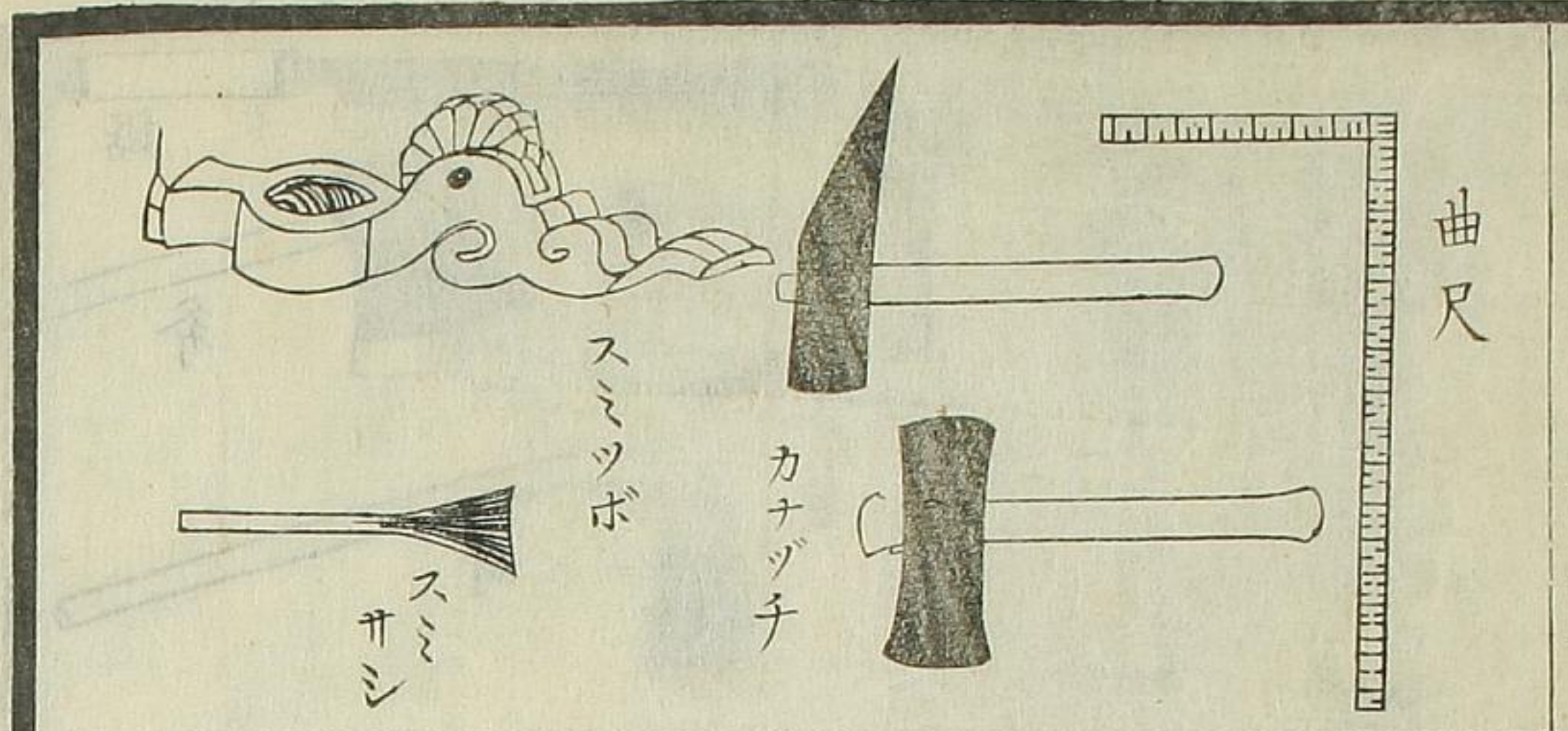
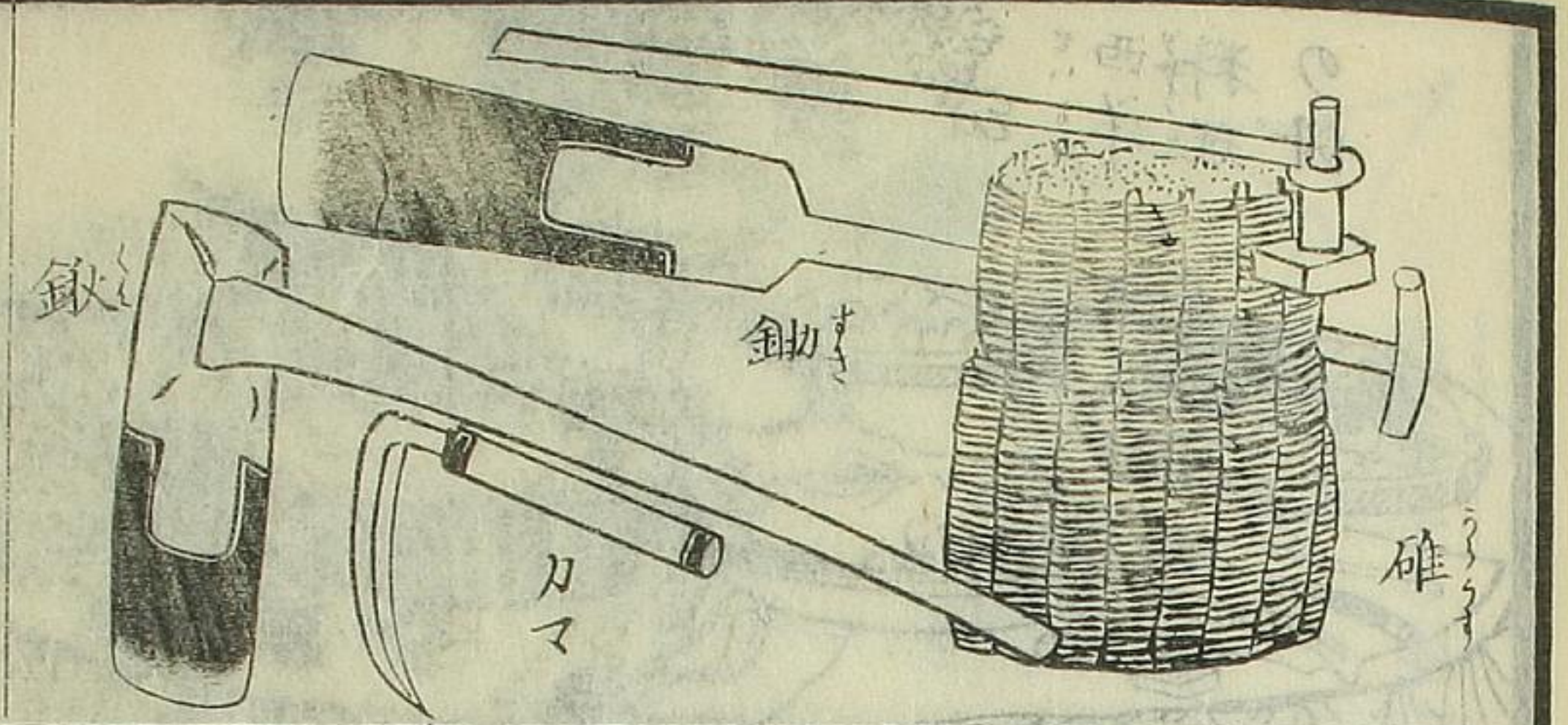
男れ志る。あり
 臼と杵と。柱二柱。
 登まると。下る段階。
 子を浴を。釣瓶此
 水手桶。人のこと。後



志ららと鋸鉋釘
 うらと鑿金錐鉄槌
 曲尺墨土垂墨指
 準繩以工を結乃
 各持ててしり品

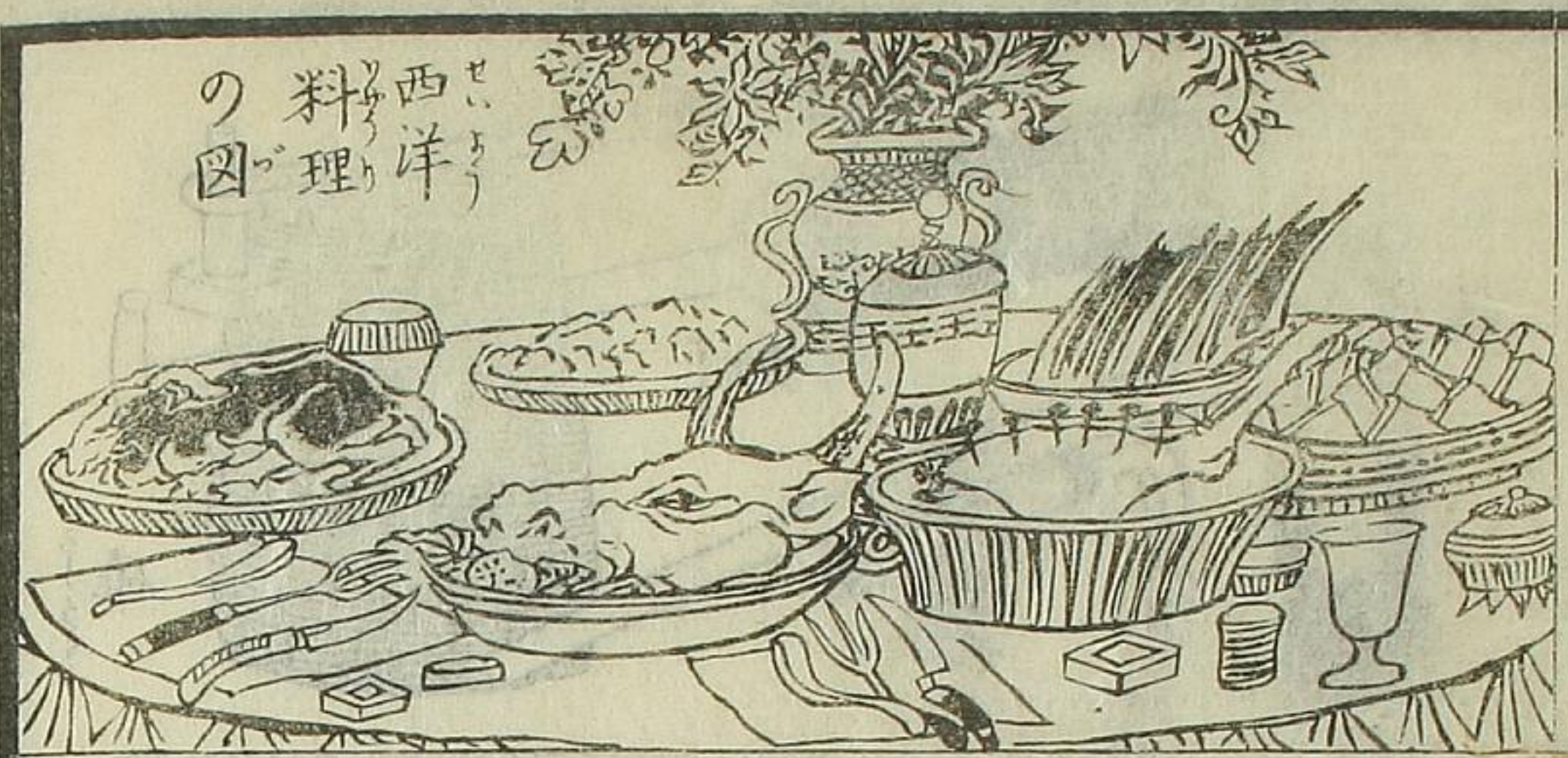


廻る戶外勝手元
 箒の頭も掃ゆる
 塵も積まよそ山樵
 乃斧も伐出まよそ林
 をあはれ番匠のまよ

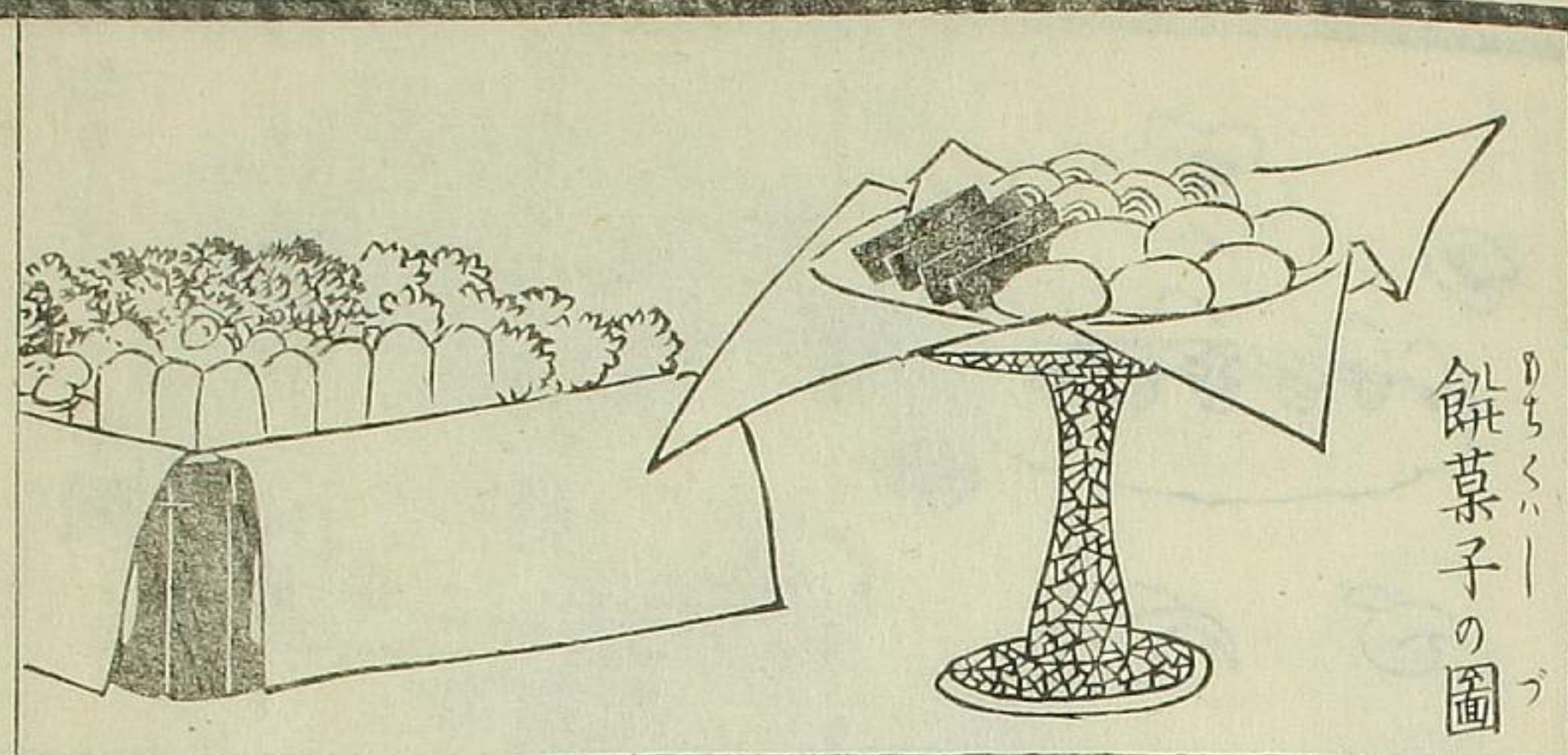


碓乃成功如末ぞ
たのしくなる月雪
花の其外り欠て
適もぬ飲食の流
味膏梁の肉食に

乃東の間とぬ生
産も汗一粒の骨
折を萬石とみ
農具鋤鉄鎗の柄
と枝寝きり百姓

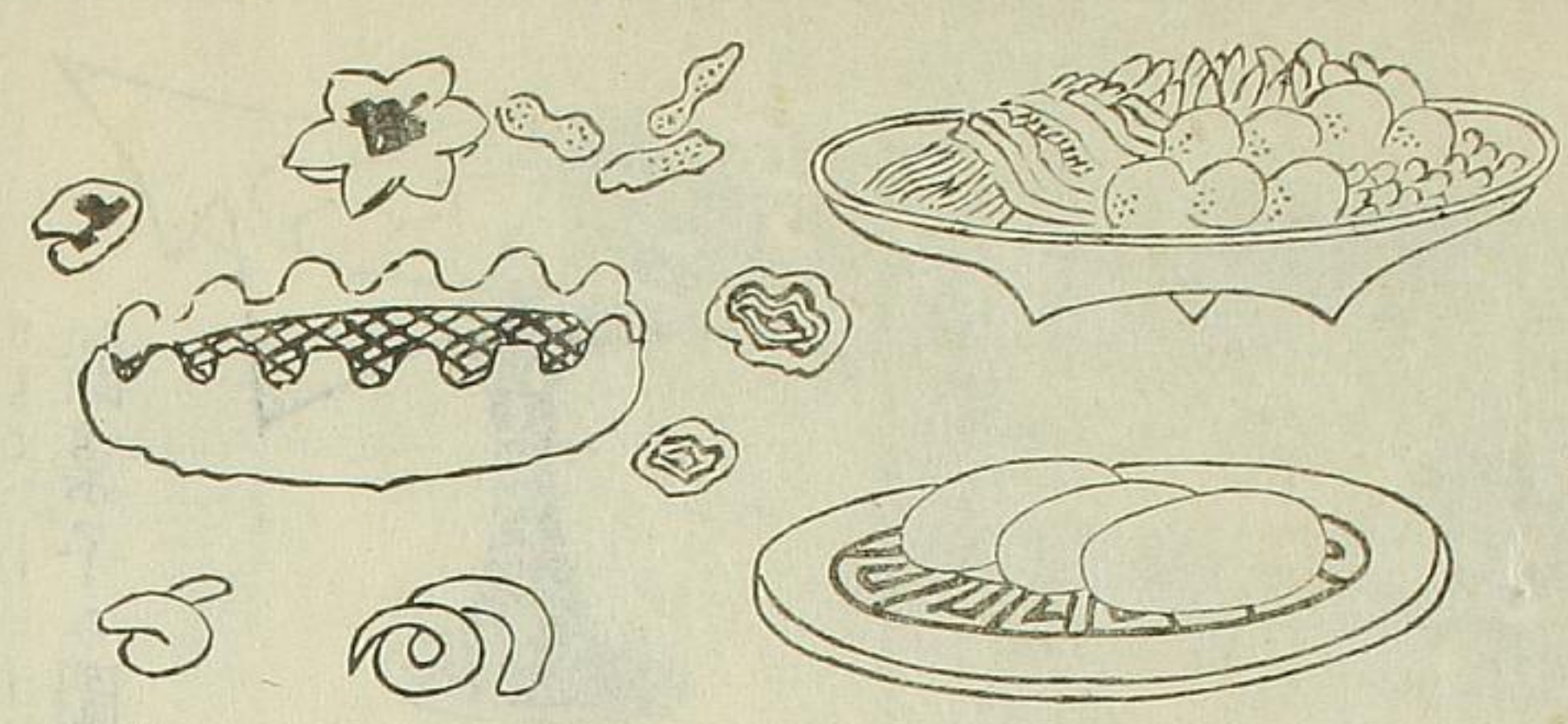


西洋料理牛筋を嗜むるはあれど魚鳥類野菜人の好く小菓を食ふ虫の卵乃味ある



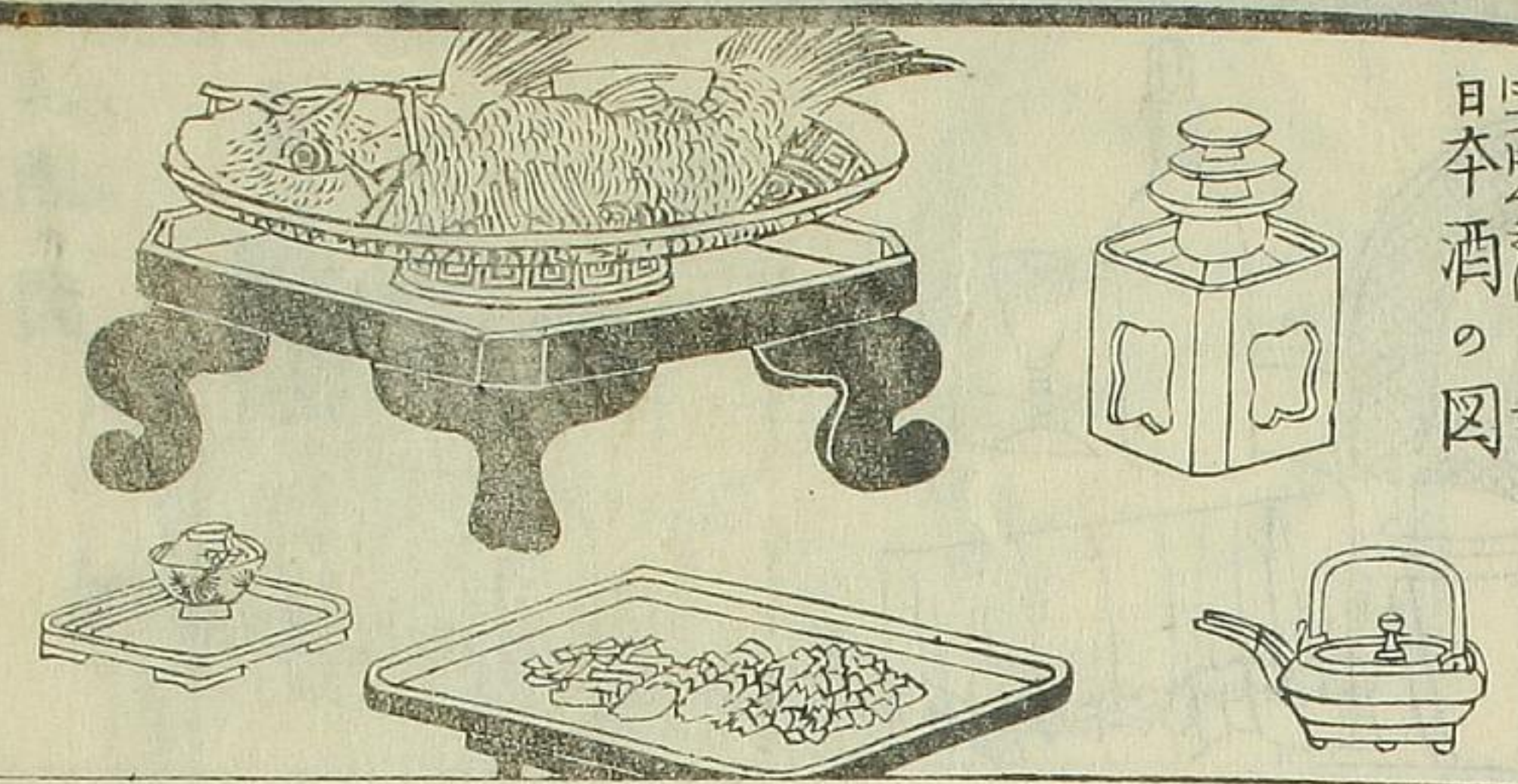
羊羹饅頭乃甘味をこころむ餅菓子と團子の散の如きはまじりて近き素花とく交際の

西洋菓子の図

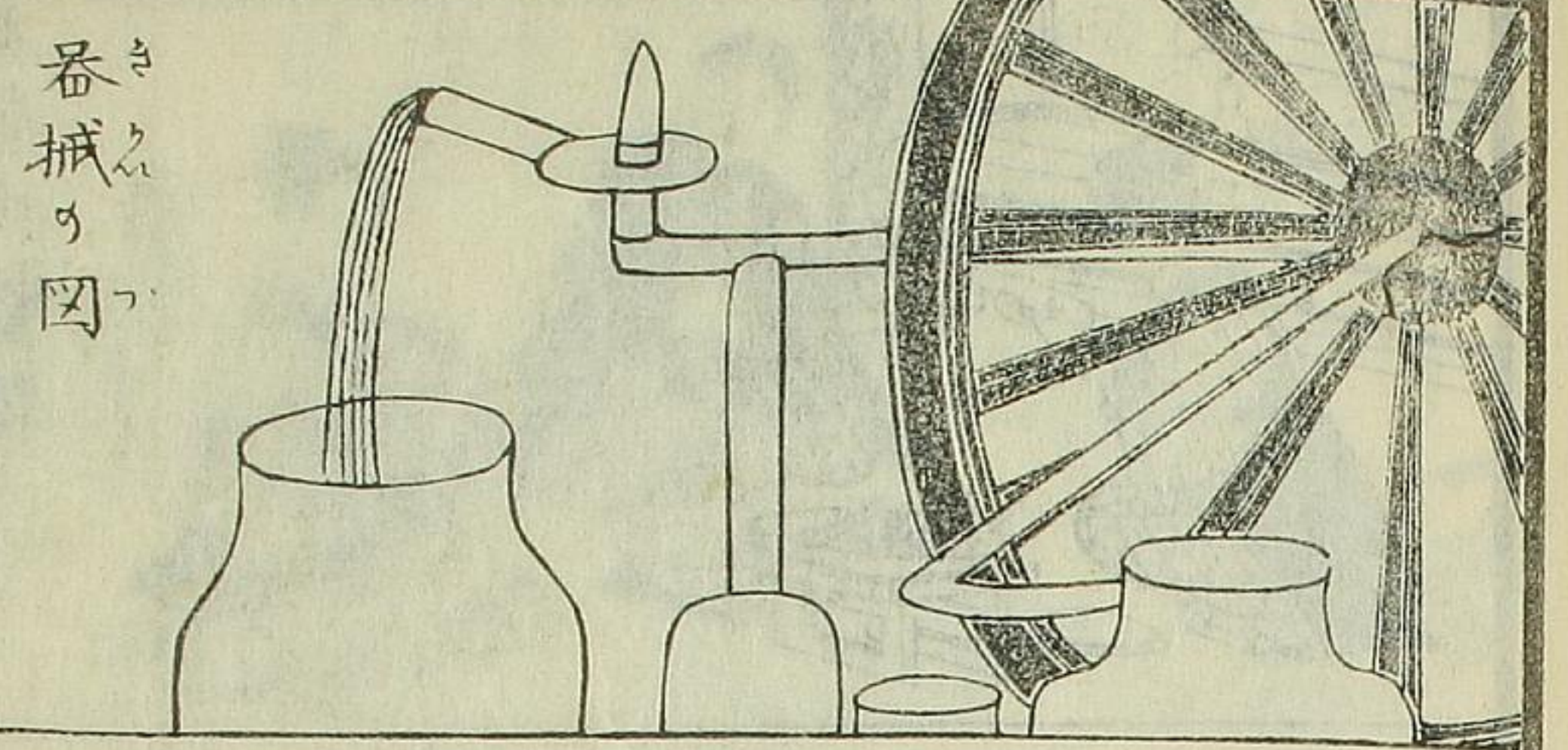


高純點心の麩色
乃味和酒と洋酒
の美如く天乃
美福也掃夏子
利目そ外小肉玉

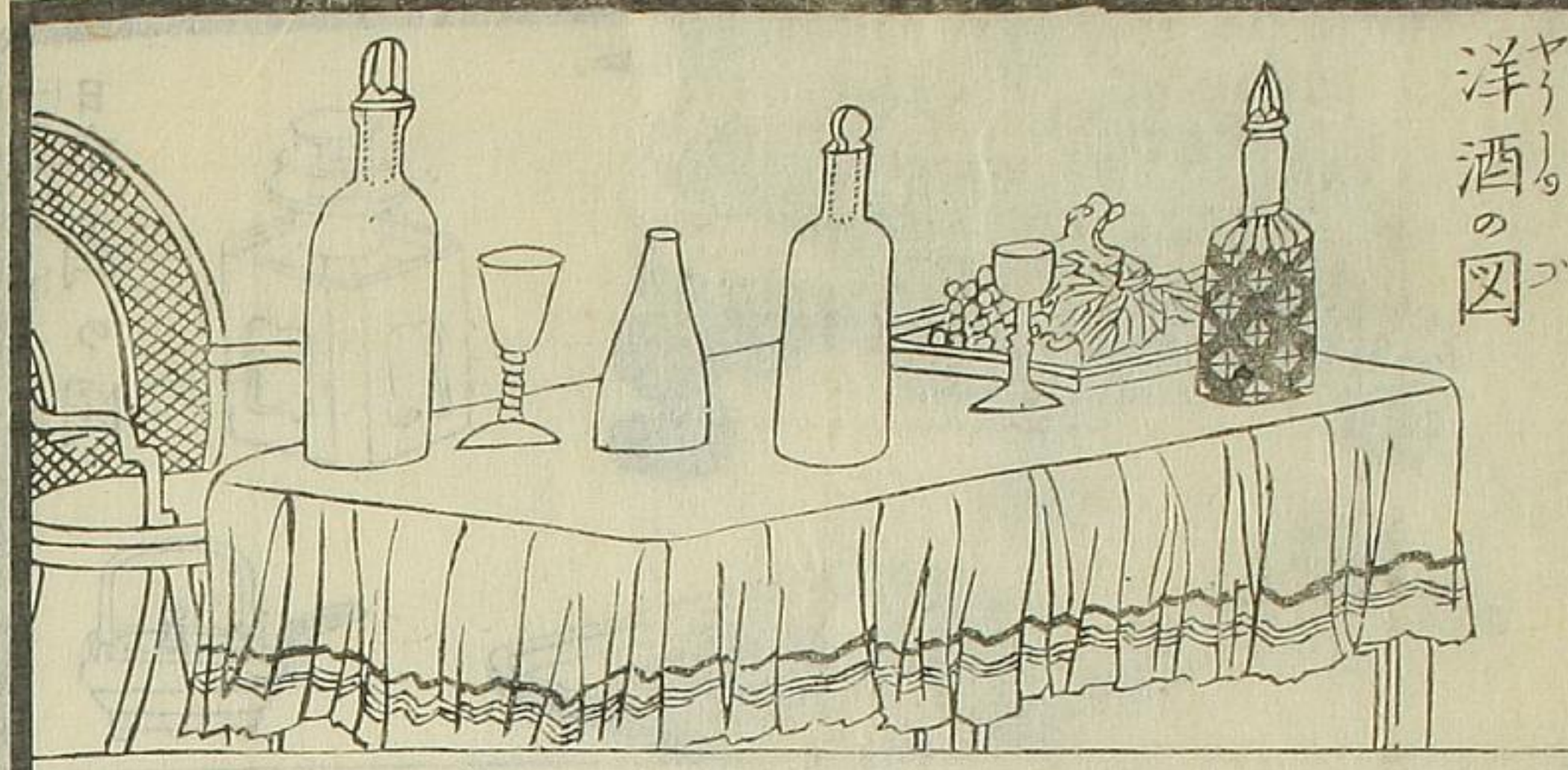
日本酒の図



乃池田伊丹小満
願寺灘を越し
流水を四方小流
きけ泉川夾ま
劍峯や七つ梅浪



味あじひ殊ことりよくた玉た
 尔せい製せいしたる酒さけを
 國くに乃の摩ま手て沿よ留りゅうの川がわ
 中ちゆうふををおけてて佛ぶつ
 也や里り卦くわ酒しゆ三さん鞭べん酒しゆ
 畚ひん揚やうのの水みづ



花はなりり薰かほる酒しゆの名な
 亦また能よ養やしやう老らう也や歐おう羅ら
 巴はそそれれ各かく國こくの名な
 産さんるる麦むぎ酒しゆ葡ぶ萄たう
 酒しゆ洋やう燒しやう耐たい塞さい利り
 亦また能よ養やしやう老らう也や歐おう羅ら

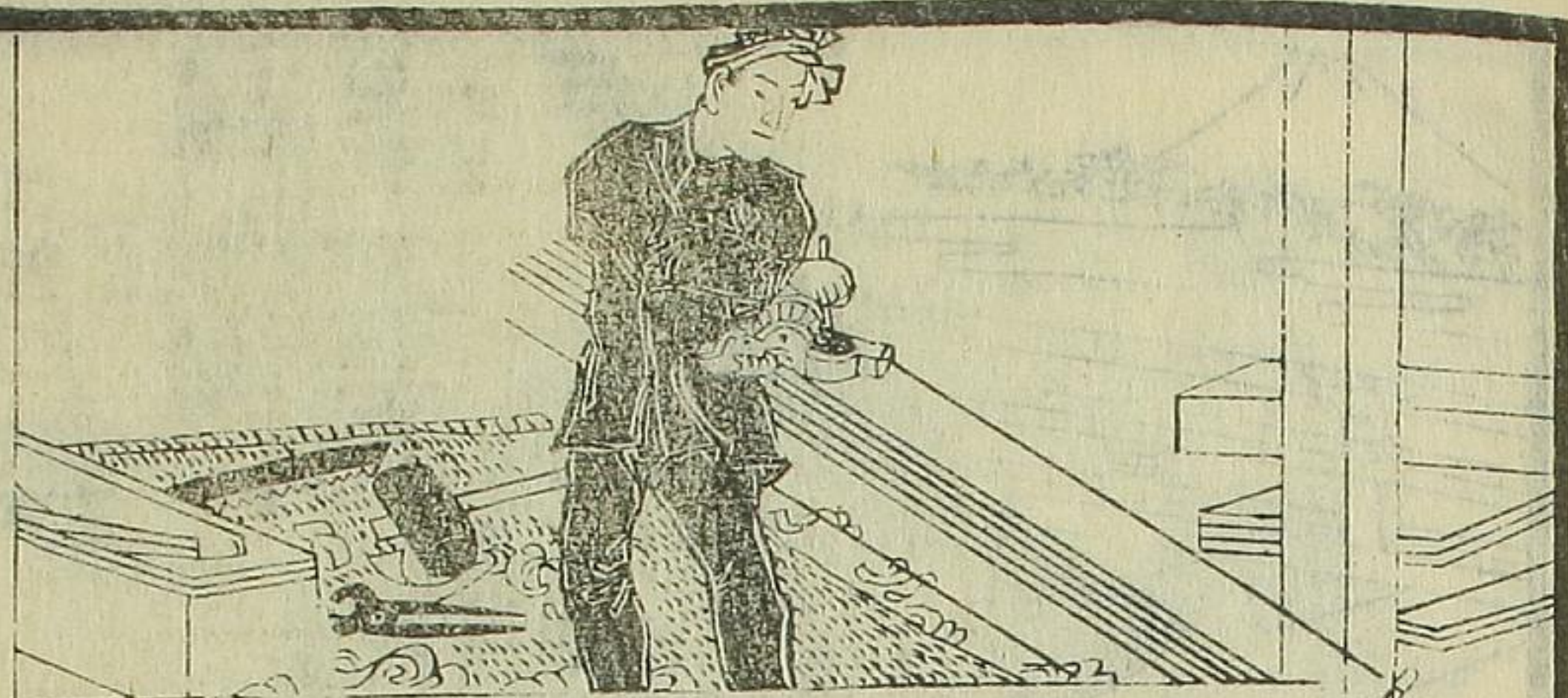


一人間乃要乃
 原乃務めなる
 昔乃知らば今の
 世乃士商工農を
 一庶人なり上

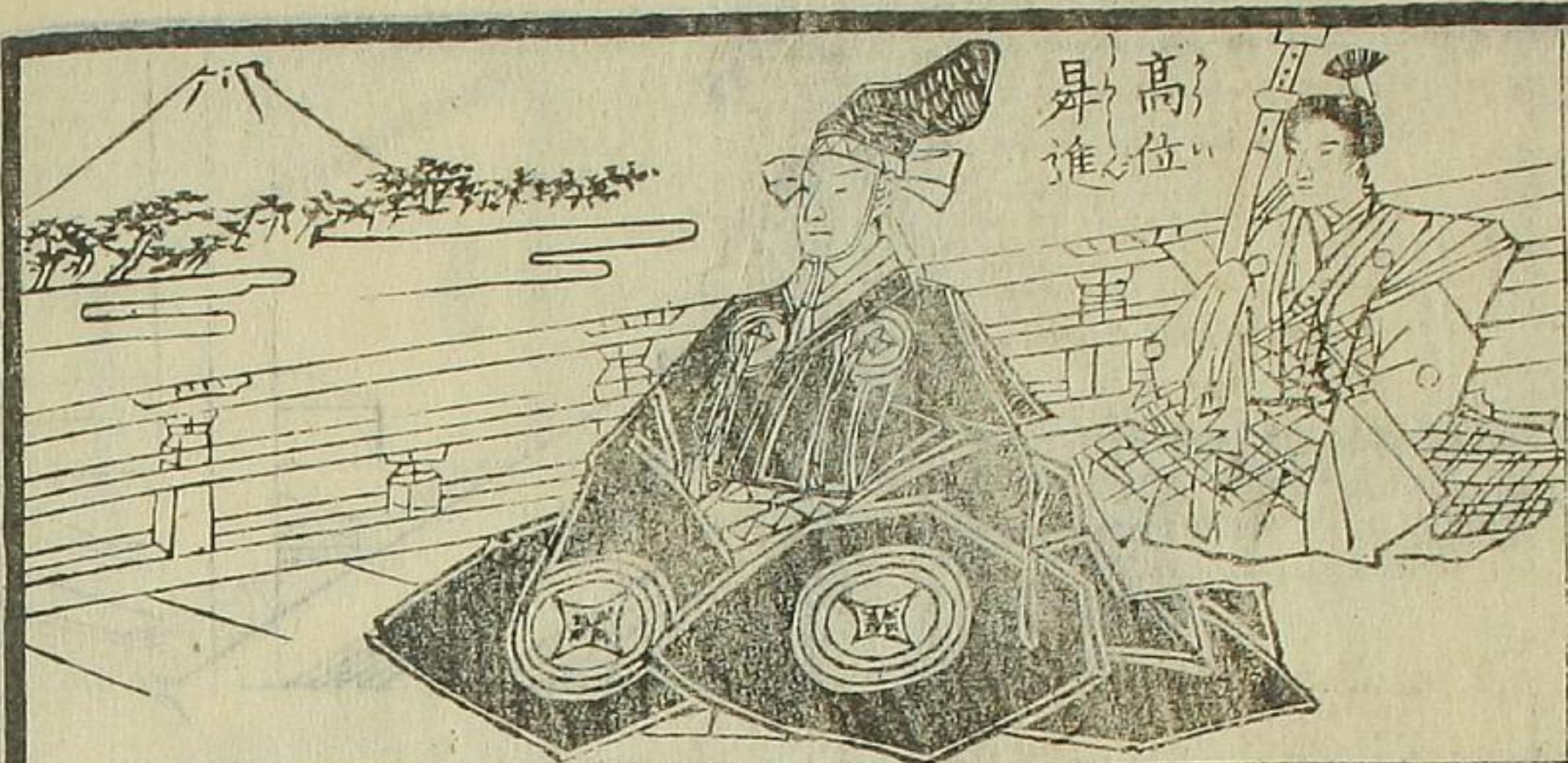
能觸底抜の上戸
 其舌を吐きあり
 總て飲食着被
 一日も家乃住居
 一日もなすを做



下は分ちなく利
根をく馬鹿財
。學問智慧の
ちこしらへるお官
負もく微出さす。



商人諸工人農氏
やなるを己身が
勝手くする事
其方性束任
其自由成妨事



志。修。ま。り。子。抱。の。基。礎。
 高。位。高。進。の。登。り。
 位。山。分。り。ま。り。者。も。
 数。多。く。學。の。玉。乃。
 光。り。也。耕。作。ふ。



遊。道。放。逸。不。体。裁。の。凶。
 遊。豆。の。漁。み。身。と。
 志。の。勉。て。勵。心。
 故。の。頑。固。不。
 学。の。情。者。少。く。
 知識。賢。人。多。く。

子寶日字章

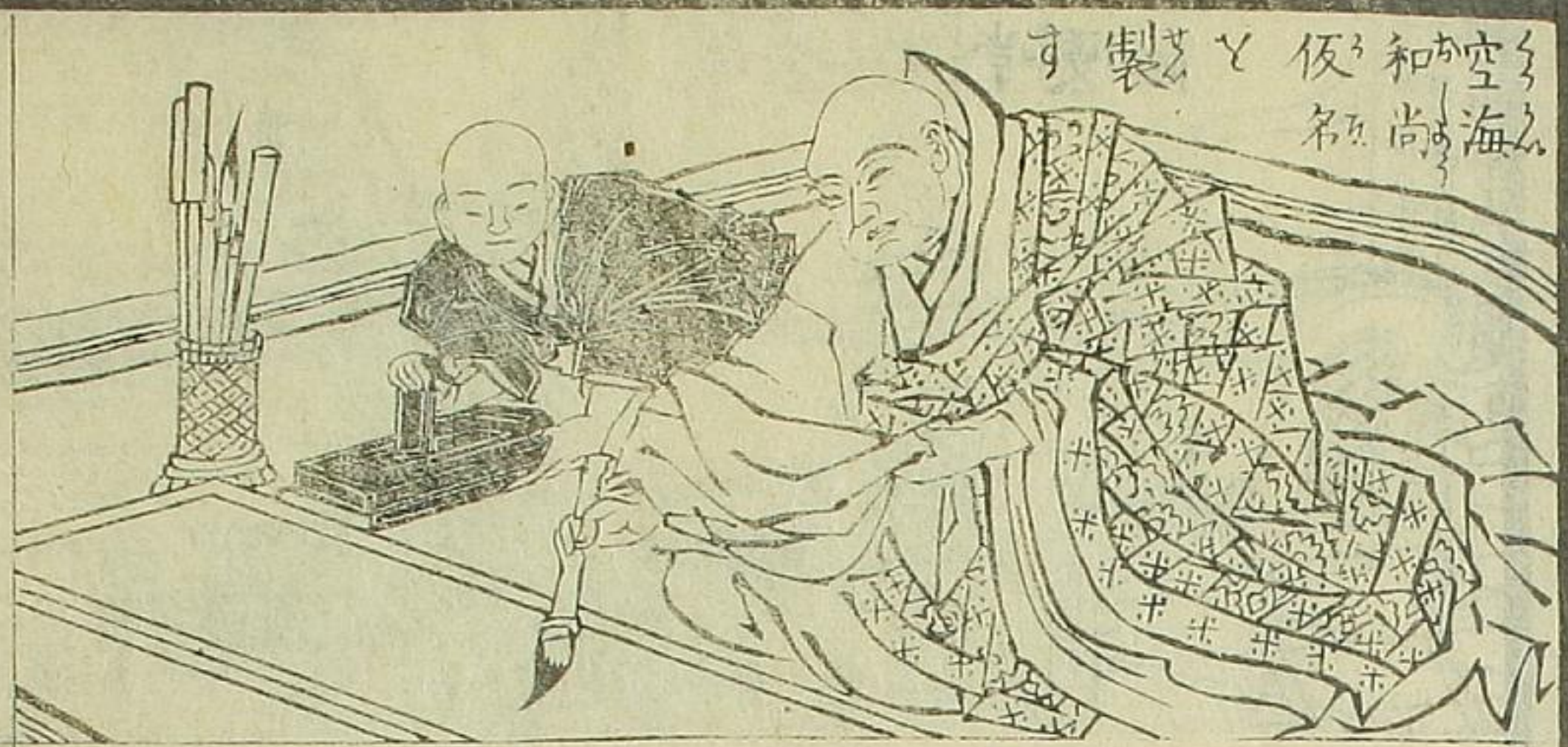


國くにの養やしなを以て民乃
 夫乃教乃用之と
 道みちふ道みちを以て學まな子
 問乃案由り屬
 が要くちめと也子こを養やしな



父ちち母ははの過あやまち
 母乃過あやまち道みち守まもるの
 ゆるぎのせなる師
 乃情まご者能く教を
 之を覺おぼえぬる也

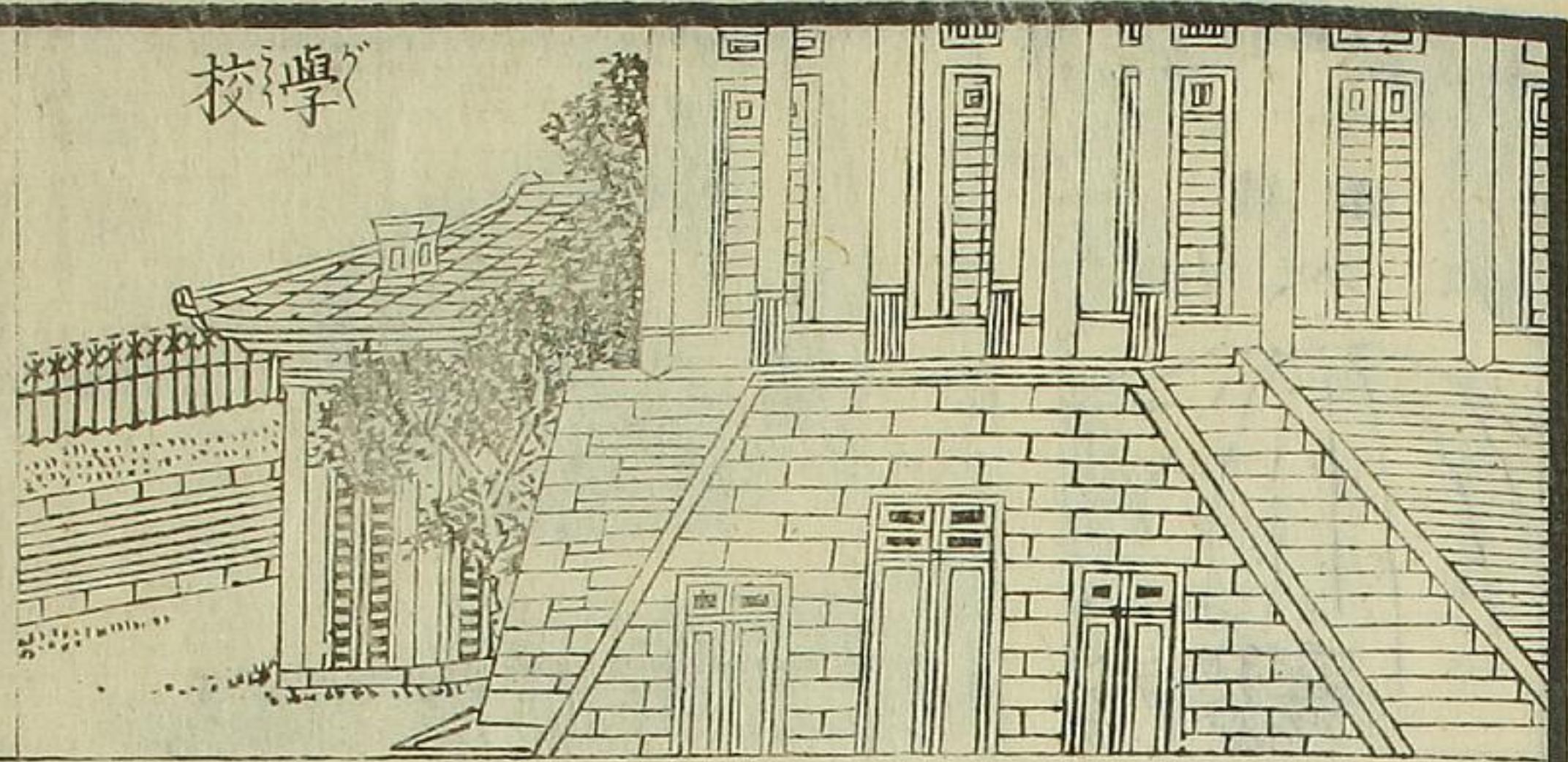
子寶習字章



序のなあと。教字を
 添へ百八字。おひ
 そ。知んぬ。單語
 篇。世界。都。語。玉
 盡。唐の書物

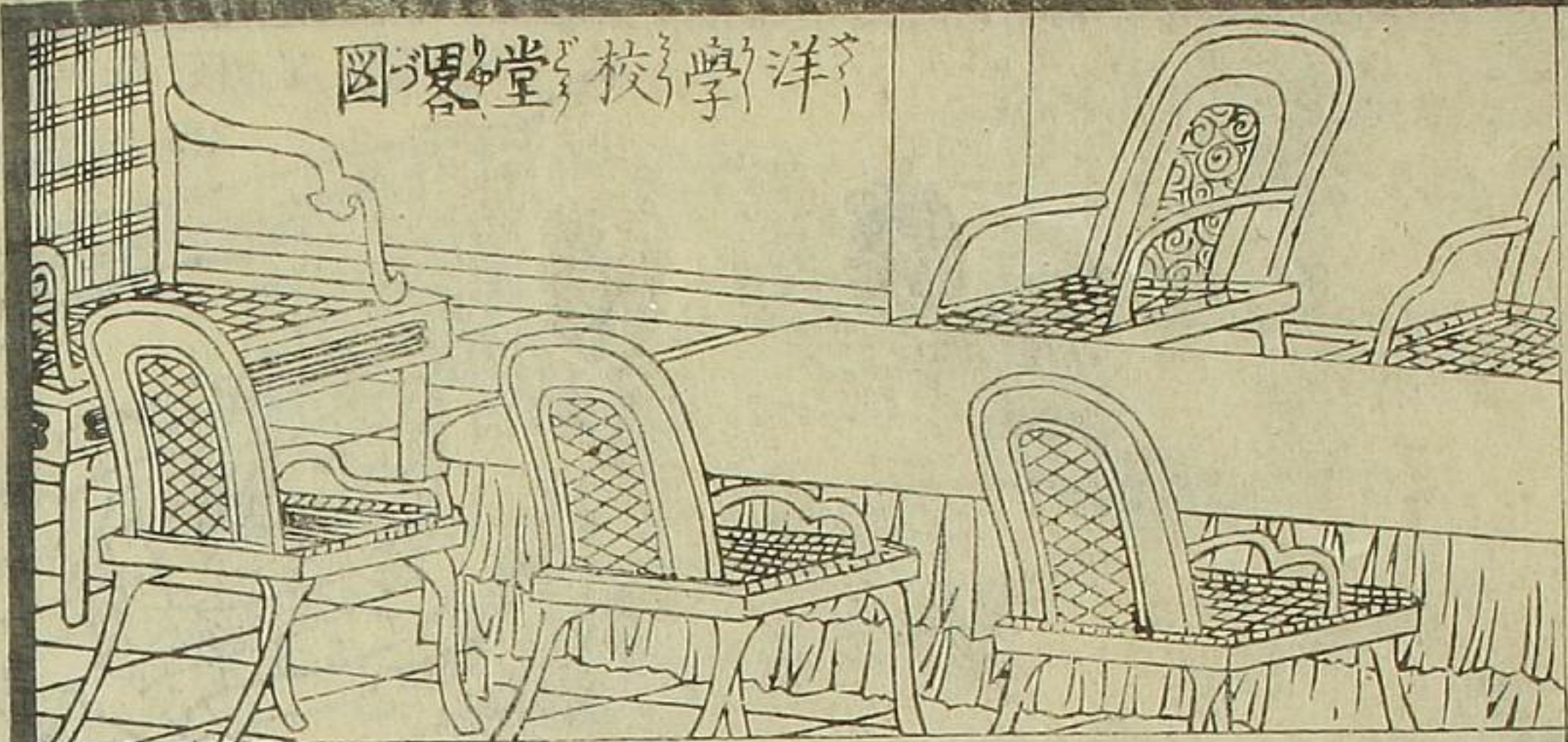


子結。羅と。瓶碎の。
 司馬溫公。語あり。
 小兒。七。集。小。字の。
 門を。添へ。ま。む。し。
 假名。結。四十七。字



尔^あ溯^さ々^さ十八史^{じゅうはちし}畧^{りやく}
 大^{おほ}監^{かん}を^をふ^ふく^くして
 後^{のち}り^り横^{よこ}文^{ぶん}字^じの
 西^{せい}洋^{やう}監^{かん}学^{がく}ひ^ひ「[」]エ^エビ^ビシ
 テ^テ「[」]や^や又^{また}ス^スヘ^ヘリ^リン^ング^グ

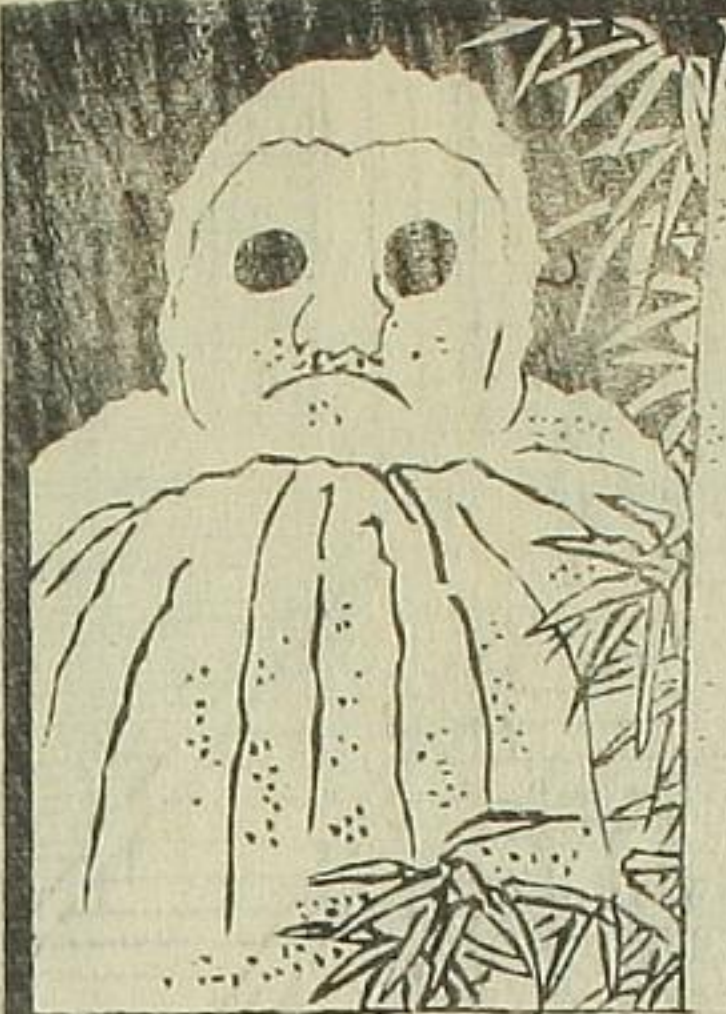
洋學堂環圖



其^{その}大^{だい}學^{がく}と^と中^{ちゆう}庸^{ゆう}
 論^{ろん}語^ごを^を子^こや^やで^で後^{のち}
 了^{りやく}皇^{かう}國^{こく}結^{けつ}國^{こく}史^し
 略^{りやく}日^{にっ}本^{ぽん}外^{がい}史^し也^や皇^{かう}
 統^{とう}記^きす^す漢^{かん}籍^{せき}

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

勉強の図



リードルの巻紙
重く解く者も結
歴史窮理書又
法書地理書小
分つ五六七箇巻

世界の廣さ、英吉利の一
里四方を一坪として生殺
凡そ二億なり此坪殺の内
九そ四分の一は陸地小
く海も五千万方里あり但
イギリスの一里は日本の
十四町四十三間あり
世界中の人の殺は九十億
迫すとす然れども國々の
去風ふよりて面色おあト
うゝは生逐列を五種とす
つー

世界を西瓜割
り二つり列衣
左の半を西半
球とす右の半を
此半面小房あり

子家目三

亜細亞洲の人ハ紅色黄毛
ありて教四億六千万人なり

阿非利加洲の人ハ白色黒
毛ありて教七千万人なり

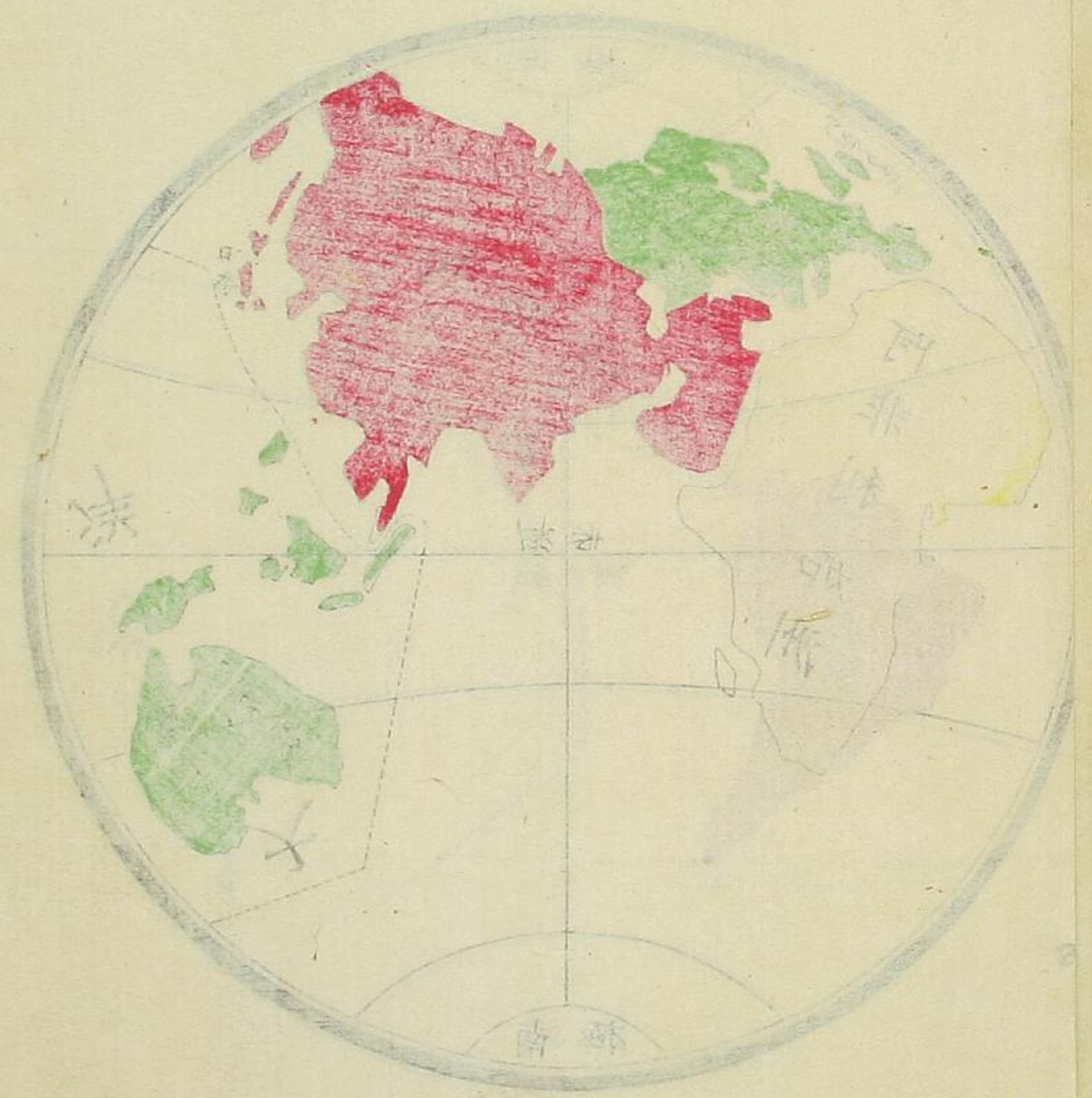
歐羅巴洲の人ハ白色白
毛ありて教四億二千万人なり

亞米利加洲の山に住む人
ハ白色赤毛ありて教一千万人
なり

大洋洲に住む人ハ茶
色なりて教四千万人なり

南洋洲に住む人ハ茶
色なりて教四千万人なり

地球圖



「あ」 亜細亞 阿非利加

「え」 歐羅巴 是

「ひがし」 東南 隔ち

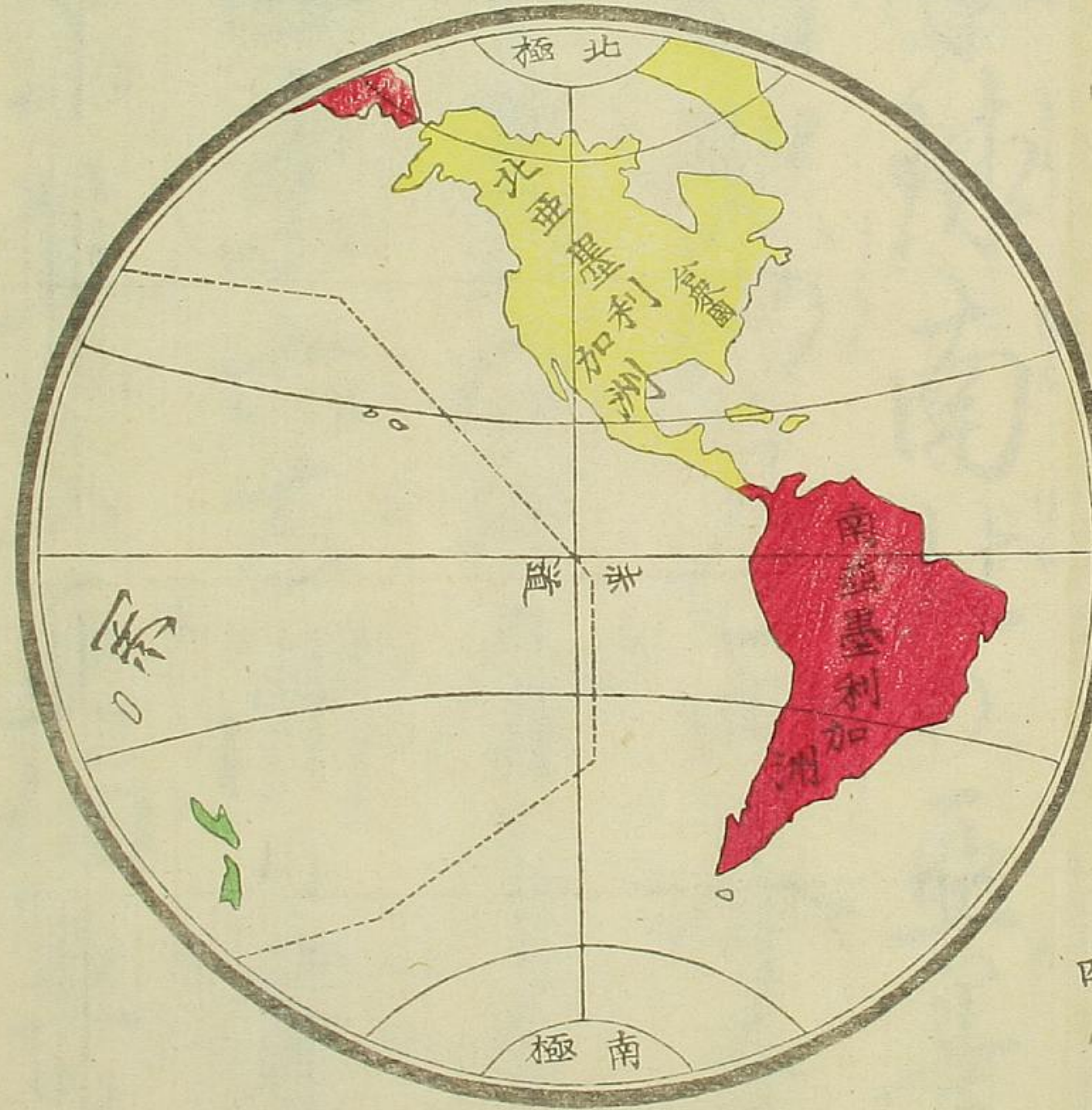
「あしや」 澳左利洲

「あしや」 乃方半面を東

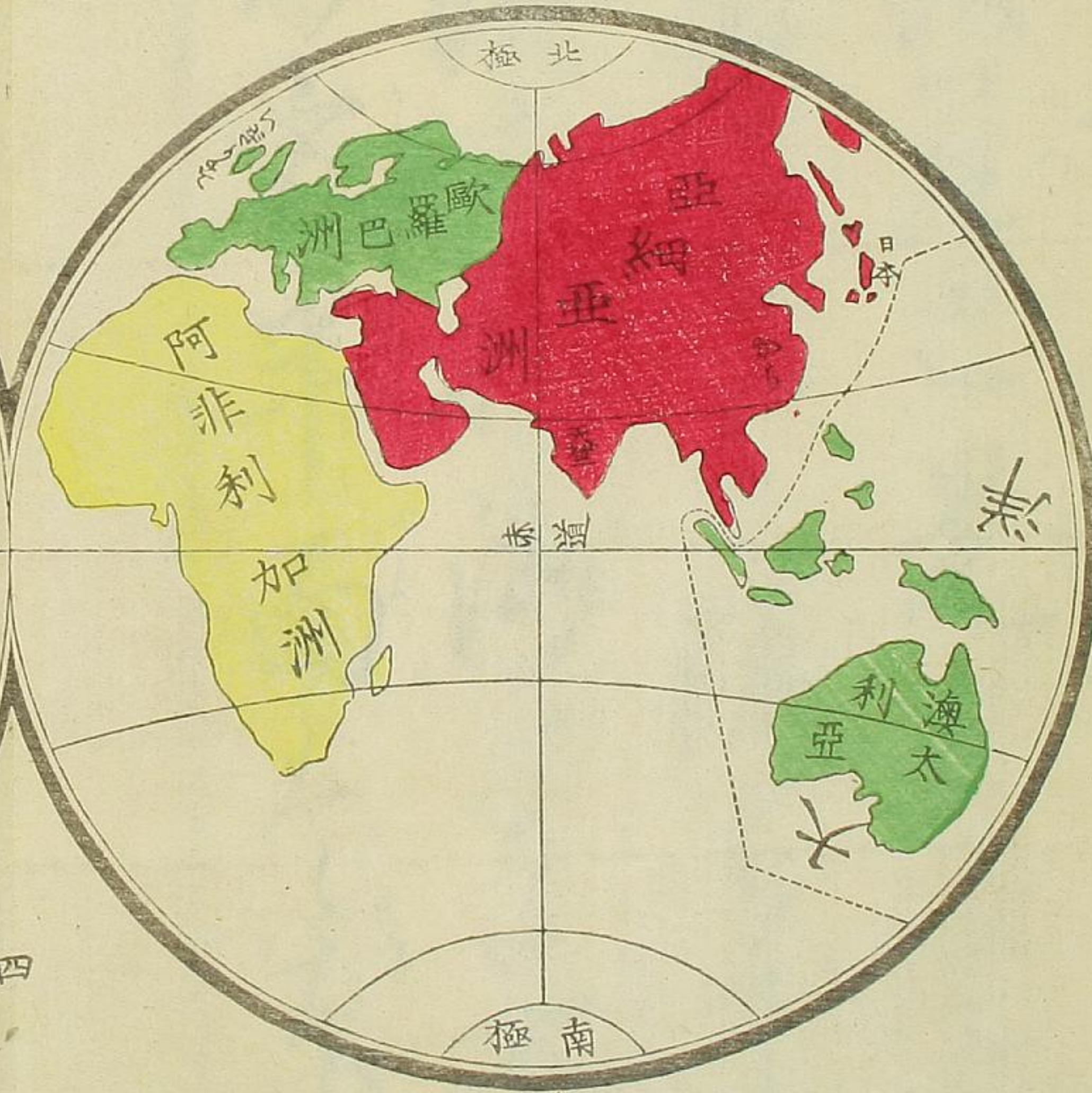
三寶壟
 垂田亞州の人ハ

三寶壟

球^{きう}半^{はん}西^{せい}



球^{きう}半^{はん}東^{とう}



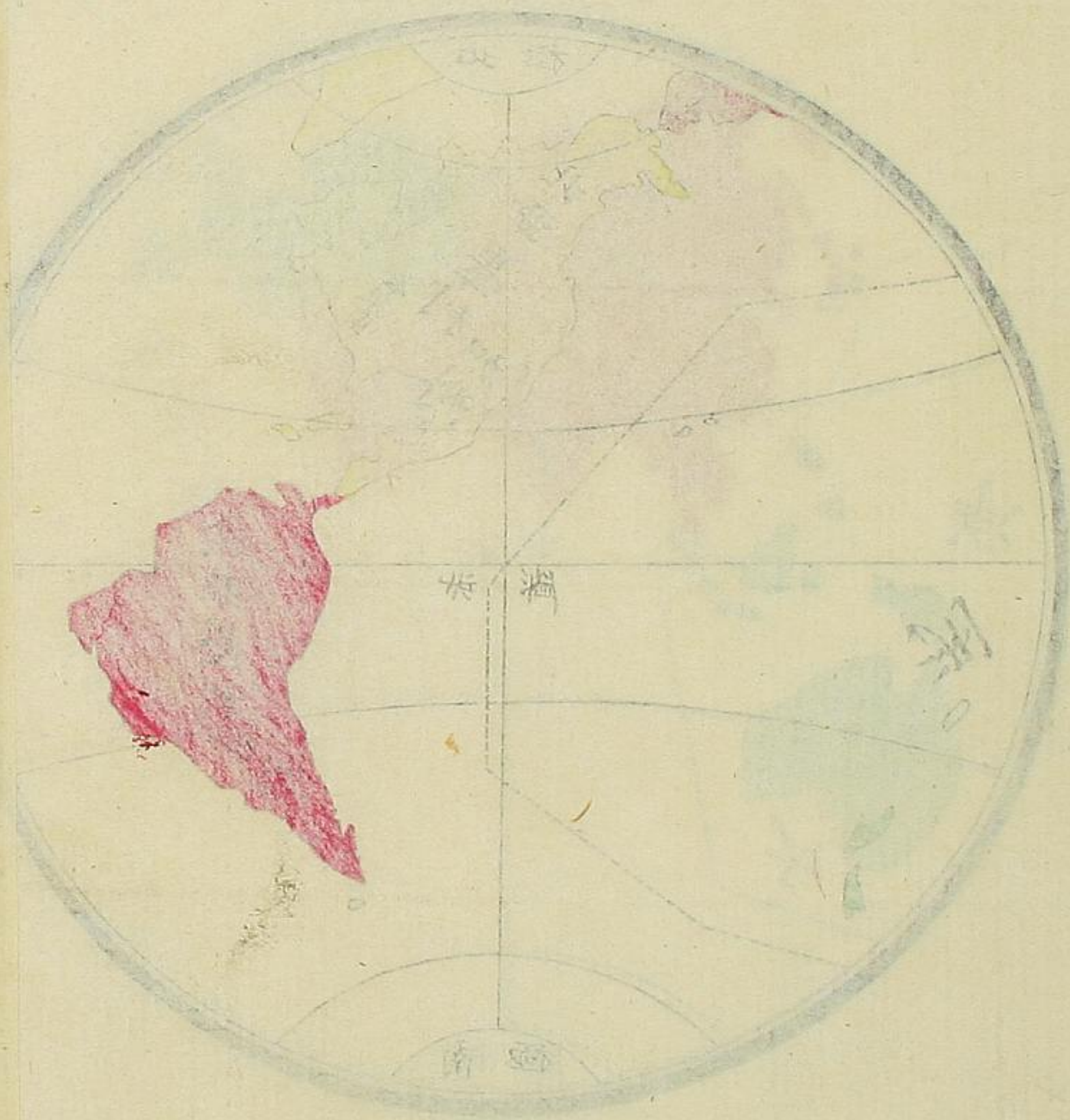
四

日^{にち}
 一^{いち}
 二^に
 三^{さん}
 四^し
 五^ご
 六^{ろく}
 七^{しち}
 八^{はち}
 九^く
 十^{じゅう}



○亞細亞洲
 大日本の地面ハ二十七万
 方里より人口三千五百
 万人なり都を東京西京と
 支那ハアジヤ洲の一大國
 支那下人の圖

地球圖



地球南北の亞細
 利加洲乃西界を
 東亞細亞の東
 西東六右洲の東
 不算ふ亞細亞の

ふして地面八百方里あり
人口四億都を北京とし
西比利亜の地面八百六
十方方里人民九百万あり
首府をトボリスキとし



馴鹿
と
挽
ひく
ぶ

印度の地面八百方里あり
人口一億五千二百万あり
都をカルキッタとし
安南の地面を二十四万
里あり人民千三百四十万
あり都をヒュウとし
緬甸の地面を二十万方里
あり人民五百方あり都をマン
チレイとし
暹羅の地面を二十九万五
千方あり人民三百六

部を分つ名を
國を大日本支那
朝鮮西蔵也
安南緬甸暹羅
國の印度及地中の

國
蒙古
鞏
滿
西比利亞
土耳其
亞細亞
斯坦
亞細亞
直
細
亞
土

十万人あり都をバンコック
といふ

比耳西亜の地面ハ四十度

万才里人民九百万あり都

をテヘランといふ

アフガニスタンの地面ハ

二十二万五千方里あり人

民五百萬あり都をカピセル

といふ

ベルジスタンの地面八十

万才里あり

都をブリッセル

といふ

身其つふ亞刺は亞

乃諸國小屬と小

國を濱の真砂子

の盡ぬ數限を

らき怒あゝ曳の

四十度

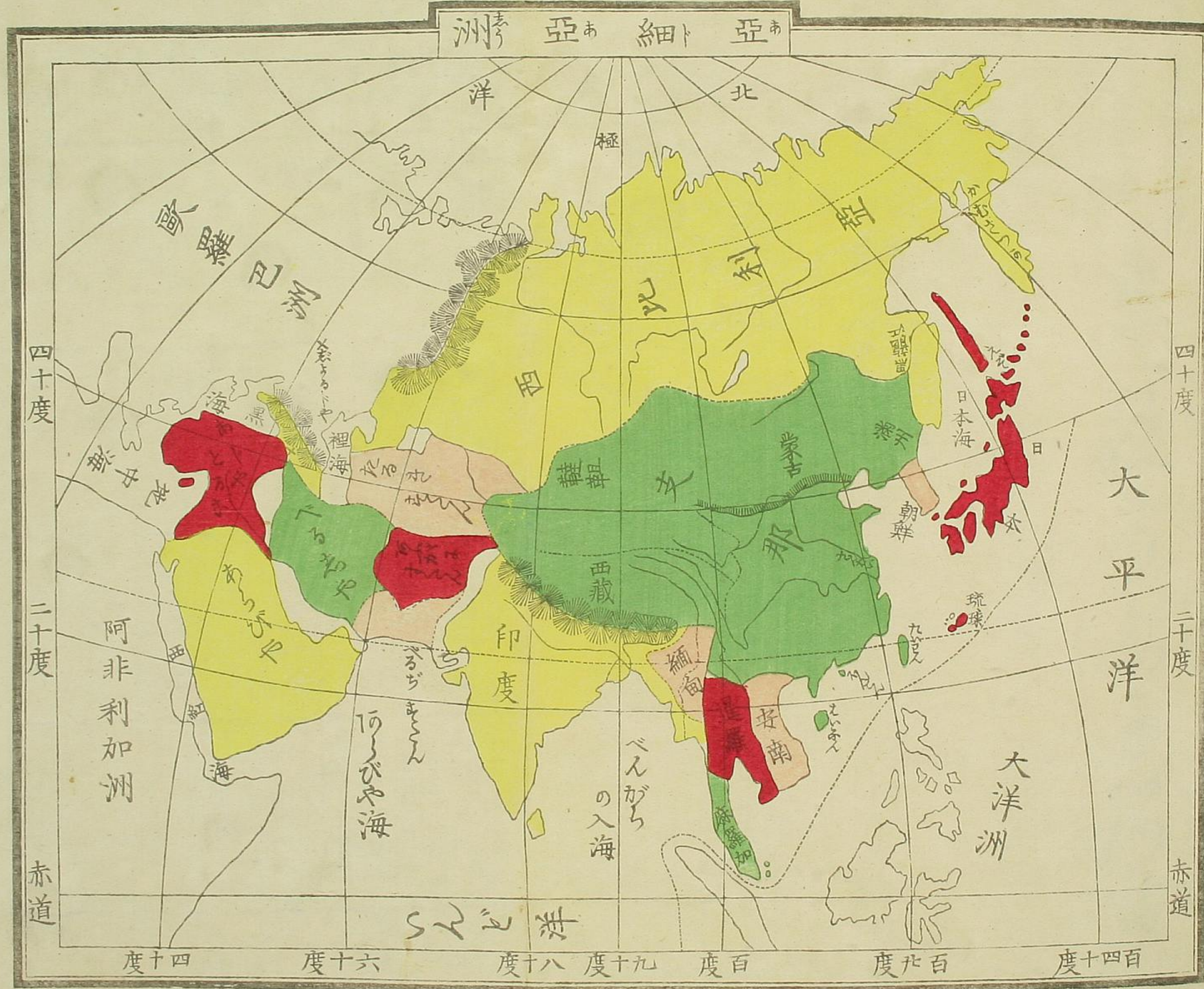
二十度

赤道

大平洋

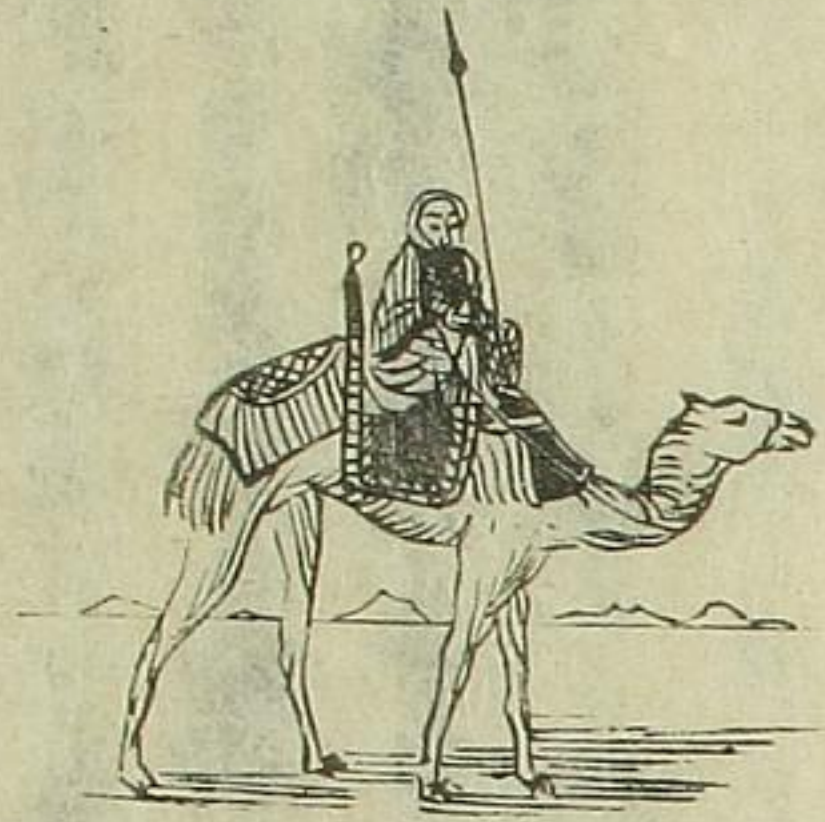
四百





比年西亜の地面ハ四十五
 万才里人民九百万あり都
 をテヘランとす
 アフガニスタンの地面ハ
 二十二万才里あり都カピル
 民五百万あり都カピル
 とす
 ベルジスタンの地面八十

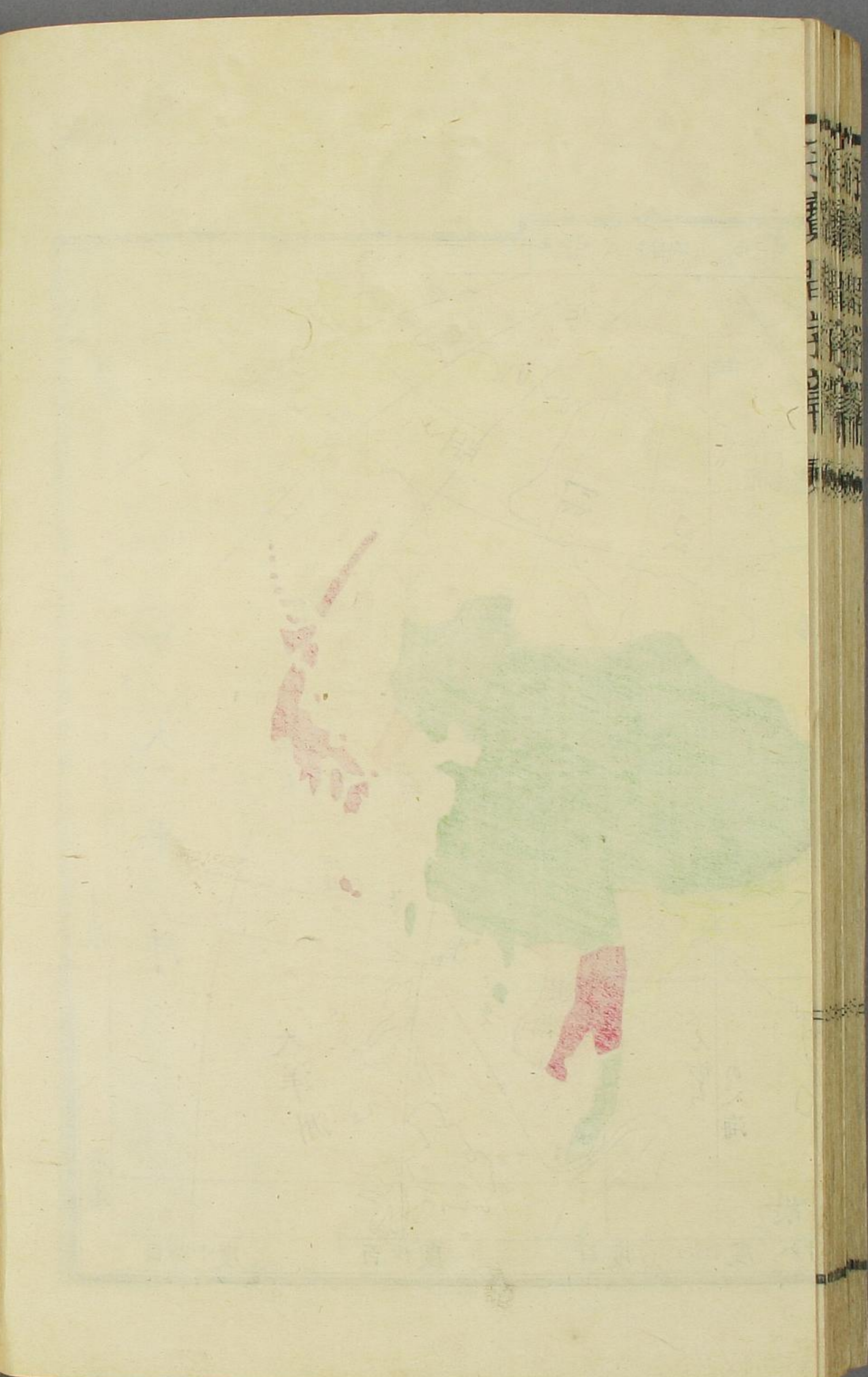
國を濱の真砂子
 の盡ぬ數限るを
 らき怒あゝ夷の



アラビヤ人
駱駝のりる図

五万方里あり人民二百方
りり都々ケラトとり
亞細亞去耳其の地面ハ四
十三万七千方里なり
政羅巴去耳其より

烏拉乃山と河
ま。裏海甲加索山
緑と黒海越て西
乃方境を隔て
政羅巴其全海



亞刺比亞の地面ハ八十三万
五千方里あれども國國々
沙漠多ク人民一子万り
都々メツカといふ

○歐羅巴洲



魯西亞ハ歐羅巴洲の大國

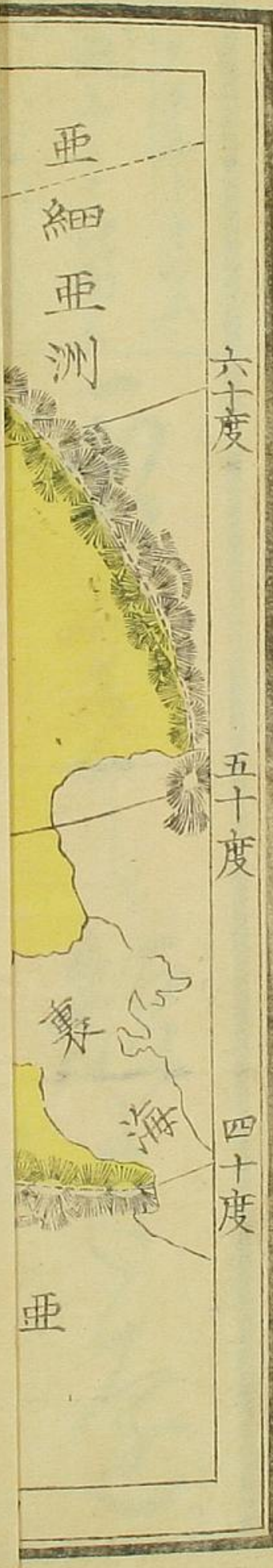
その地面の廣さハ二百
十四万二千五百方里ハ
三人及古キ五百八十万
里都々ペートルスボルグ
とワシモスコハ四都
土耳其の地面ハ二十万
千六百方里より人民五
五百七十五万なり都々
コンスタンチノブルといふ
填大利の地面ハ二十三万
九千方里より人民三
二百五十七万三千方り

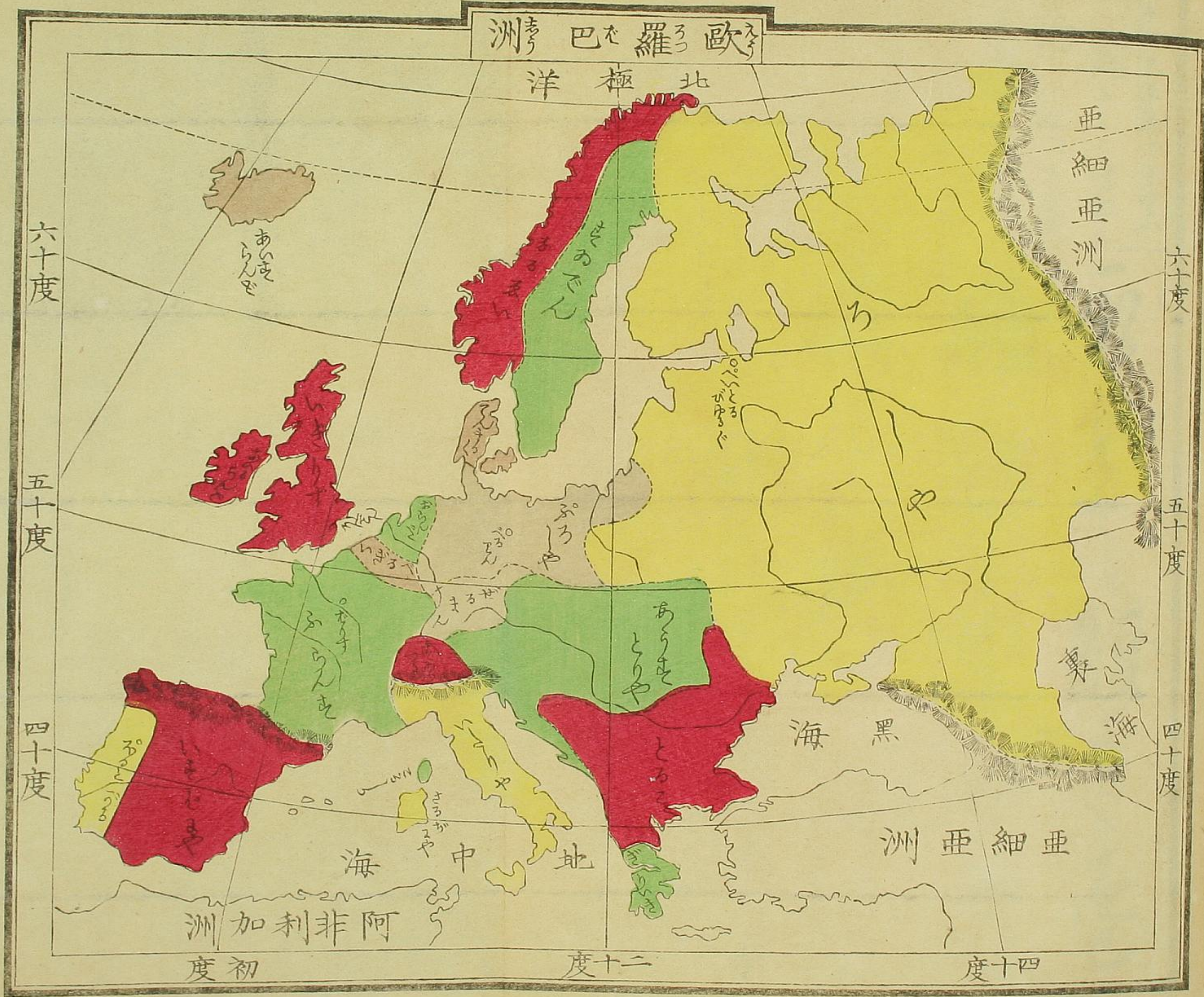
乃國々々魯西亞
土耳其填地利
希臘以右利普
魯士日耳曼法
國瑞西也和業比

年時時佛業
西西班牙葡葡
牙海峽越英吉
利地海近瑞
典那威と北二箇

をウ井ニナシヨ
 以大利亜の地面を十一万
 九千五百方里より人氏
 二千六百七十八万なり都
 をフロレンスとシヨ
 多魯生の地面を十三万五
 千九百方里より人氏二
 千三百五十九万人なり都
 をベルリンとシヨ
 日耳曼法蘭の地面を六万
 八千八百五十方里より人氏
 四百十八万二千なり都

國を合併納す
 政事總て西洋
 各國能風俗教
 化並子養ふる大略回
 慣ひる長き誠





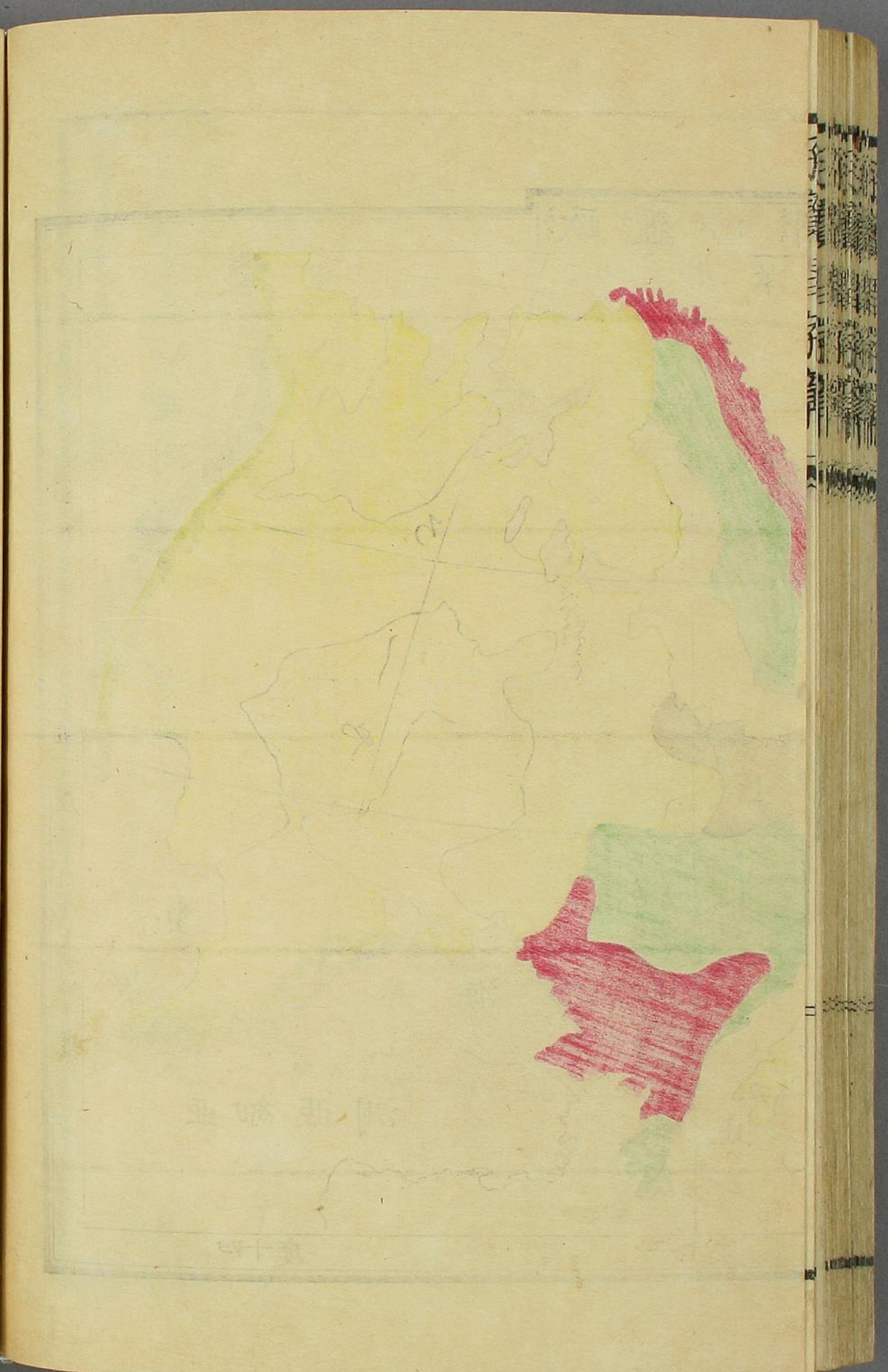
二千七百七十八萬有餘
 をフロレンスとつゝ
 多魯生の地面と十三萬五
 千九百才里より人々二
 千三百五十九万人有り
 をベルリンとつゝ
 日耳曼法蘭西の地面ハ六万
 八千八百五十才里人々五
 四百十八万二千人有り

政事總了西洋
 各國能風俗教
 化學子藝云々
 大略回
 慣ひる長き銭

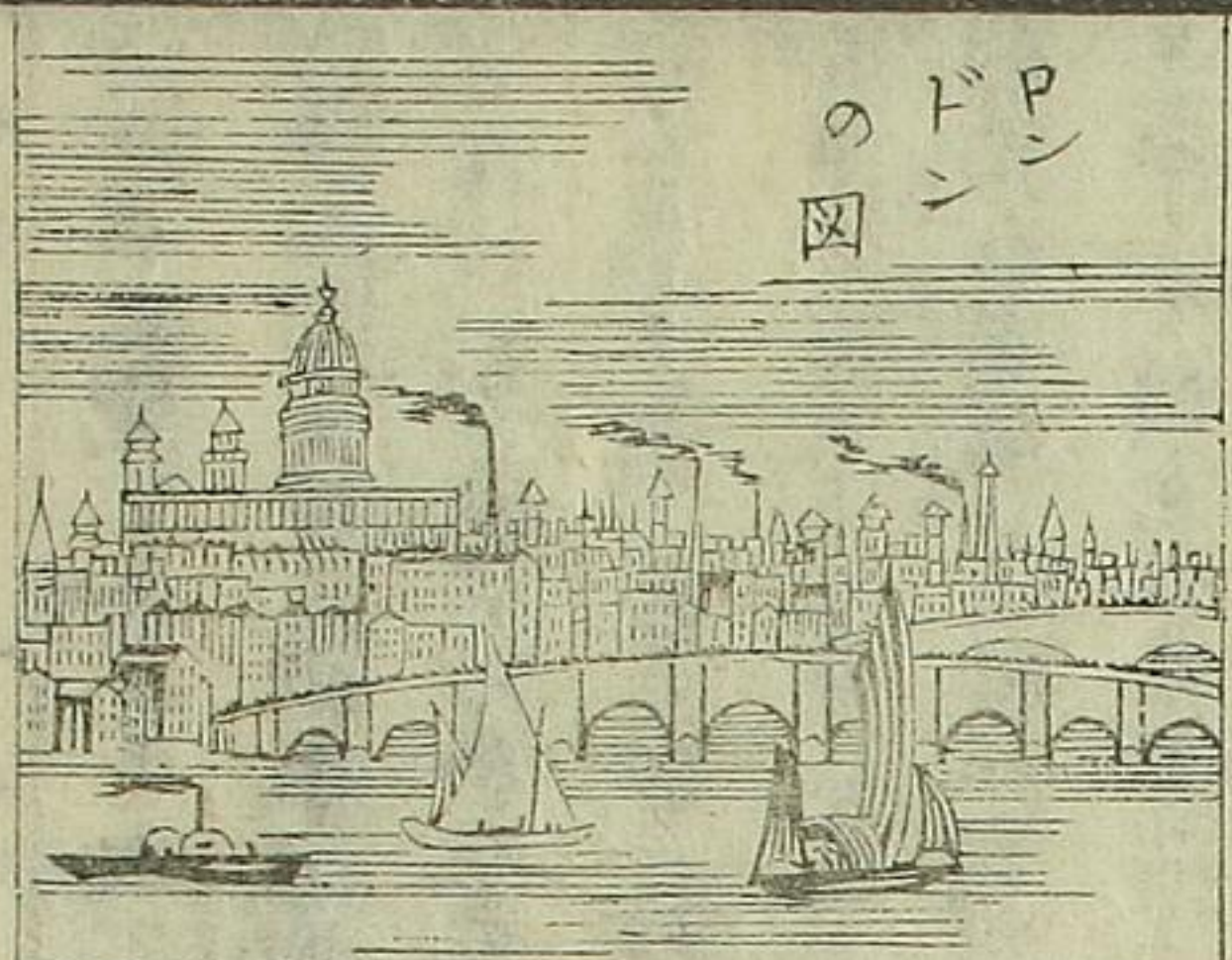
をフラインクホルトといふ
 瑞士の山國の地面を
 みるに狭く一万余戸あり
 あり人民二百五十万あり
 都をベルンといふ
 和蘭の地面は一万二千
 六百方里ありて人民三百
 七十三万あり都をハーグ
 といふ
 比那の地面は一万四千
 百方里あり人民四百九十一万
 あり都をブルセルスといふ

子寶目録

取らざるを
 補ふことおぼしむ
 修り奨励
 學子術諸職細
 工物新奇の工夫



佛蘭西の地面ハ一百万九
 万五千里人民百九十万
 七千七百四十部都を
 佛蘭西ハ大國なり二十
 万四千八百方里なり人民
 三十七万四千部都を
 以てり
 西班牙の地面ハ十八万三
 千二百方里人民五十五
 万七千部都をマドリッド
 とり
 葡萄牙の地面ハ三万五
 千部都を



六百方里なり人民二百
 九十八万なり都をリスボ
 ンとり
 英吉利の國を以てアイ
 ルランド及びスコットラ

四
 ド
 ン

ある期を隣の國
 傳習を以て又他
 沙より習ふこと
 安んずる隱るを
 是を開化

乃摸範を以て
 國の標準なる夫
 り引き替へて
 利ある野蕃
 里能國多し中

ンドの三國と合せて大ブリタニヤといふ地面の廣さは十一万九百方里人民二ふ九百二十二万なりをロンドンといふ
瑞典那威ハ二國一王の地にして地面の廣さ二十九方二ふ五百方里人民五百十八方ふなり都をストックホルムといふ

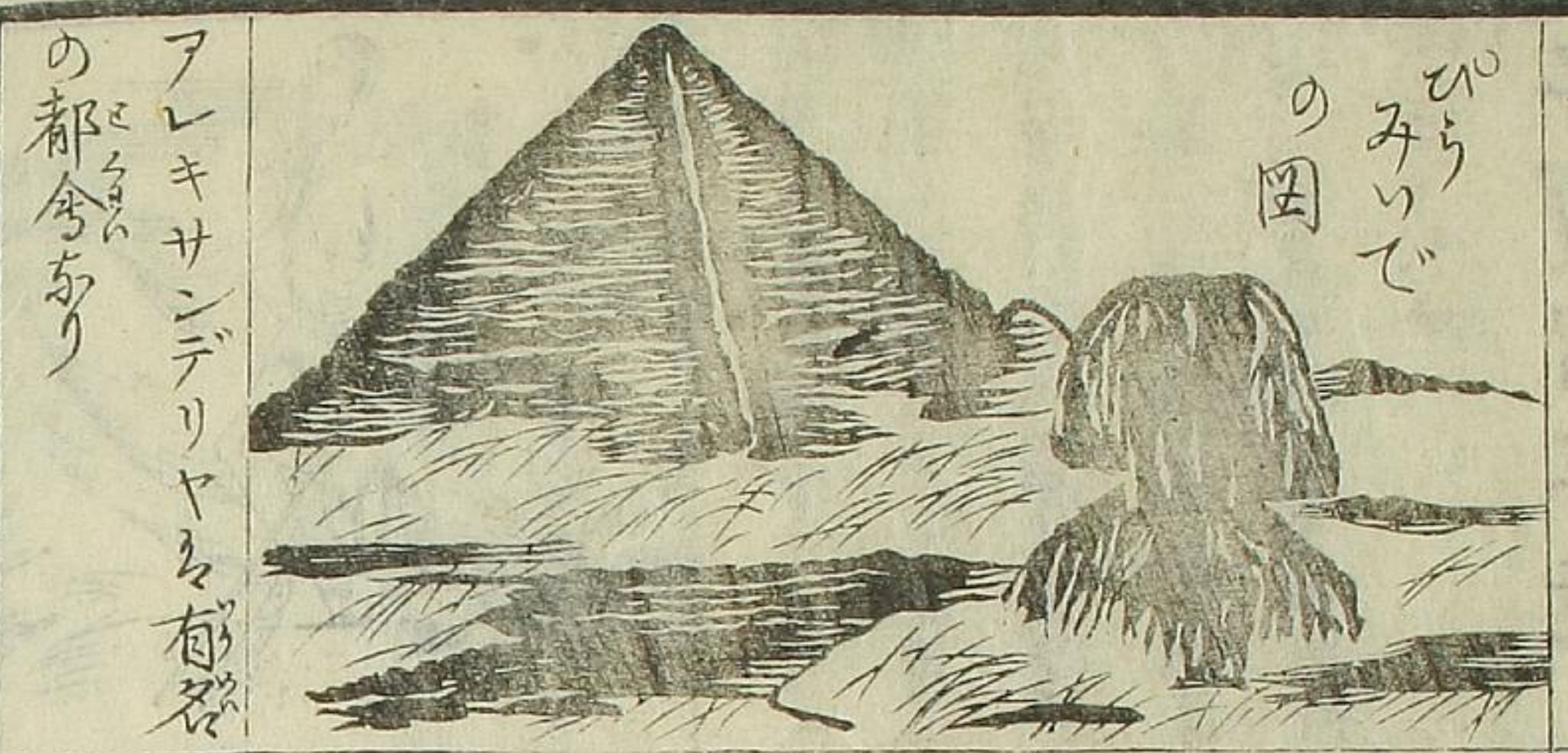
○亞非利加洲



カリフア
埃及は最も古き一國にして地面の廣さ八十七万方里を里うして人民三百方里なり都はカイロといふ
昔國王の碑はクヒラミイデといふ

少半端
希たる埃及多勞
皮亞亞皮西尼亞
桑給色爾馬生
別給馬特加那

格也喜望
東よむふ加弗
拉里亞病丁多
的亞星卑巴西
上下奇尼亞皮



アレキサンデリアの都あり

ひら
みり
の
田

利亜小西尼降波
 亞乃水の方撒哈拉
 の沙漠地積
 南蘇丹月山の赤
 道越る摩羅摩

埃及の屬
 亞皮西亞の地面八万
 里小く入氏二百万
 馬生列給ハ大國あり
 葡萄酒屬
 馬牝カ斯格ハ名國
 摩二二万四六百里
 あり都とタナリウと
 喜望峯ハ英皇の願分
 て船の家のなり港の
 名とケーパタコといふ

達巴多尔多番
 や達爾馬耳波
 抄給南尼給里
 西亞の大人種
 黒もそ日の照色

下野書



上下赤尾亜ハ西アフリカ
 州の大國より下赤尾亜
 をホルトガルの領分也
 里波利亞を合衆政治の國
 尔して沿海三百二十里の
 地を據せり
 薩丹を沙漠の南にあり大
 國より數多の王國をこれ
 中境界洋あり
 西尾降皮亜を大國よりして
 中尾淡ニルレオンハ英國
 の領地なり

ま、故なる心なる
 うり風俗の卑く
 むさるる土地物も
 狭き教小因る家
 らんき程もも廣

ま、大沙乃域内よ
 居る島々を聖
 赫里特也如拿
 利多馬地拉亞
 鎖利斯也

二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十



聖へレナ島ハ英皇の領分
なり昔佛蘭西帝ナポレ
ン此島を渡されて生座を
経たり

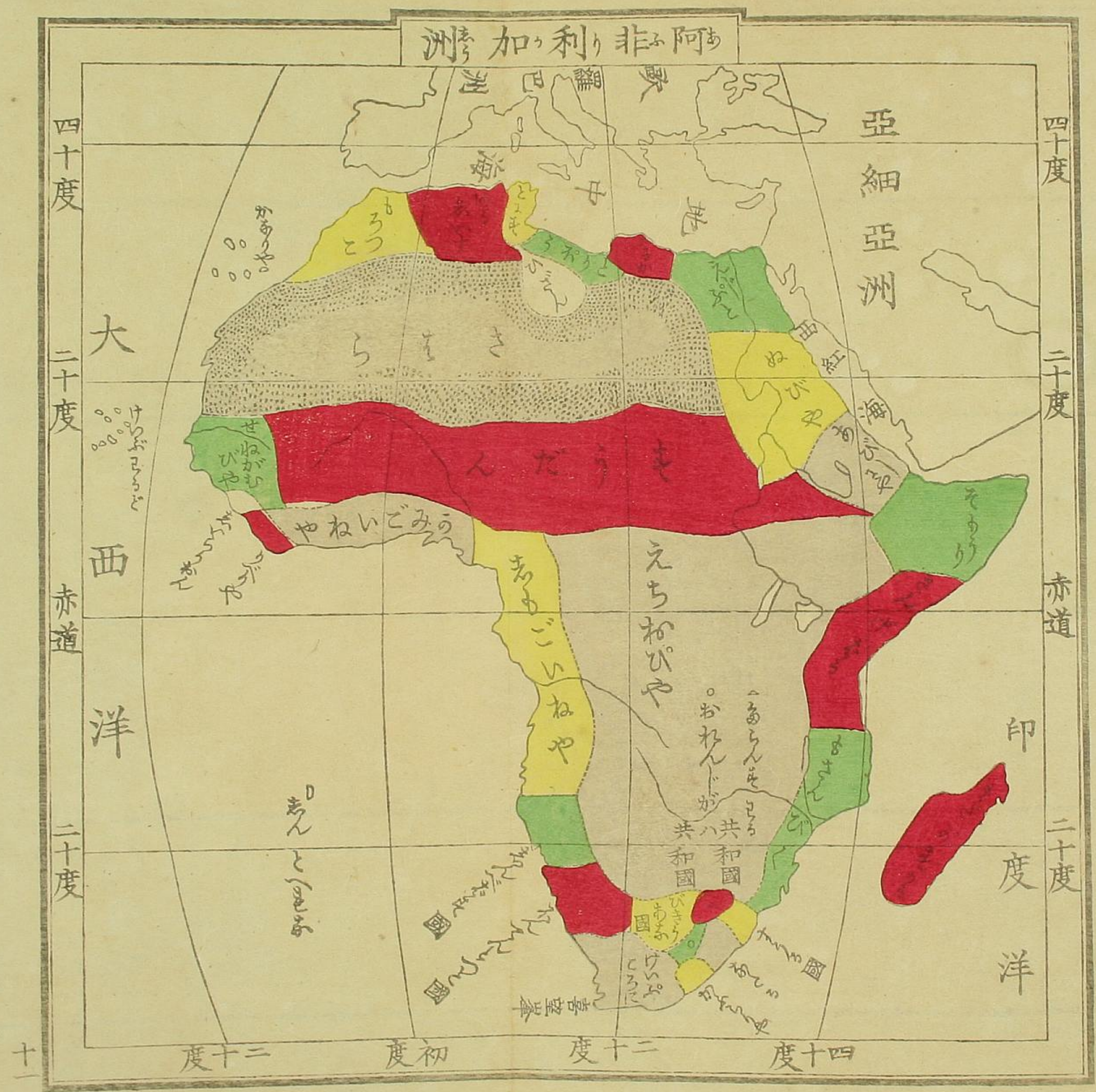
南小廻る摩拉哥
を一乃帝國君
主政東隣
亞尔及身突尼
的里哉無達

四十度

二十度

赤道

二十度



聖ヘレナ島ハ英皇の領有
 たり昔佛蘭西帝ナポレヲ
 ニ此島ニ流されて生誕
 終焉



亞爾及耳突尼
 的里哉亞達

主政東隣

國者

カナリヤ諸島の西班牙の領
 分あり
 マデラ諸島の諸島も
 山の水の風系を以て
 マロッカハ希土系
 船とマロッカとの
 アルギールは當時の
 西の支配をうけ
 トニスハ船とトニスと
 をとる諸島の地あり
 トリポリの東はバルカ
 ンの南は遠山を以て
 共

子家書目録

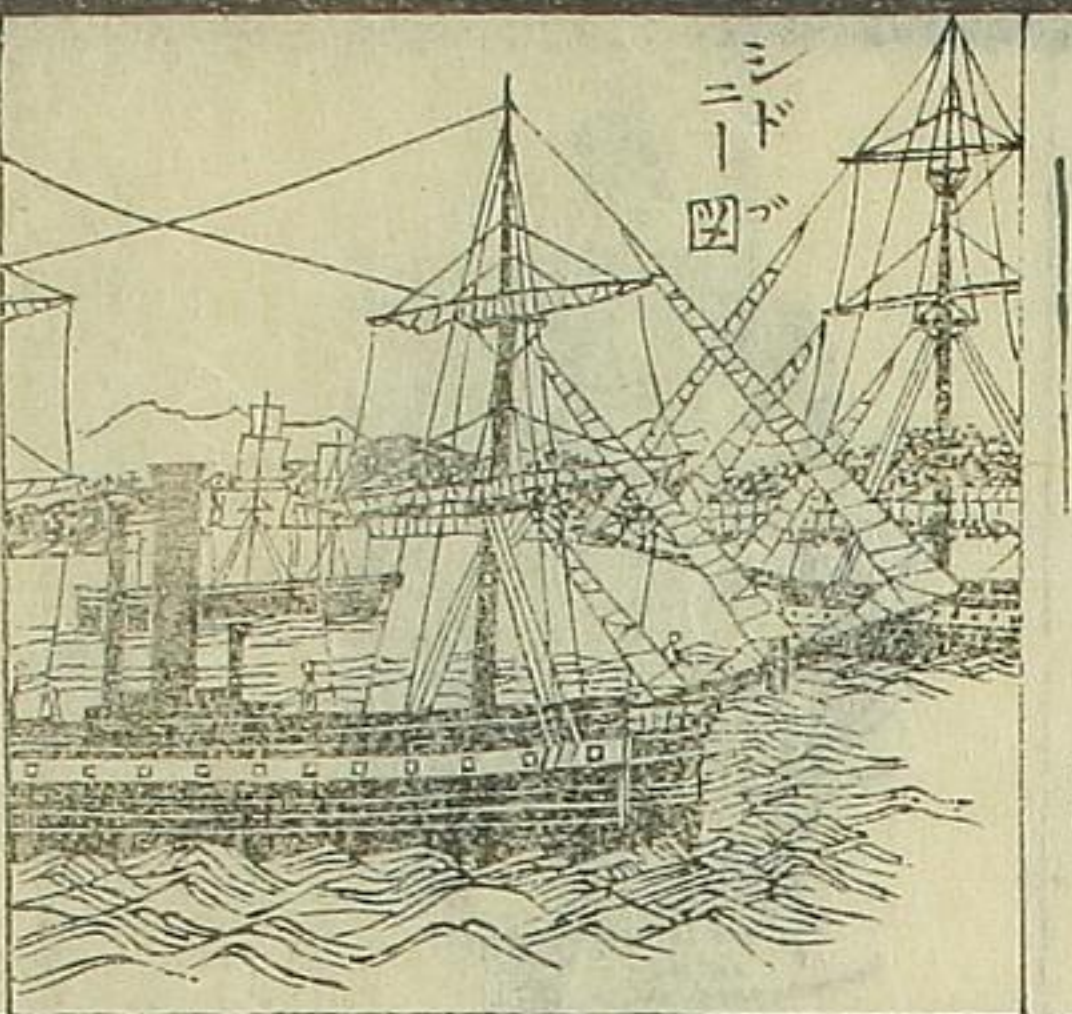
拉菜切のては一
 玉的黎波里也
 巴东加地之持の
 外名内地より
 人そあまて扱
 地球

五十二



トリホリの酋長小従を
 大洋洲をアースタラリ
 十の大陸太平洋の流は
 及び無細亜南流の程流と
 総程せるものあり地面を
 四百五十万平方マイル人
 口は千一百万なり
 アースタラリヤの地面は三
 百万平方マイル人口は四
 十方なりといふもその内
 白人も五万人をよりあり

の南宮あり澳右
 利亞一名をアース
 瓦幅尾加
 いふより東南威
 カ切歴底雷歌陸



船地愛ハ澳太利亜の南
 一島の國あり極日堂も
 交張島あり英國の領

港をシドニーといふ南の
 オメルホルといふ北の

を放きし沖津
 島班地曼又搦也
 新危尾小新身
 為東新接羅門尔
 新第伯比の主人

手寶 習字 章

方なり此國の人ハ此國
ノ習字ノ風俗ハ

ニゼーランドの人



三後斯ハ西ノ教二十許
トれども人ノ習字ハ
ナリ中々ハウアイ

乃裸者和者人

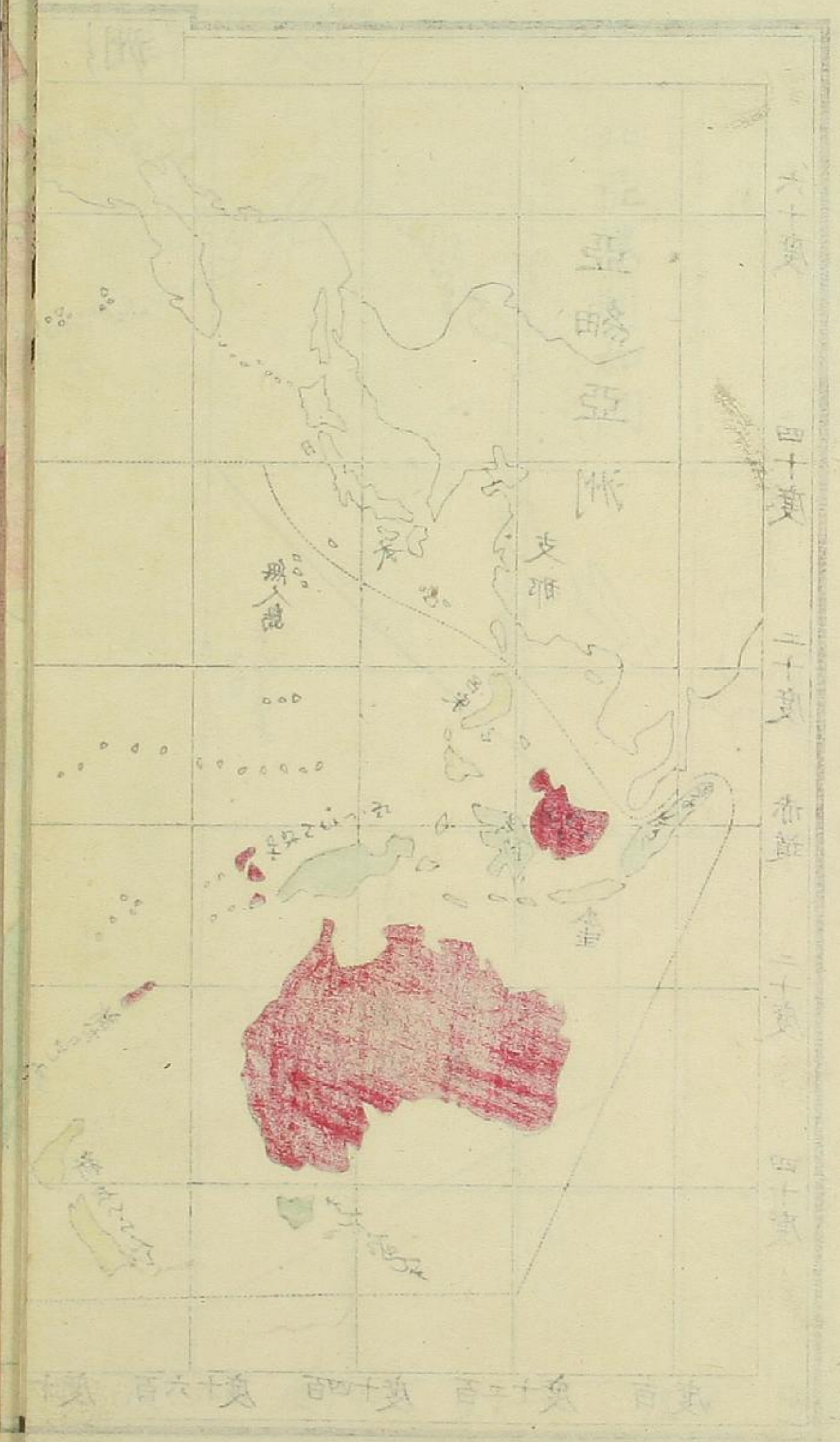
の見出^ミ出^デて^テ英者

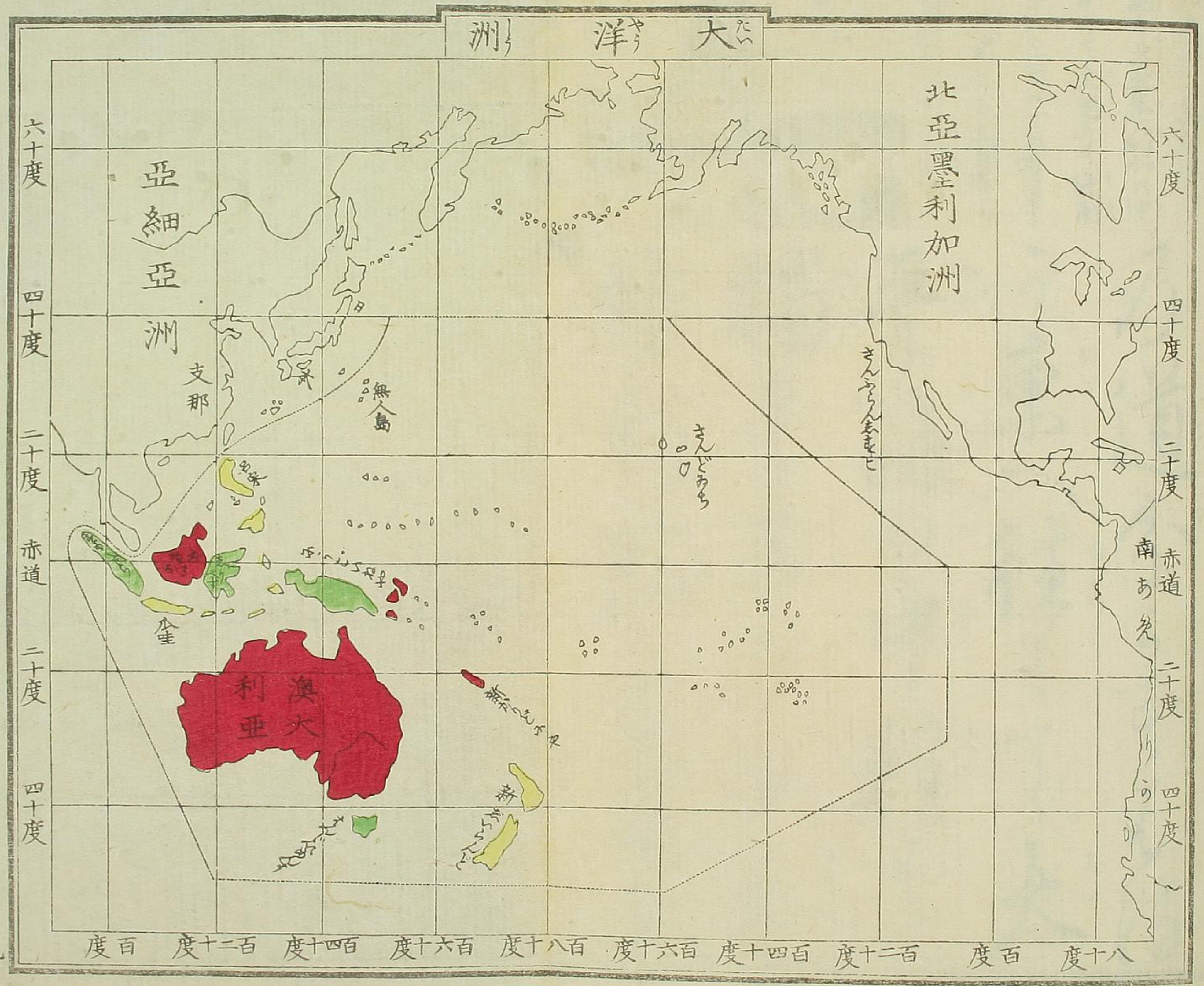
利元^リき^キ福^フより

二百年^ニふ^フる^ル是^シと

さ^サき^キを^ヲ巨^{キョウ}細^{キョウ}地理^チ

六十度 四十度 二十度 赤道 南 二十度 四十度





三維斯...
 何れ...
 かり...
 ...

利元...
 二百年...
 巨細地理...
 ...

二ウヨルクと交易貿易の
港なり



墨西哥の地面八十三万
里中土人八百万あり
都をメキシコといふアカ
ホルヨと此國の港なり



西印度の諸島に彼の國の
一千四百九十二年コロンビ
スといふ人のちりめて見
出たる島なり
此島の西一處大なる
丘ありて西印度の領なり

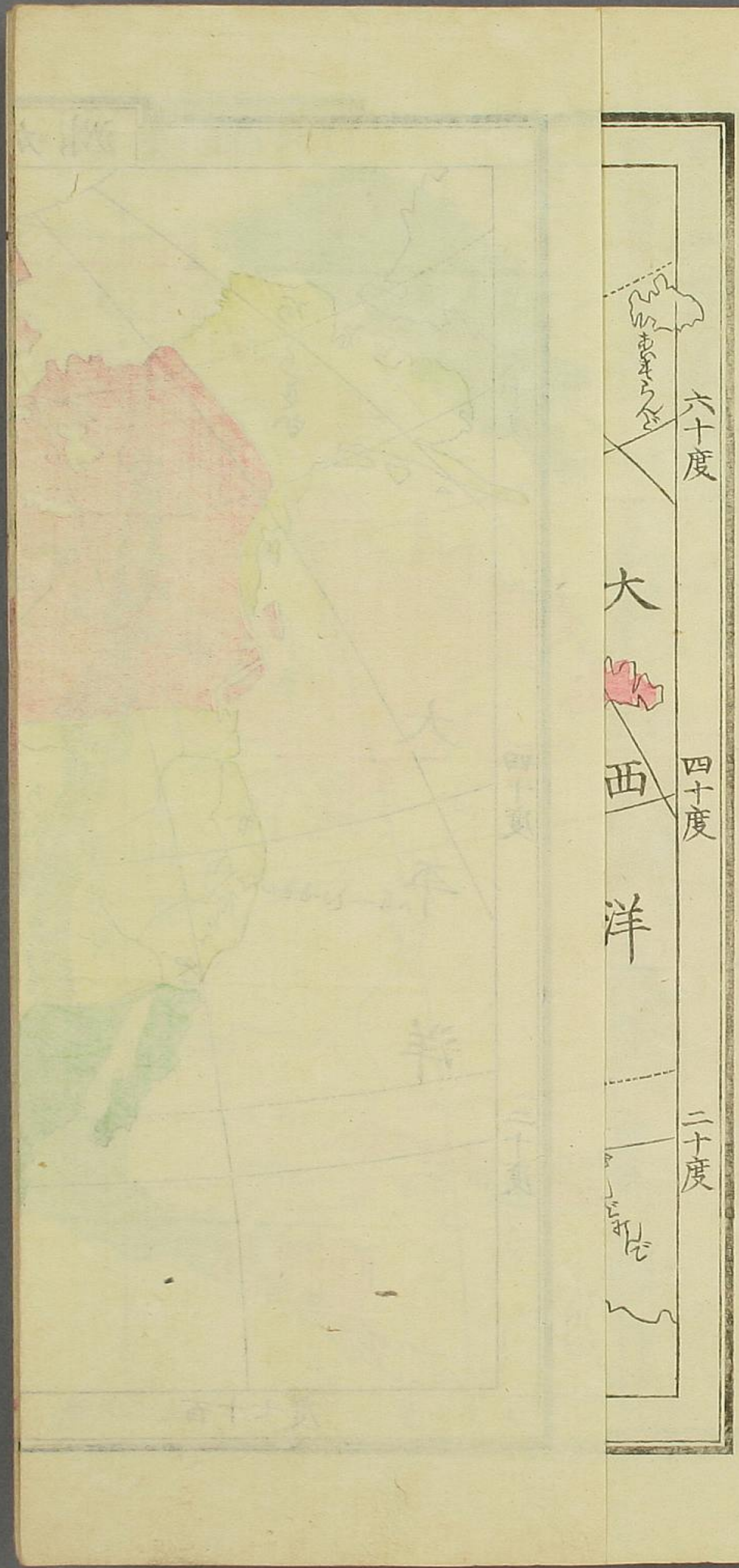
子孫目録

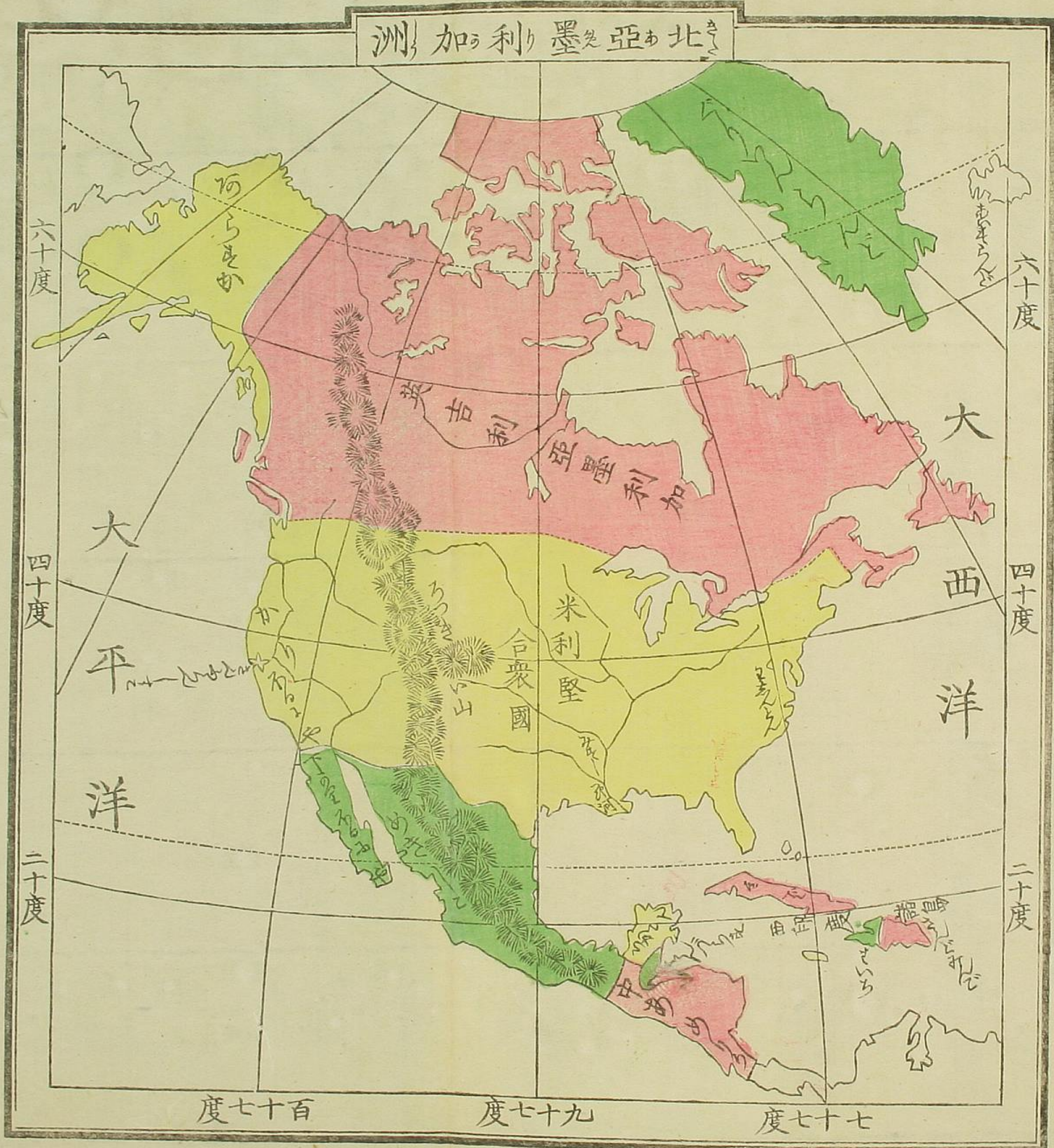
此の諸島は小見く
北亞墨利加の南
了る。三十七州共
和政令衆國は
此の南亞墨西歌

國よりうも長く危
地馬拉也丘巴
愛を放きて波
爾多物ふり牙買
加巴突安地馬亞

ホルトリコも 西班牙の領
 分なり又獨立あり合れ政
 事の島をハイチといふ
 牙買加も英吉利の領分
 初級キングストンといふ
 南亞墨利加之地面を六百
 六十万ありて人々を
 八百六十五万あり
 委内瑞球の地面を四十二
 万ありて人々を四百十
 一万九千人あり初をカラ
 カスといふ

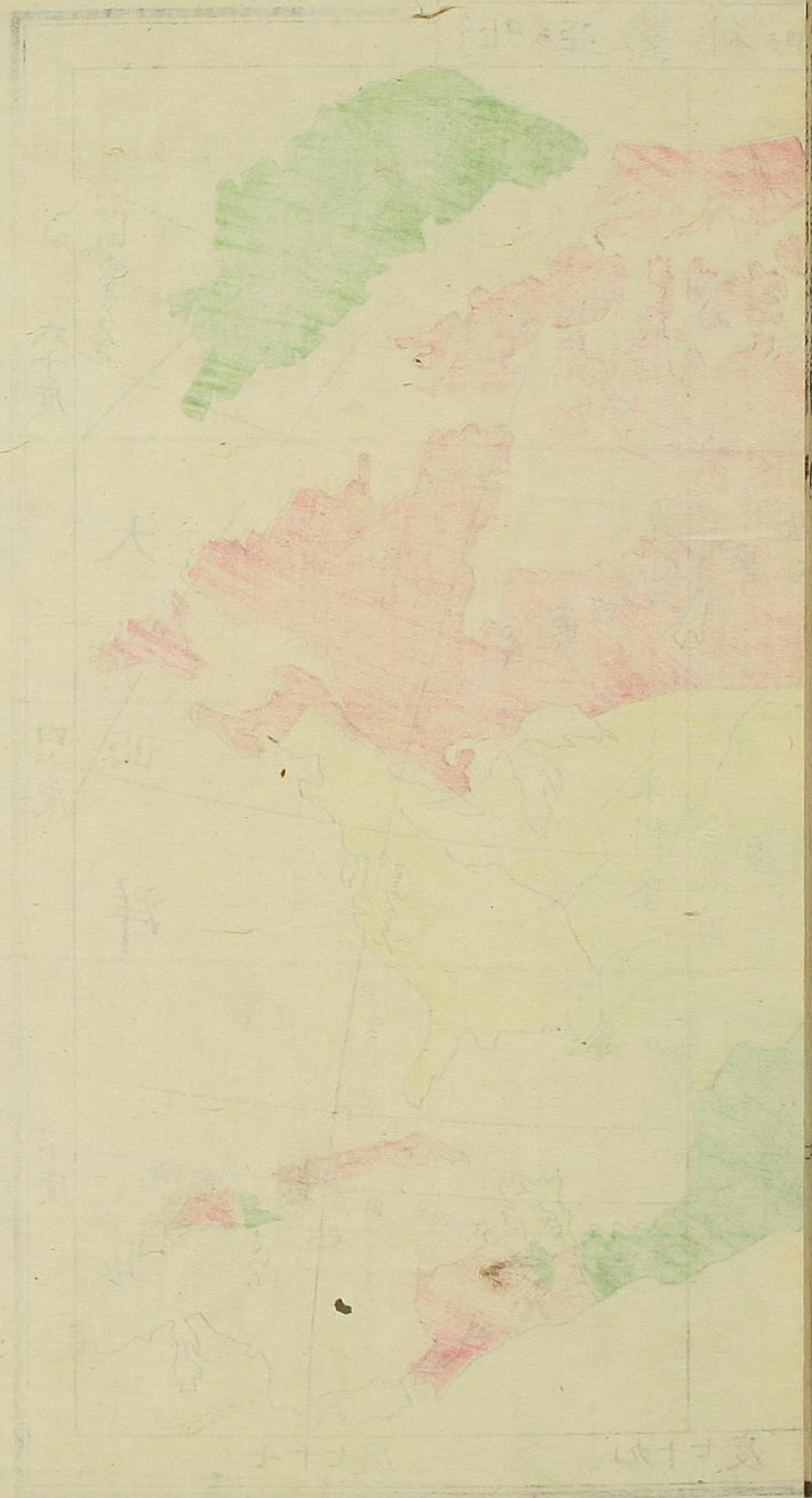
吉 斯 多 米 尼 加 島
 已 峨 嶼 此 嶼 之 法
 總 名 之 安 的 列 邦
 と 稱 者 之 陸 地
 佛 勒 尔 勒 務 可





東の島をハイチと云ふ
 牙買加と英吉利の領土
 都てキングストンと云ふ
 南亞墨利加の地面を六百
 六十万方里と云ふ人民百
 八百万と云ふ
 委内瑞球の地面を四十二
 万方里と云ふ人民百四十
 一万九千人あり都をカラ
 カスと云ふ

已峨峰此峰之法
 總名を安的列斯
 と稱する陸地
 佛勒尔勒登可



巴西と南アメリカの大
 半の地面の廣さハ三百
 万〇〇千五百百有餘人
 氏六百〇六万五千有餘
 都府リヲビヤ子イロと
 子



子寶目下

合は亞北小巴哈
 麻の群島あり又
 東より厄角慕
 他の方小數島の
 島ありそ巴拿

巴拉圭の地面を八万四
 千方里ふくむ人民百萬
 烏拉圭の地面を七万五千
 方里ふくむ人民二十五万
 露の地面を四十万
 方里ふくむ人民二百五十
 万方里ふくむ人民百七十
 万方里

馬の地峡境ひふ
 了南亞墨利加各
 國を新加坡那太
 尔厄瓜多尔委内
 瑞辣巴巴西巴拉

智利の細き國め
 十七万方里あり人民萬
 九千あり都城セントヤコ
 ーロあり
 巴拉圭の地面を八十
 二万方里あり人民七
 十五万四千あり都をガイ
 ノスアレスといふ
 巴他峰の地面を二
 十方里あり人民十二
 万あり都をパラグエー
 といふ也

圭より烏拉圭露
 露波利那無智利
 拉巴拉他巴他峰
 拿ち海の果を
 さる北極地海

五十七

五十七



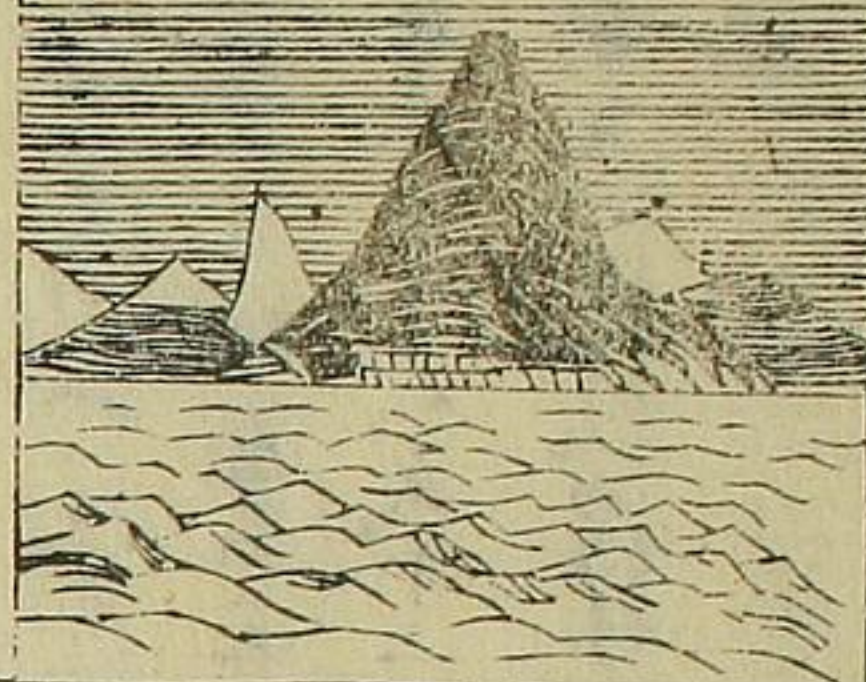
赤道

二十度

四十度

三ノ島 子ノ島 立島

の 四つ えま けふ

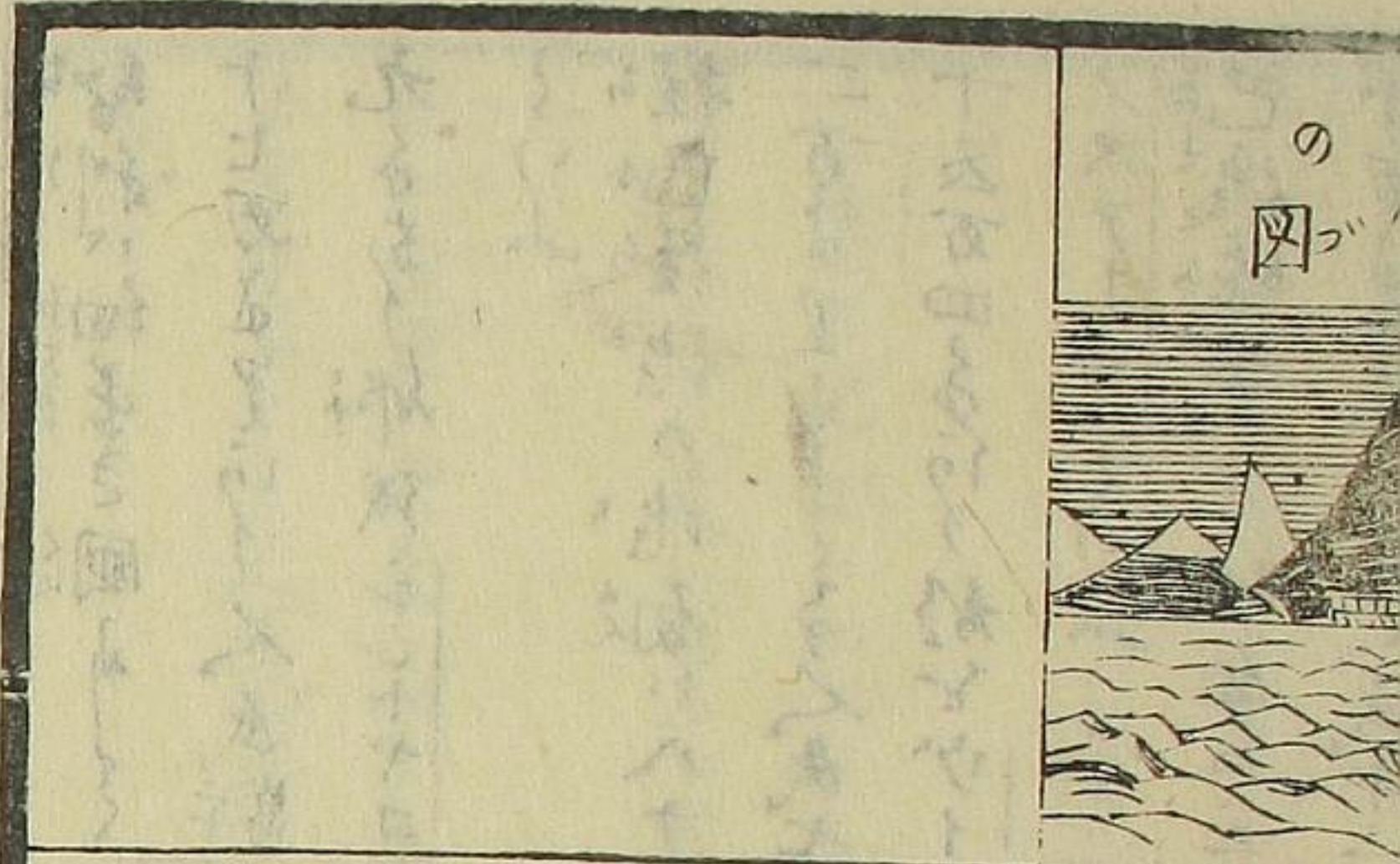
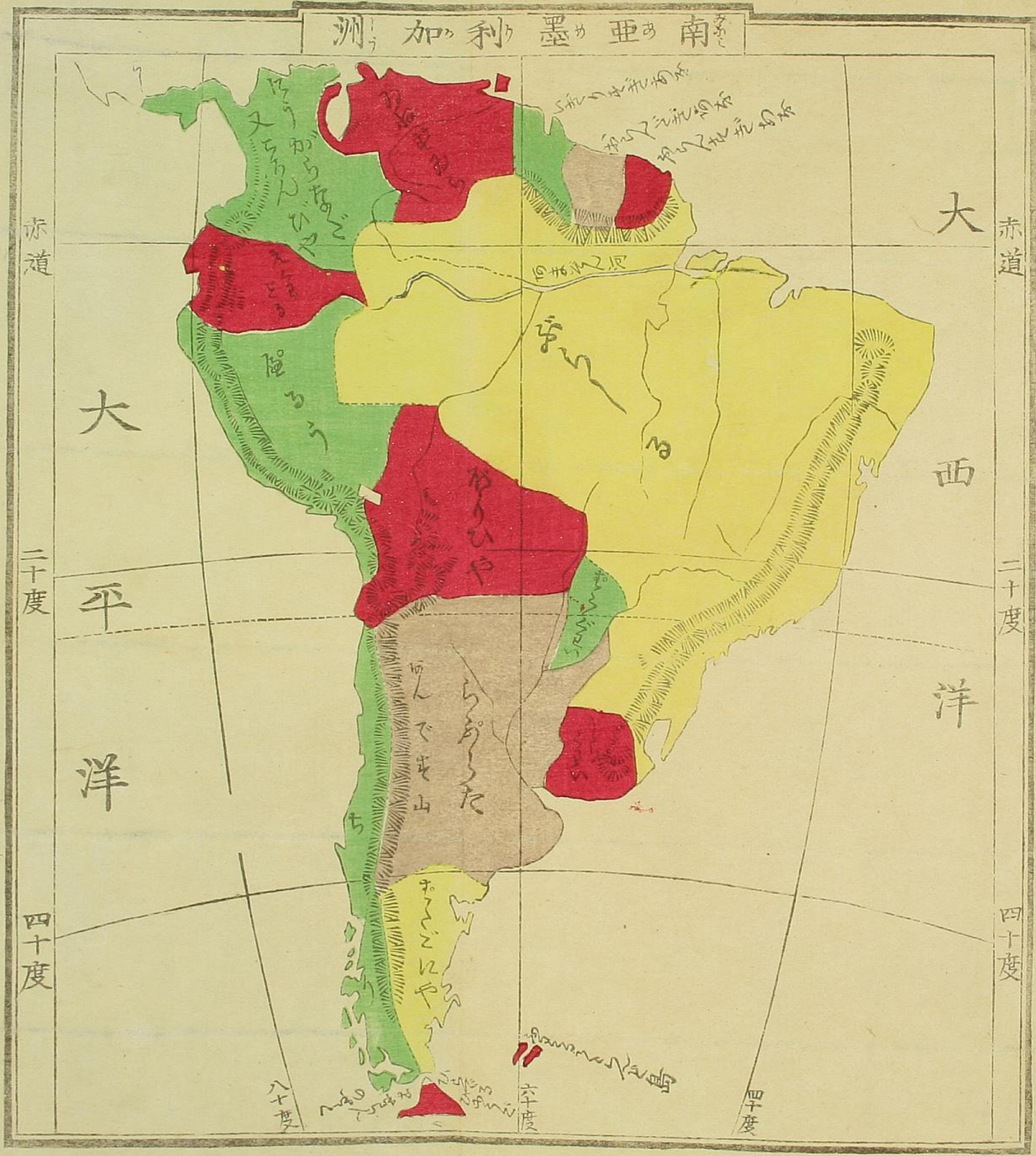


子寶習字章 終

子寶習字章

知 子 宝 習 字 章

子 宝 習 字 章



子寶習字章終

孝源

知子

小學校教則中

名山閣新發兌書目

東京芝大神宮前

和泉屋吉兵衛

手習草紙

全四冊

啟蒙知惠之環

全三冊

玆氏日本國盡

菱潭書

繪入

全八冊

皇國官名誌

菱潭書

全一冊

行書日本國盡

菱潭書

府縣入圖

全一冊

真書 習字	日本國盡	菱潭書	府縣 郡名圖入	全一冊
童蒙 修身帖		菱潭書		全二冊
文 明子寶習字章		菱潭書 頭書繪入	世界國名入	全一冊
捷徑		菱潭書 頭書繪入	日本國名入	全一冊
同	二篇	菱潭書	皇國の各史畧	全二冊
同	三篇	菱潭書		全二冊
頭書 布告字辨日用文附諸証文		菱潭書		全二冊
增訂 萬國航海全圖		折本 掛物		全一折
合衆 政治小學		爪生先生譯		全八冊

貨幣 中外比較考改正				全一冊
啓蒙 修身錄	孫間內基譯			全二冊
米政 撮要				全五冊
醫語 類聚	奧山虎章譯			全一冊
慈父 の教				全二冊
西畫 初步				全一冊
萬國 地理小學	繪入			全三冊
深間內基譯 輿地小學	前篇 後篇	亞細亞 亞弗利加 澳大利亞 亞利加		全三冊

支那國史略

繪入

全三冊

草木六部耕種法

前後五冊

合全十冊

農政本論

全八冊

蠶桑圖解

全一冊

製茶圖解

全一冊

本朝辭言

英語對覽

全三冊

大坂心齋橋邊比奈邸

河內屋喜兵衛

同南久寶寺町

伊丹屋善兵衛

東京泉橋通三丁目

山城屋佐兵衛

同淺草茅町三丁目

須原屋伊八

同本石町十軒店

椀屋喜兵衛

同芝大神官前

和泉屋市兵衛

同所

和泉屋吉兵衛版

